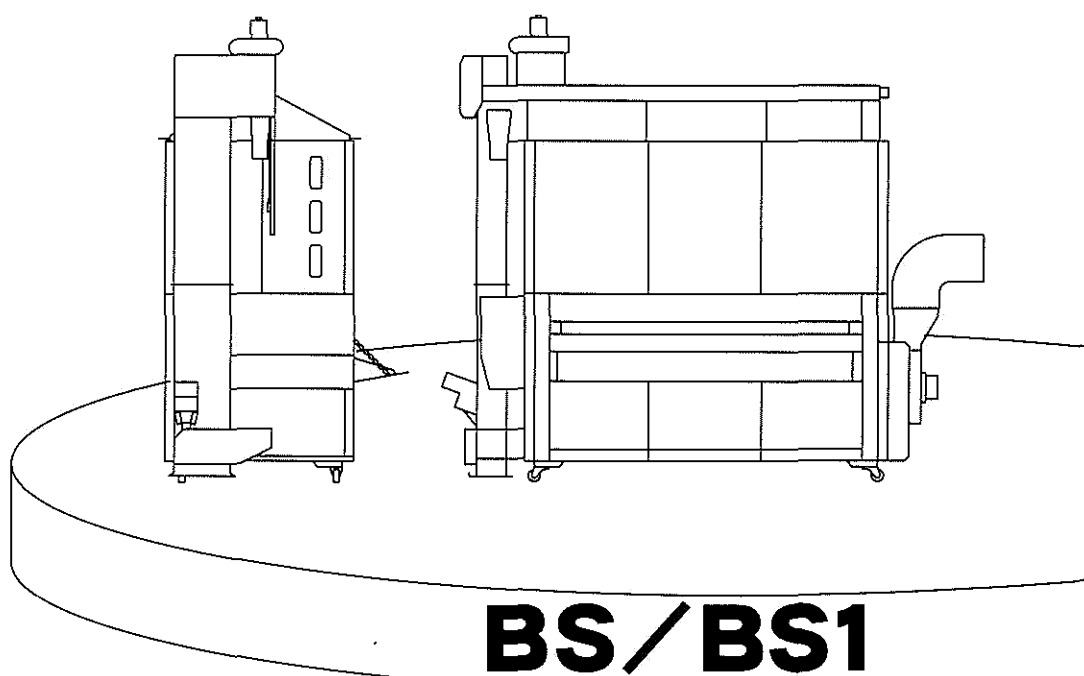


型式名

NSA85/NSA105/NSA135/NSA165

取扱説明書

- この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
そのあと大切に保存し必要なときにお読みください。
- 保証書は、必ず「納入日・販売店名」等の記入を確かめて、お受け取りください。
- 製造番号は、品質管理上重要なものです。製品本体と保証書の番号を照合してください。



保証書別添付

ご愛用の皆様へのご注意

1. この乾燥機を使用する前に、この取扱説明書をまっ先に十分お読みください。
取扱説明書の説明全部を初めのうちはすっかり理解できないかもしれませんが特に重要な使用説明には気をつけてください。
2. 製品の設計には、絶えず検討を加えています。また、この取扱説明書を常に最新のものにするためのあらゆる努力を払っていますので、仕様と機器を予告なくいつでも変更する権利があるものとしします。
3. 部品を交換される場合には、必ず金子農機の純正部品をご使用ください。
純正部品以外のものを使用したことにより発生した損害・事故に就きましては、弊社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
4. 乾燥機の設計、開発に当たっては、操作をする人の安全について特に注意を払っていますので、本機を改造したことにより発生した損害・事故に就きましては、弊社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
5. この製品の補修用部品の保有期間は、製造打ち切り後12年とします。
但し、保有期間内であっても、特殊部品につきましては、納期などについてご相談させていただく場合もあります。
6.  は、金子農機株式会社の商標です。
7. この取扱説明書の中で特に型式指定のない場合には、すべてが共通であります。

この取扱説明書の構成

取扱説明書の各章は、操作手順通りに構成されており、目的に応じて必要な部分を参照できるようになっています。

■第1章 概要説明

この乾燥機を取り扱う前の安全上の注意事項、乾燥における注意事項、火災予防上の注意事項ならびに本機に貼られている安全ラベルについて説明しています。

■第2章 主要諸元・外観寸法

この乾燥機の主要諸元ならびに本機の外観寸法について説明しています。

■第3章 各部の名称と働き

この乾燥機の本機、制御盤、安全装置とセンサー類および操作パネルの各部名称と働きならびに乾燥機の内部構造と穀物の流れについて説明しています。

■第4章 据付け

この乾燥機の据付け上の注意事項について説明しています。

■第5章 操作説明

この乾燥機の操作に必要な作業・手順について説明しています。

■第6章 点検・整備

この乾燥機の点検箇所と整備のしかたについて説明しています。

■第7章 掃除と保管

この乾燥機の掃除箇所と保管のしかたについて説明しています。

■第8章 故障診断と処置

この乾燥機の故障の原因と処置について説明しています。

■第9章 オプション品

この乾燥機のオプション品について説明しています。

■第10章 応急運転

制御盤の各ボタンを押しても本機が起動しない場合の応急運転のしかたについて説明してします。

■第11章 緊急時の連絡先

トラブルが発生して復旧ができない場合の連絡先について説明しています。

目 次

セクション

ご愛用の皆様へのご注意	i
この取扱説明書の構成	ii
目 次	iv
第1章 概要説明	
●製造番号	1-02
●まえがき	1-03
●安全上の注意事項	1-05
●操作前の安全ルール	1-06
●使用上の注意事項	1-09
●作業時の注意事項	1-14
●乾燥における注意事項	1-17
●火災予防上の注意事項	1-19
●安全ラベル	1-23
第2章 主要諸元・外観寸法	
●主要諸元	2-02
●外観寸法	2-03
第3章 各部の名称と働き	
●本機の名称と働き	3-02
●制御盤の名称と働き	3-04
●安全装置とセンサー類の名称と働き	3-05
●操作パネルの名称と働き	3-06
●バーナ部の名称と働き	3-07
●内部構造と穀物の流れについて	3-08
第4章 据付け	
●据付け上の注意事項	4-02
第5章 操作説明	
●運転の種類と動作	5-02
1. 自動運転	5-02
2. タイマー運転	5-03
●電源の入れ方と切り方	5-05
電源の入れ方	5-05

電源の切り方	5-06
●本機の停止とバーナの消火	5-06
●乾燥条件について	5-10
乾燥条件の変更のしかた	5-10
●付属機能	5-12
1. 温度調整機能	5-12
2. 水分微調整機能	5-14
●シーズン前に	5-16
●始動の前に	5-18
●自動運転	5-19
1. 粉・麦を張り込む	5-19
2. 粉・麦を通風循環する	5-21
3. 粉・麦を熱風乾燥する	5-23
4. 粉・麦を排出する前に	5-29
5. 粉・麦を排出する	5-34
●タイマー運転	5-35
1. 粉・麦を張り込む	5-35
2. 粉・麦を通風循環する	5-36
3. 粉・麦を熱風乾燥する	5-36
4. 粉・麦を排出する	5-37

第6章 点検・整備

●点検・整備一覧表	6-02
●点検・整備	6-03
随時点検整備	6-03
●グリス塗布箇所	6-04
1. 駆動チェーンへのグリス塗布	6-04
●エアーフィルター	6-04
1. エアーフィルターの掃除・交換	6-04
●燃料系統	6-05
1. 油受け容器の残油処理	6-05
2. 送油バルブ内の濾し網の洗浄	6-06
●燃料系統	6-05
1. バーナの分解掃除	6-06
2. フレームアイの掃除	6-08
●検出器	6-08
1. ロール上の掃除とブラシの掃除	6-08
●駆動部	6-10
1. 下部コンベアベルトの張り点検	6-10
2. 下部コンベアベルトの張りかた	6-11

●消火器	6-11
1. 使用有効期限の確認	6-11
●保護用ヒューズの交換	6-12
1. ヒューズの交換のしかた	6-12
●テスト運転のしかた	6-13
 第7章 掃除と保管	
●掃除と保管	7-02
■掃除のしかた	7-02
■掃除箇所と手順	7-03
1. 昇降機下部	7-03
2. 下部コンベア樋	7-03
3. 張込口	7-04
4. 上部コンベア樋	7-05
5. 掃除終了後の運転操作	7-05
●保 管	7-06
1. 本機の保管のしかた	7-06
2. ハシゴの保管のしかた	7-08
3. 燃料タンクの保管のしかた	7-08
4. 燃料（灯油）の保管のしかた	7-09
 第8章 故障診断と処置	
●故障診断と処置	8-02
 第9章 オプション品	
●オプション品	9-02
1. 排出スロワ	9-02
2. 側面張込ホッパー	9-02
3. 定レベル装置	9-03
4. 集塵装置	9-03
5. スロワ用除塵機	9-04
6. 搬送装置	9-04
 第10章 応急運転	
●応急運転	10-02
1. 応急運転のしかた	10-02
 第11章 緊急時の連絡先	
●弊社営業所一覧	11-02

第 1 章

概要説明

●製造番号.....	1-02
●まえがき.....	1-03
●安全上の注意事項.....	1-05
●操作前の安全ルール.....	1-06
●使用上の注意事項.....	1-09
●作業時の注意事項.....	1-14
●乾燥における注意事項.....	1-17
●火災予防上の注意事項.....	1-19
●安全ラベル.....	1-23

1-02

概要説明

●製造番号

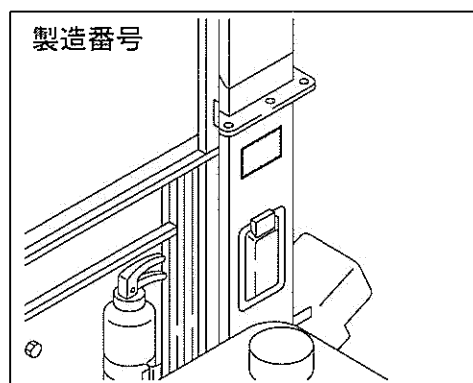
乾燥機の製造番号などを下の欄に記録してください。

お買い上げの販売店に修理を依頼したり、部品を注文される時には、この製造番号を必ず一緒にご連絡ください。

製 造 番 号 : _____

型 式 名 : _____

あなたの住所・氏名 : _____



最寄りの弊社支店または、営業所の所在地、名称および電話番号

支店または営業所名 : _____

所 在 地 : _____

電 話 番 号 : _____

納入年月日 : _____ 年 _____ 月 _____ 日

保 証 期 間 : _____

●まえがき

この取扱説明書には、乾燥機の運転操作、点検・整備ならびに掃除・保管の説明が記載されています。

また、本書内とラベルには、一貫してJIS 1号灯油のことを‘灯油’と表記してあります。

この取扱説明書および製品には、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産の損害を未然に防止するためにいろいろな表示を使っています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

- | | |
|---|---|
|  危険 | ……指示や手順を守らずに誤った取り扱いをすると人が死亡あるいは重傷を負うことになる内容を示しています。 |
|  警告 | ……指示や手順を守らずに誤った取り扱いをすると人が死亡あるいは重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。 |
|  注意 | ……指示や手順を守らずに誤った取り扱いをすると人が負傷する可能性が想定される内容を示しています。 |

その他の表示



⊘記号は、禁止の行為であることを示しています。図の中に具体的な禁止事項（左図の場合は、分解禁止）が描かれています。



●記号は、必ず守っていただきたい内容を示しています。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。



誤った取り扱いをすると、製品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止をまねく内容および穀物の品質を損なうおそれのある内容を示しています。



製品を取り扱う上で知ってほしい内容を示しています。

概要説明

本書の目的は、あなたが乾燥機の運転操作、点検・整備ならびに掃除・保管をどのようにおこなえば効果的でしかも安全であるかを述べたものです。従ってこの取扱説明書どおりに乾燥機を取り扱っていただければよりながく、安全にお使いいただけるものと思います。

また、弊社の乾燥機をご納入申しあげた際、あるいは試運転指導にお伺いした際にはいろいろご説明いたしますので、運転操作や点検・整備ならびに掃除・保管のやり方が一層理解いただけると思います。

本書について理解しにくい点がありましたらお買い上げの販売店もしくは最寄りの弊社営業所までお問い合わせください。いずれにしても、この取扱説明書をよくご覧になってご理解いただくようお願いいたします。また、乾燥毎の点検を習慣づけ作業時間を記録するようにしてください。



本書に使用している参考イラストは、原型の乾燥機から取ったものであり、細部においては、標準品と異なる場合があります。

また、本書の参考イラストの中には、分かり易くするため、安全カバーを取り外したものがあります。乾燥機をご使用になる場合は、必ず安全カバーを所定の位置に取り付けてください。

乾燥の条件は、穀物の種類・品種・性状および環境により非常に違っておりますので、この取扱説明書だけでは、その条件に適した乾燥機の性能や操作方法を詳細にわたって明確に説明することはできません。

従って、本書で説明してあることが実際と違ったり、または説明していなかったために生じた損失や損害に関しては、その責任を負うことはできないことも御理解ください。

弊社の担当員は、各地域の状況や条件によって生じる特殊な問題についての知識を持ち、適切な指導ができるように準備しておりますので、皆様が特殊な条件や悪条件下でこの乾燥機を使用される場合には、必ず弊社担当員にご相談ください。

●安全上の注意事項



安全上の予防措置

乾燥機の設計、開発にあたっては、操作をする人の安全について特に注意を払っています。そのため設計者はできる限り安全上の機能を組み込んでいます。次の取り扱い事項をよくお読みいただき、乾燥機の取り扱いを慎重におこない、事故を未然に防ぐようにしてください。

本書では、説明箇所を見易くするために参考イラストの中で安全カバーを取り外したものがあります。しかし、実際に乾燥機を操作する場合は、この状態で決しておこなわないでください。必ず、全ての安全カバーを所定の位置に取り付けてください。点検整備のために安全カバーの取り外しが必要な場合、作業終了後、直ちに元の位置にもどさなければなりません。

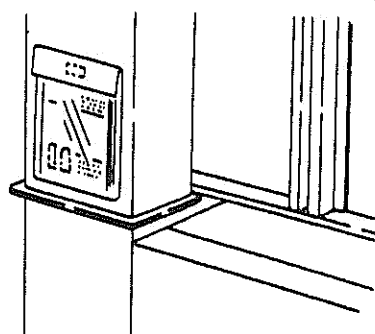
注意、警告、危険の安全ラベルが汚れたり、剥がれたり、見えにくくなった場合は取り替えてください。新しいラベルは弊社に取り揃えてあります。上記安全ラベルの貼り付けてある場所は、本書P1-23～1-31を参照してください。

この型式と同じ中古の乾燥機をお買い上げいただいた場合は、本書P1-23～1-31を参照の上、安全ラベルが正しい位置に貼ってあるか、また読みにくくなっていないかを確認してください。

概要説明

●操作前の安全ルール

取扱説明書は、必ず、付属の取説収納ケースに入れて昇降機に貼り付けて置いてください。



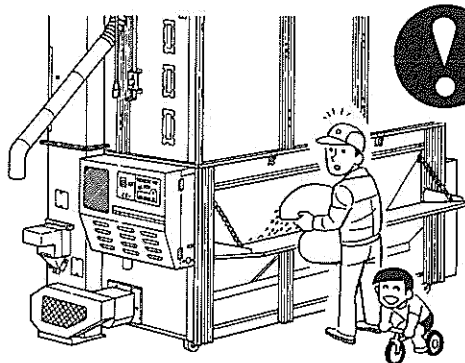
取扱説明書は、よく注意して読み、乾燥機の安全で正しい取り扱いを理解してください。



他の人に乾燥機を運転操作させる場合は、必ず、安全な運転操作方法を説明してからにしてください。



運転操作をおこなうときは、必ず、周囲の安全を確認してからにしてください。特に、子供に気をつけてください。



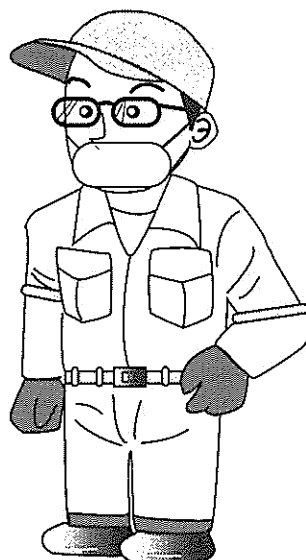
次のような人は、運転操作をしないでください。

- ①過労、病気、薬物の影響、その他の理由により正常な運転操作ができない人
- ②酒気をおびた人
- ③妊娠している人
- ④若年者
- ⑤未熟練者



保護具を着用してください。

着用する衣服は乾燥機や周辺機器の可動部分に巻き込まれないように上着の袖口を止めて、ズボンのスソをすっきりとしてください。また、足元はすべりにくい靴を着用してください。

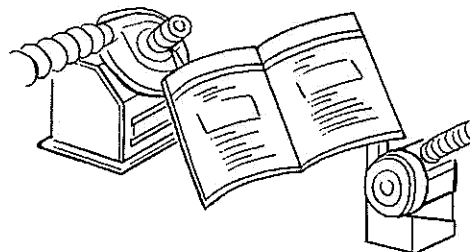


安全ラベルは全て、よく読み、理解するようにしてください。

(安全ラベルの貼り付けられている場所は、本書P 1-23~1-31を参照してください。)



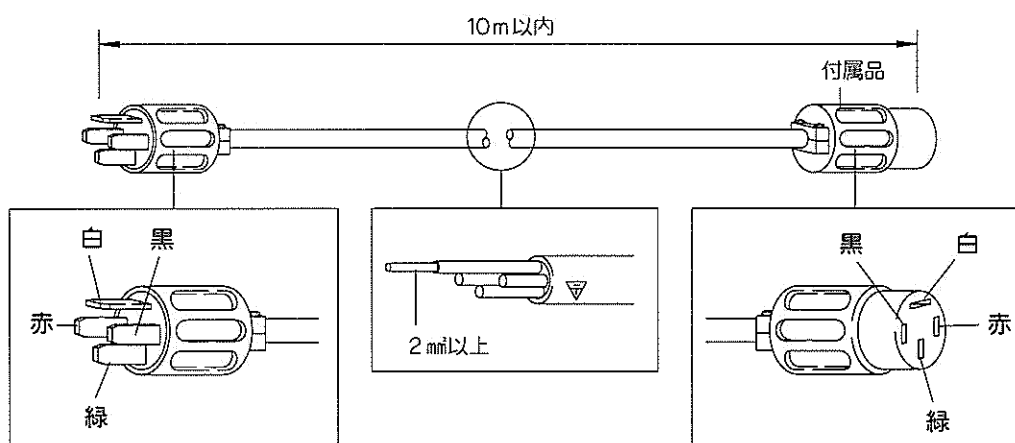
オプションを使用している場合は、専用の取扱説明書の安全上の予防措置を必ず守ってください。



概要説明

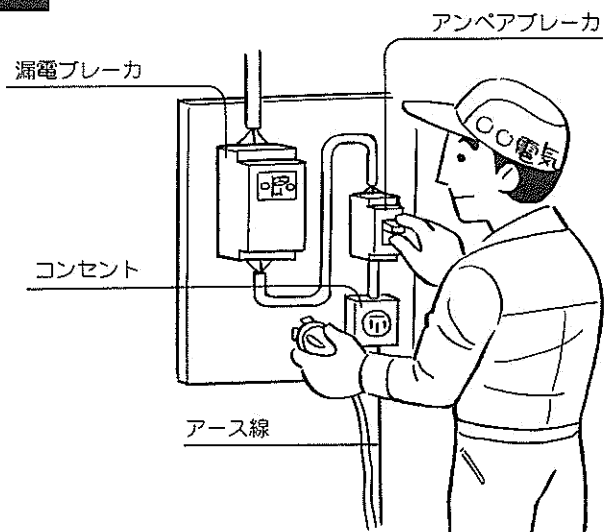
下記項目に従って、乾燥機専用の電源コードを準備してください。

- ①電気用品取締法による甲種、電気用品の型式認定マーク  製品の4芯コードで線芯が2mm以上のものを使用してください。
- ②電源コードの長さを10m以内にしてください。
- ③電源コードの片側に付属の電源プラグ(メス)を組付け、もう一方には、電源プラグ(オス)を準備し組付けてください。尚、電源プラグには、下図のように結線してください。



元電源には、漏電遮断器・アンペアブレーカを装備し、必ず、元電源はアースをとってください。尚、屋内配線工事は電気工事士の資格を持った人しかできませんので、電気工事店に依頼してください。

元電源

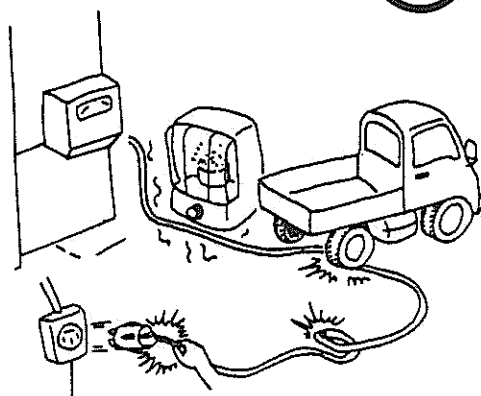


●使用上の注意事項

⚠警告

電源コードを破損するようなことはしないでください。

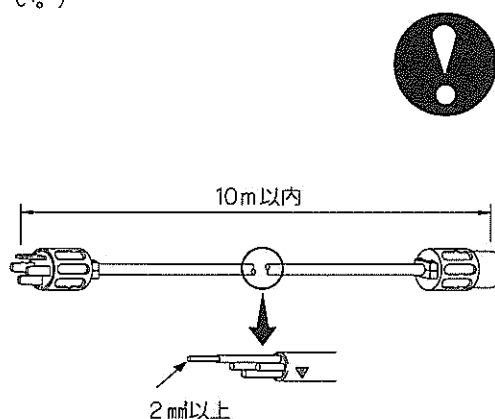
(傷つけたり、重いものをのせたり、熱器具に近づけたり、ねじったり、無理に曲げたり、引っ張ったりしないでください。)



感電、火災の原因になります。

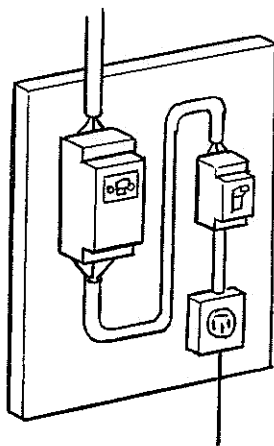
電源コードは、指定されたものを使用してください。

(詳細については、本書P1-08を参照ください。)



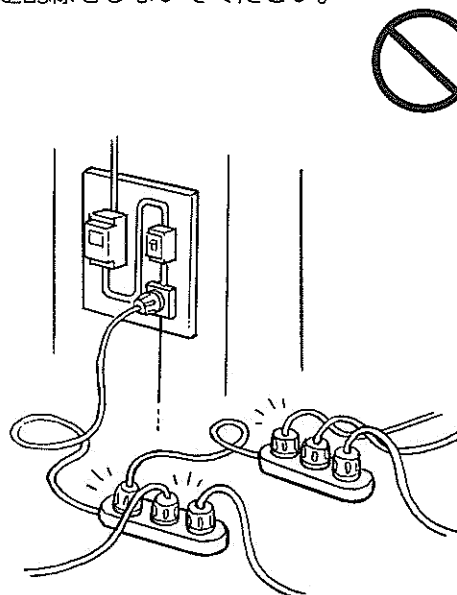
規格外のコードを使うと、感電・火災の原因になります。

電源は、漏電遮断器の装備されている専用コンセントから、必ずとってください。



漏電遮断器が装備されていないと感電の原因になります。

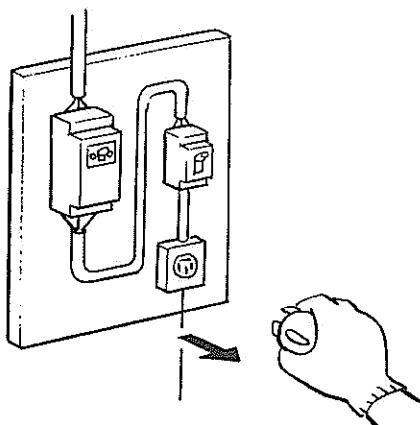
電源コードは、途中で接続したり、タコ足配線をしないでください。



発熱・発火の原因になります。

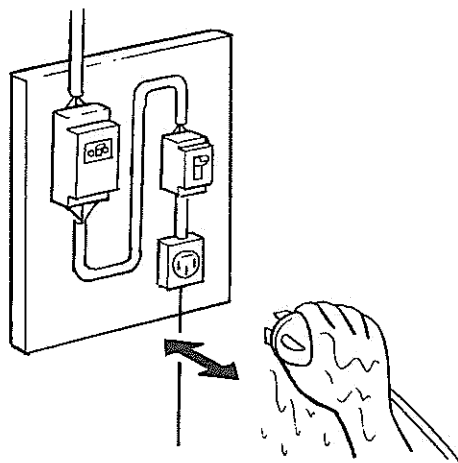
警告

電源プラグを抜くときは、必ず、プラグを持っておこなってください。



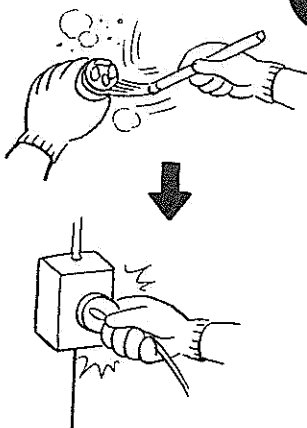
電源コードを引っ張って抜くと、発熱・発火の原因になります。

濡れた手で電源プラグなど電気部品に触れたり、ボタン操作をしないでください。



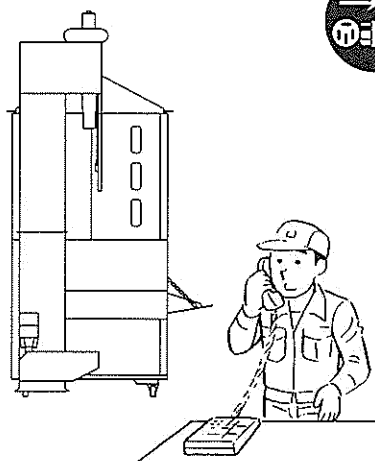
感電の原因になります。

電源プラグの刃および刃の取付面のホコリを定期的に清浄し、ガタのないように刃の根元まで差し込んでください。



ホコリが付着して、接続が不完全な場合は、感電・火災の原因になります。

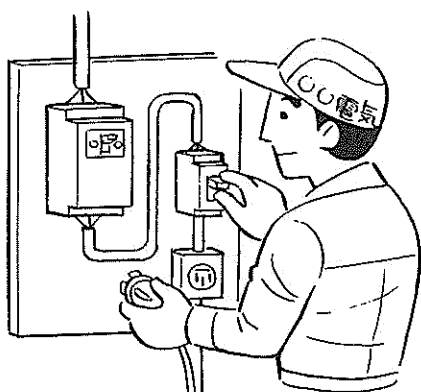
異常時は、運転操作を中止して電源プラグを抜き、お買い上げの販売店にご連絡ください。



異常のまま運転操作を続けると、感電・火災の原因になります。

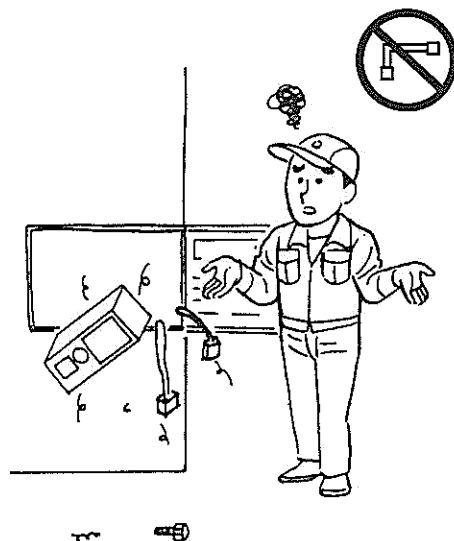
警告

屋内の配線、安全器、プラグの定期点検を電気工事店に依頼してください。



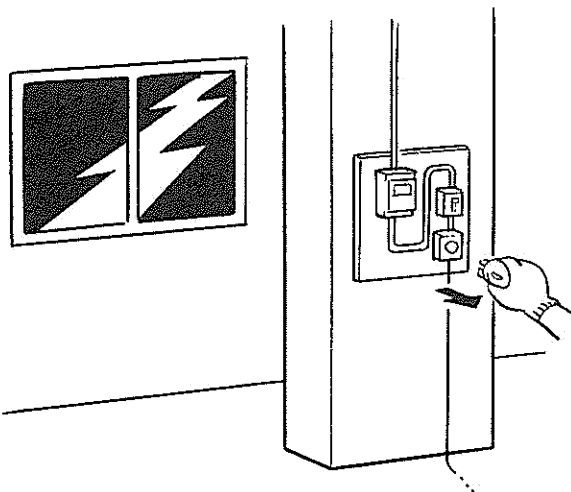
屋内の配線、安全器、プラグが古くなると、感電・火災の原因になります。

販売店以外の人には絶対に分解したり、修理改造はおこなわないでください。



分解・修理・改造に不備があるとケガをしたり、感電・火災の原因になります。

雷が鳴り出したら電源を切り、電源プラグを抜いてください。

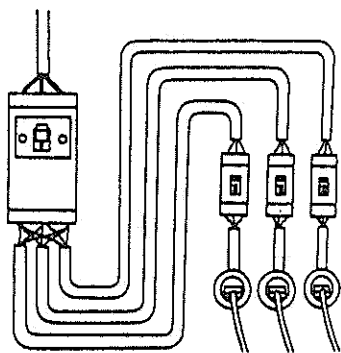


電源プラグを抜かずにおくと、制御装置の重大な損害の原因になります。

概要説明

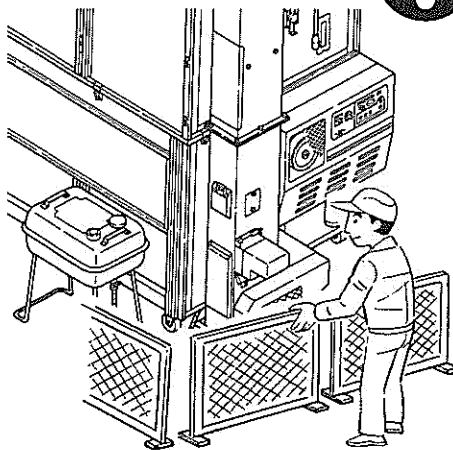
⚠注意

漏電遮断器の併用はやめてください。



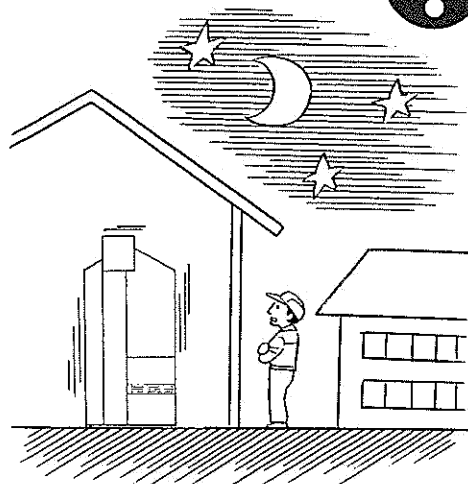
1つの製品が漏電していると、その他の機械も停止してしまいます。

取扱者以外の人に触れる恐れのあるときには、保護柵などで製品を囲ってください。



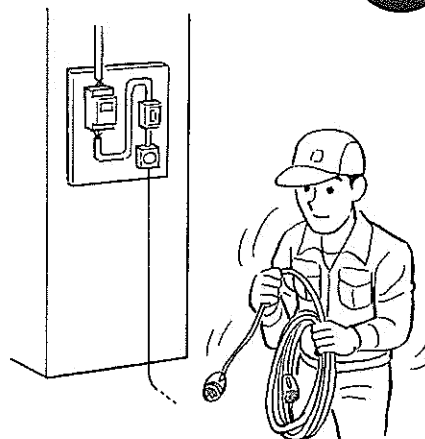
誤使用が原因でケガをすることがあります。

夜間運転をするときには、隣家へ迷惑がかからないように十分配慮してください。



生活環境を守ることが大切です。

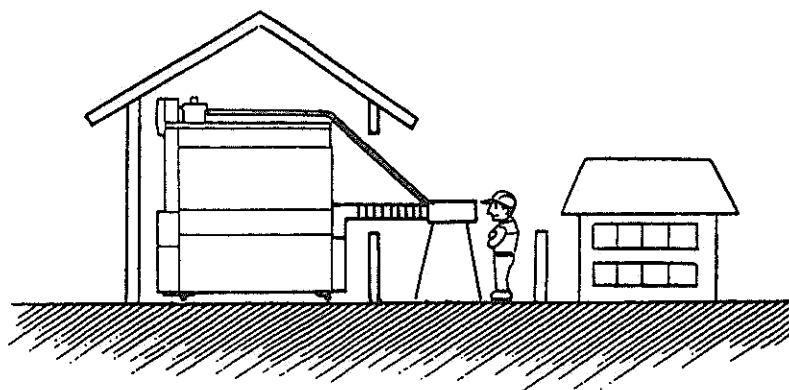
長期間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。



取扱者以外の人に触れて、誤使用が原因でケガをすることがあります。

▲注意

排塵機と送風機からは、ゴミやホコリが飛散しますので隣家へ迷惑のかからないように十分な配慮をしてください。

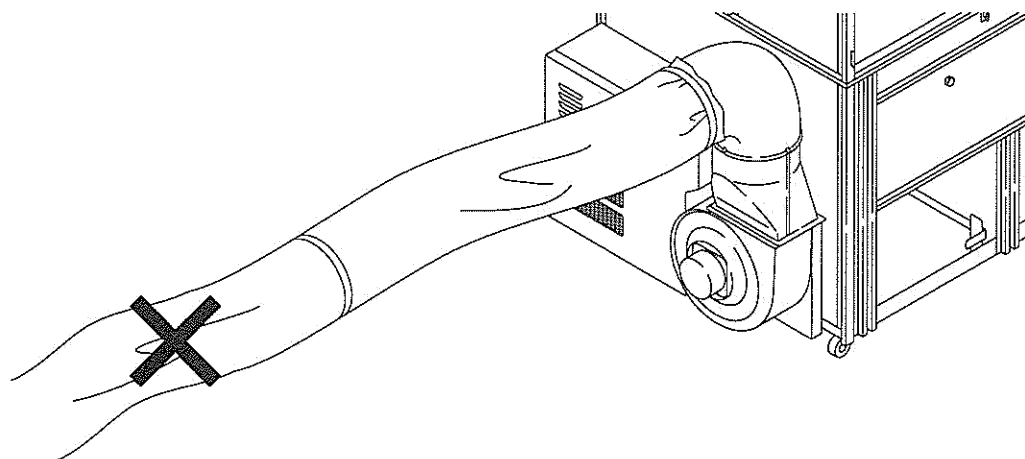


洗濯物を汚したり、ノド・目を痛める原因になります。

補足

排塵機・送風機からのゴミ・ホコリでお困りの場合には、集塵装置（オプション：別売）をおすすめします。
尚、詳細については、P9-03を参照してください。

付属の排風ダクトを延長して使用しないでください。



風量が低下し、バーナにカーボンが付着しやすくなり、また、乾燥時間も通常より長くなるようになります。

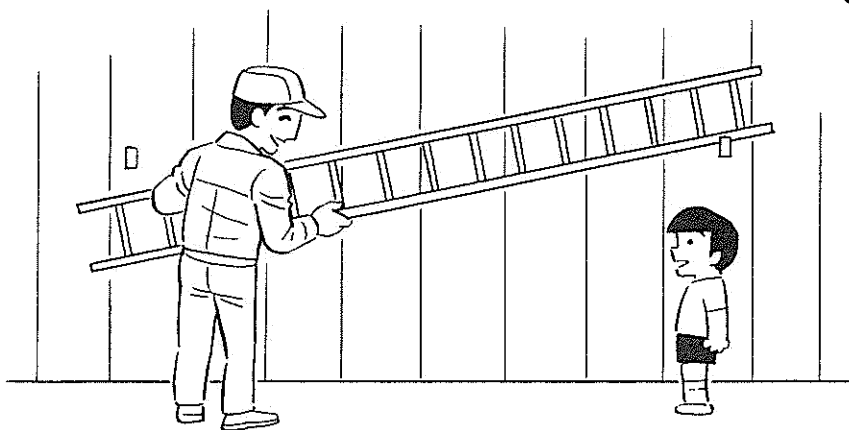
概要説明

作業時の注意事項

⚠ 危険

ハシゴは、販売業者の方がメンテナンス時に使用するものです。従って、ハシゴは子供の手の届かない所に保管してください。

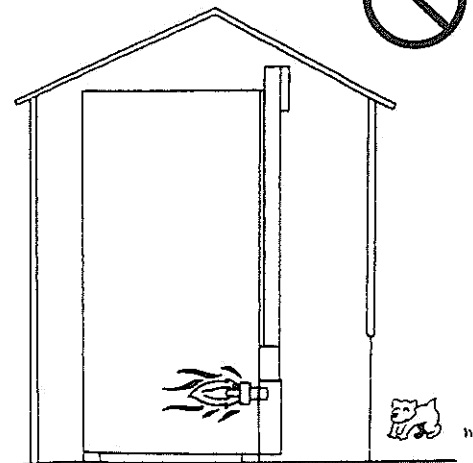
また、高所作業は絶対におこなわないでください。



落下して死亡・重傷の原因になります。

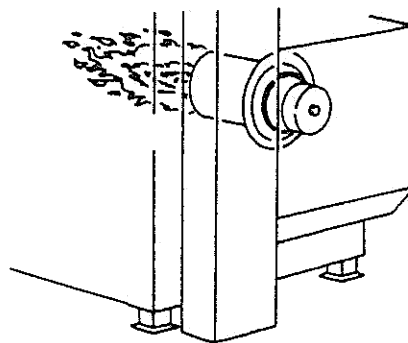
⚠ 警告

バーナが燃焼中は、できるだけ無人運転は、避けてください。



火災の原因になります。

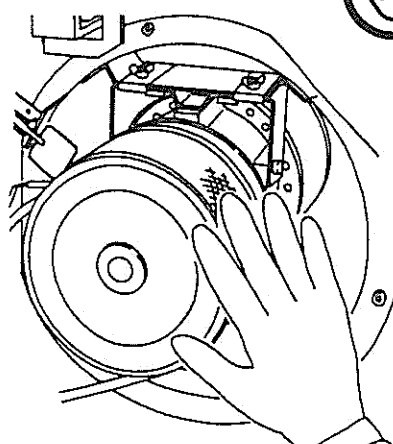
バーナ燃焼中は、燃料タンクに注油しないでください。



火災の原因になります。

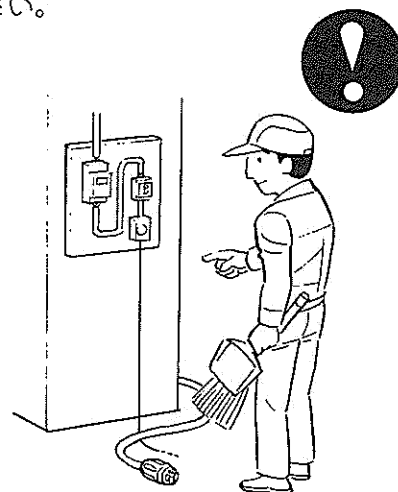
警告

バーナが燃焼中や熱いあいだは、手をふれないでください。



ヤケドの原因になります。

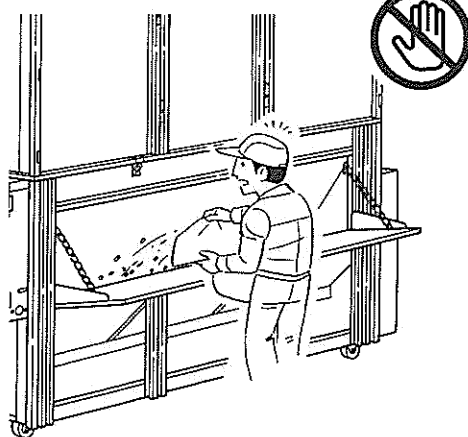
点検・整備あるいは掃除をするときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。



感電の原因になります。

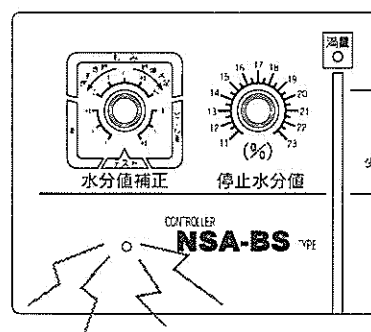
注意

粉・麦をホッパーから投入するときには、手をホッパーの奥に入れないでください。



回転部に手が触れて、ケガの原因になります。

‘満量’ランプが点灯し、ブザーが鳴った場合には、すぐに粉・麦の投入を中止してください。

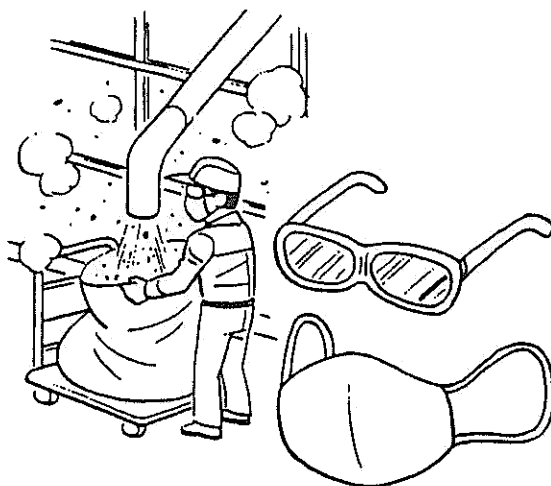


張り込みすぎると粉詰まりの原因になります。

概要説明

⚠️ 注意

排出時には、目・口をメガネ・マスク等で防護してください。



ホコリによって目・のどを痛めることがあります。

●乾燥における注意事項

粳の乾燥について

生粳にワラくずなどが多く混入していると、粳の流動性が悪く、乾燥ムラや変質の原因となりますので、乾燥機に投入する前に再選別するなどして取り除いてください。	
生粳は刈取り後、直ちに乾燥機に投入し、乾燥する量を全て投入するまでバーナを着火せずに通風循環をおこなってください。	
水分ムラの多い生粳を乾燥する、あるいは青米の混入率の多い場合には、バーナを着火する前にできるだけ多くの通風循環時間を取るようになしてください。高水分の粳ほど、特に水分の高い青米などは乾く方向に向かい、水分ムラが緩和されます。	
次のような場合には、穀物量を実際の穀物量よりも少なめに設定して乾燥をおこなってください。 (1) 刈取り適期が過ぎてしまい圃場での胴割れがみられる場合 (2) 胴割れしやすい品種の場合 (3) 冷害の影響を受けた粳・くず米・シイナなどが多く混入している粳の場合	
張込量が4石未満の場合には、熱風乾燥をおこなわないでください。 熱風温度が下がりきれずに粳の品質を損なうことがあります。	
毎年、初回の乾燥時は、停止水分を希望の値よりも高めに設定して運転をおこなってください。	
青米が多く混入している粳を乾燥した場合には、水分が戻る場合がありますので、早めに粳すりをしてください。	
乾燥終了後は、必ず手持ちの手動水分計で水分を確認し、水分表示誤差を補正してください。	

概要説明

麦の乾燥について

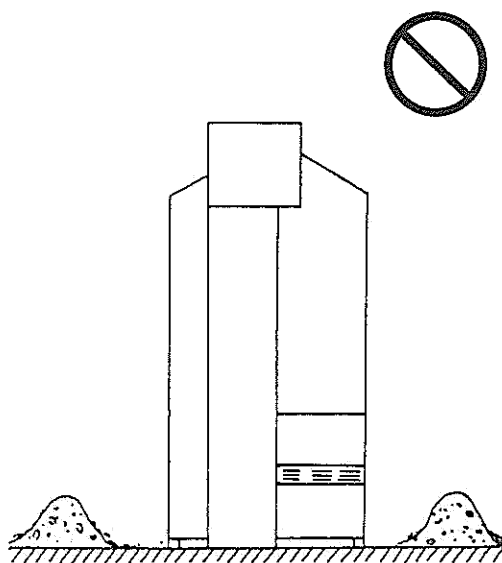
麦にワラくずなどが多く混入していると、麦の流動性が悪く、循環ムラを起こしやすくなります。極端に多い場合には、乾燥機内の一部に固まって全く流れず発酵することもありますので、乾燥機に投入する前に再選別するなどして取り除いてください。	
高水分（28%以上）の麦は、刈り取らないようにしてください。高水分の麦を乾燥すると次のような弊害が生じます。 （１）刈り取り時や乾燥時に発芽障害を起こします。 （２）やわらかいので、脱皮して平たく変形したり粉碎したりなどの被害がでます。 （３）乾燥時間が長くなり燃料の消費が増大します。 （４）仕上り時の色や光沢が悪くなります。 （５）循環ムラをおこすことがあります。	
張込量が４石未満の場合には、熱風乾燥をおこなわないでください。 熱風温度が下がりきれずに粉の品質を損なうことがあります。	
毎年、初回の乾燥時は、停止水分を希望の値よりも高めに設定して運転をおこなってください。	
乾燥終了後は、必ず手持ちの手動水分計で水分を確認し、必要に応じて水分値補正をおこなってください。	

●火災予防上の注意事項

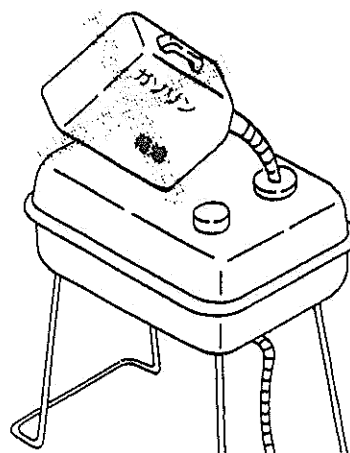
⚠危険

火災の原因となりますので、火災予防上の注意事項を守ってください。

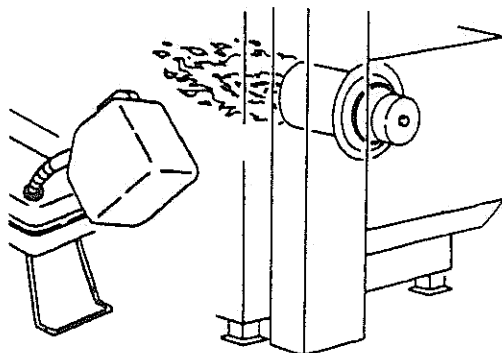
乾燥機の周りは、いつも清掃し燃えやすいものを置かないでください。



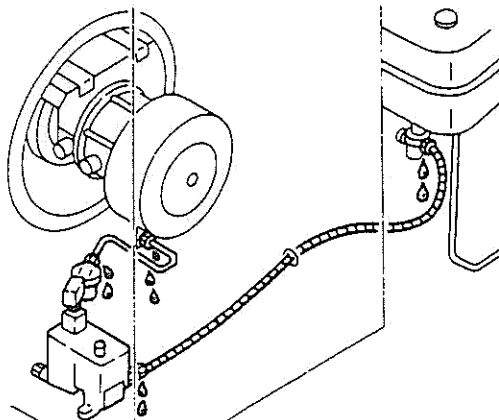
灯油以外の燃料は使わないでください。



バーナの燃焼中や熱いあいだの注油はおこなわないでください。

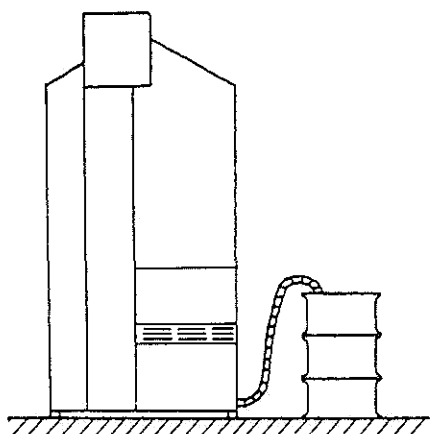


燃料系統部分から油洩れがあるときには、バーナを点火しないでください。

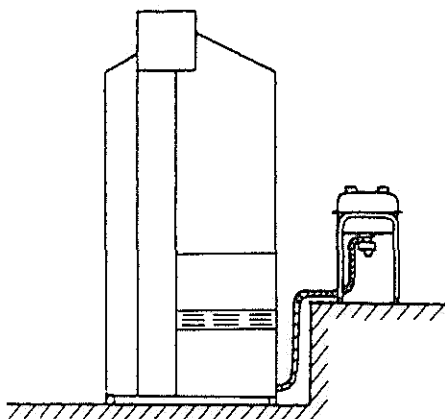


概要説明

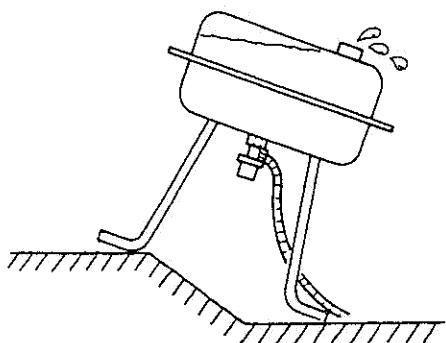
ドラム缶からの配管は、やめてください。



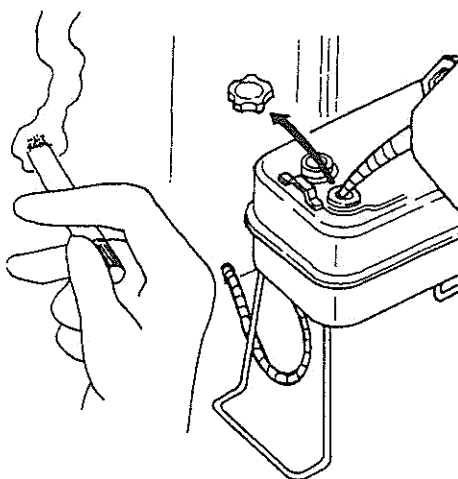
燃料タンクは、本機の据付け面と同一面に据付けてください。



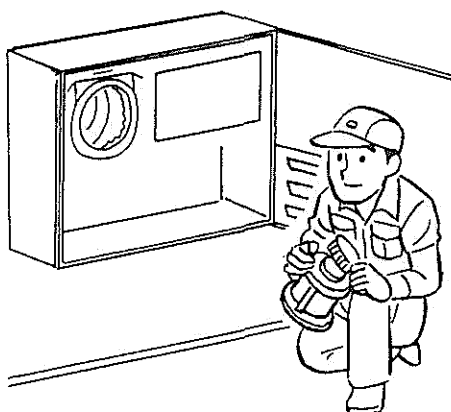
燃料タンクは、水平な所に据付けてください。



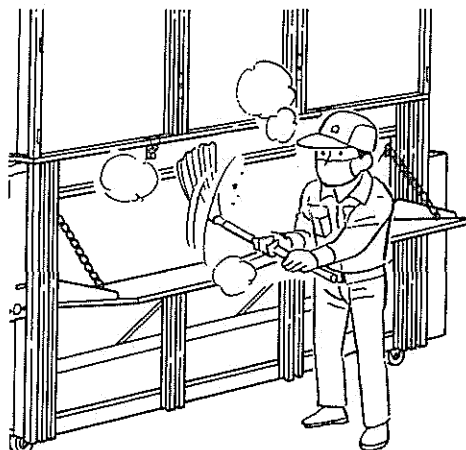
注油時あるいは、燃料系統の点検・整備時には火気を近づけないでください。



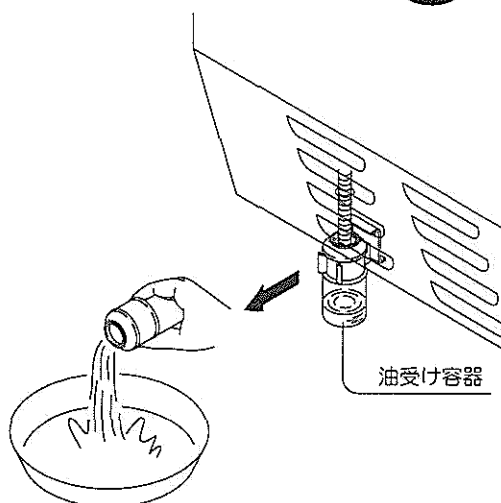
定期的にバーナの分解掃除を必ずおこなってください。



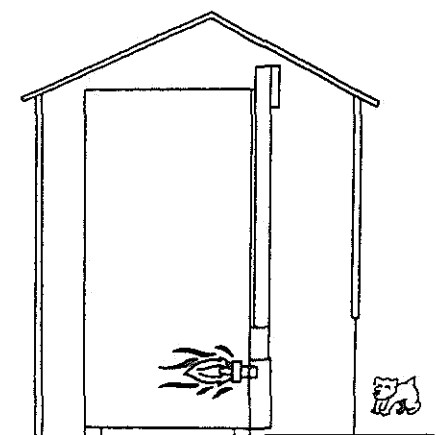
シーズン終了後、本機内の掃除を必ずおこなってください。



油受け容器にオーバーフローした灯油は、あふれる前に処理してください。



バーナが燃焼中は、できるだけ無人運転は避けてください。

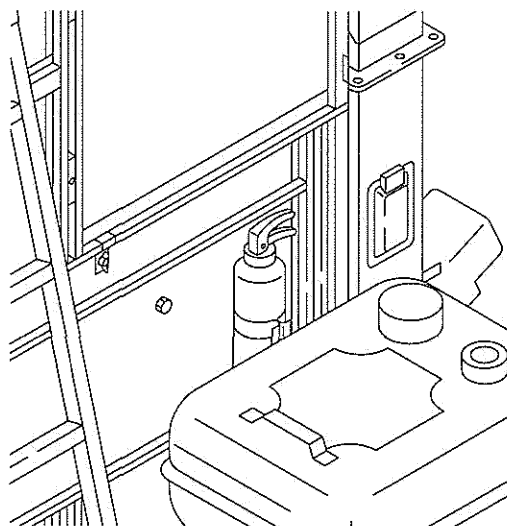


概要説明

こぼれた燃料は、必ず拭き取ってください。（注油している時、油洩れがある時など）



消火器は、所定の場所に装備してください。

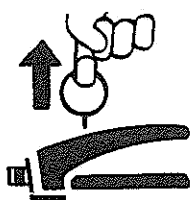


万一、火災が発生した場合には備え付けの消火器を使用してください。
消火器の使用方法は、下記の通りですのでよく理解してください。

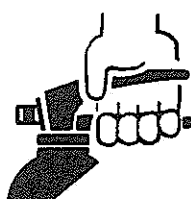


使用方法

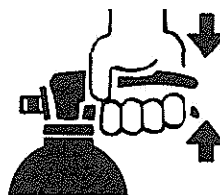
1 安全栓を引き抜く



2 ノズルを火元に向ける

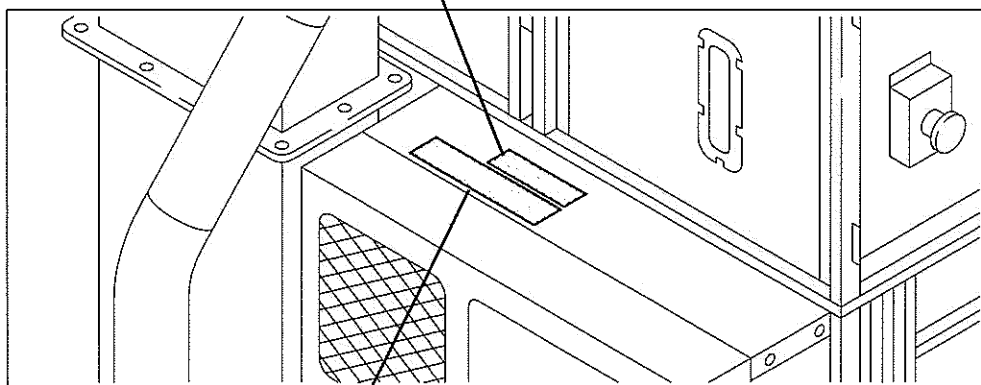


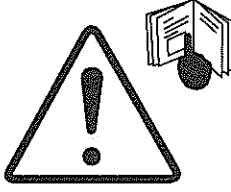
3 レバーを強くにぎる

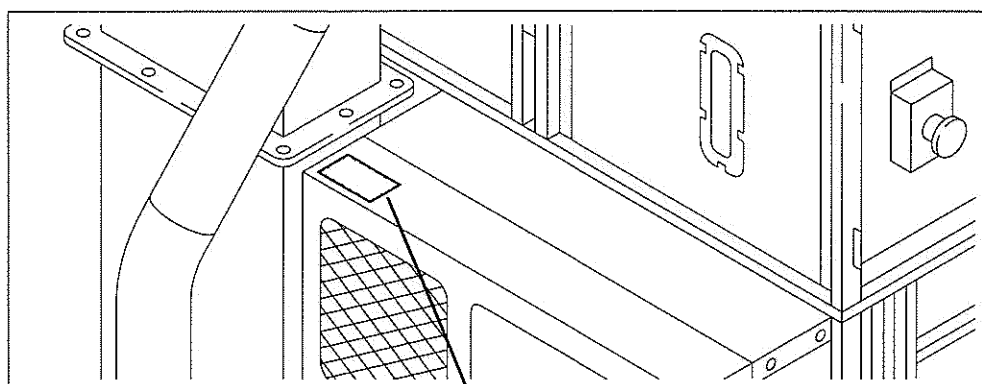
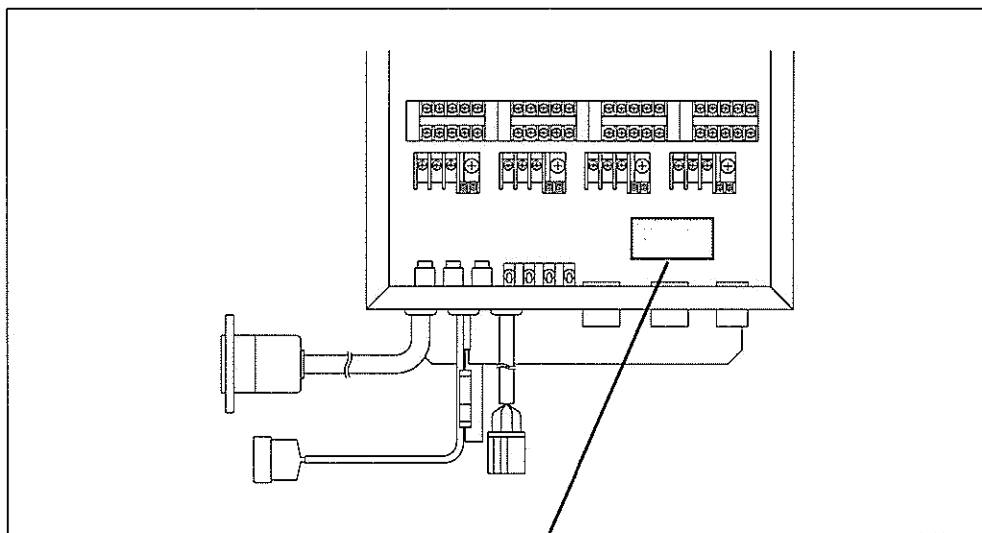


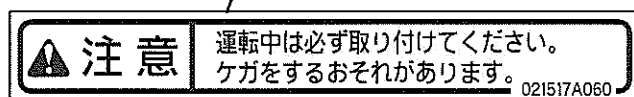
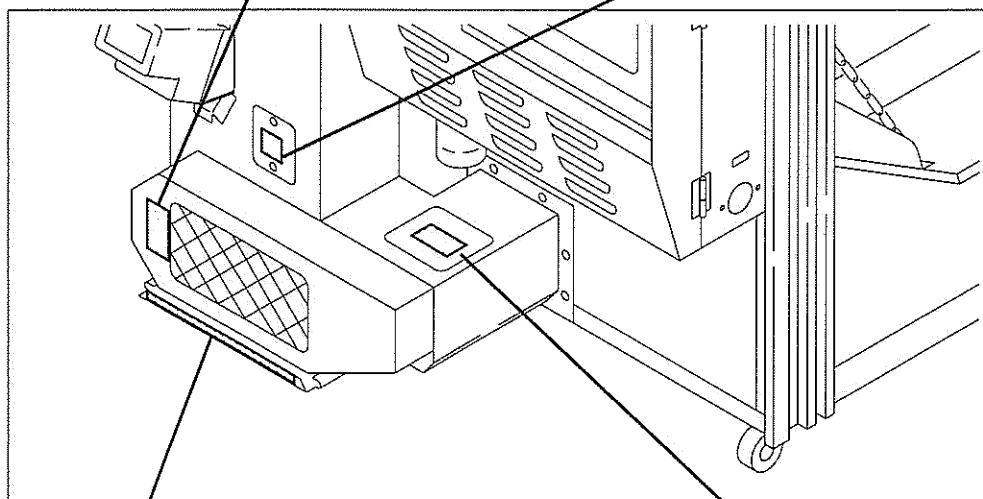
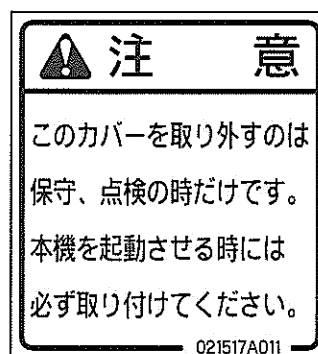
安全ラベル

	危険 火災予防上の注意をよく読み、理解してください。 1. 乾燥機の周りは、常に清掃し燃えやすいものを置かないでください。 2. 燃料には、灯油以外は絶対に使用しないでください。 3. バーナが燃焼していたり、熱い間の注油はおこなわないでください。 4. 燃料系統部分から灯油が漏れている場合には、運転をしないでください。 5. 燃料は、ドラム缶より直接とらないでください。 6. 油受け容器に溜まった灯油は、一杯になる前に処理してください。 7. 消火器は、所定の場所に装備し、取り扱い上の注意を必ずまもってください。 021507A003
---	---

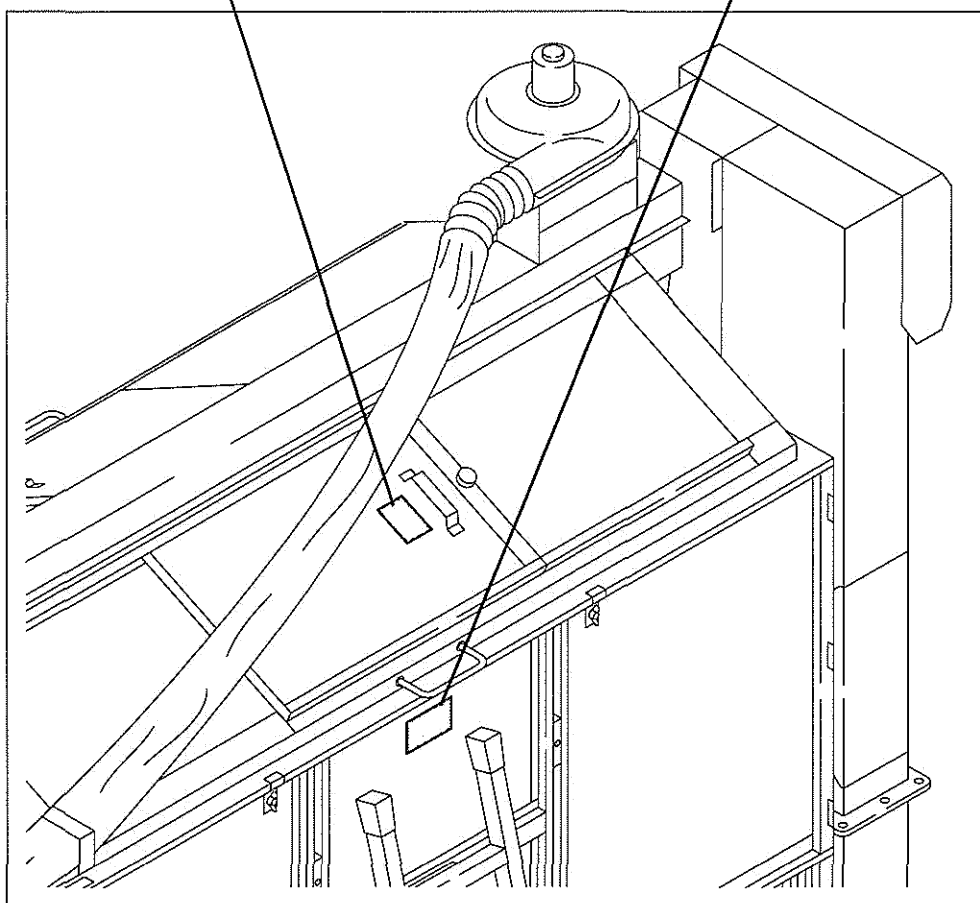
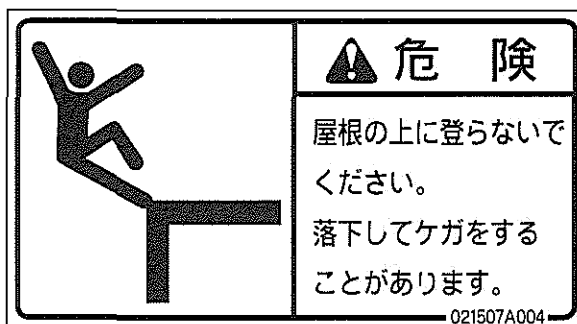
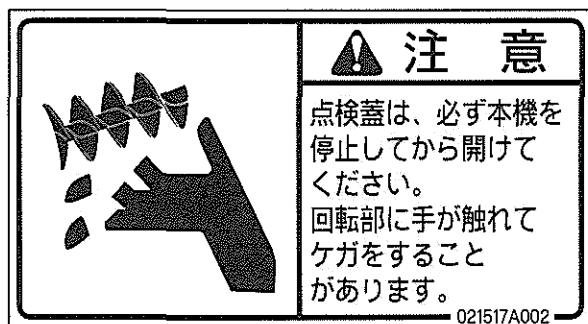


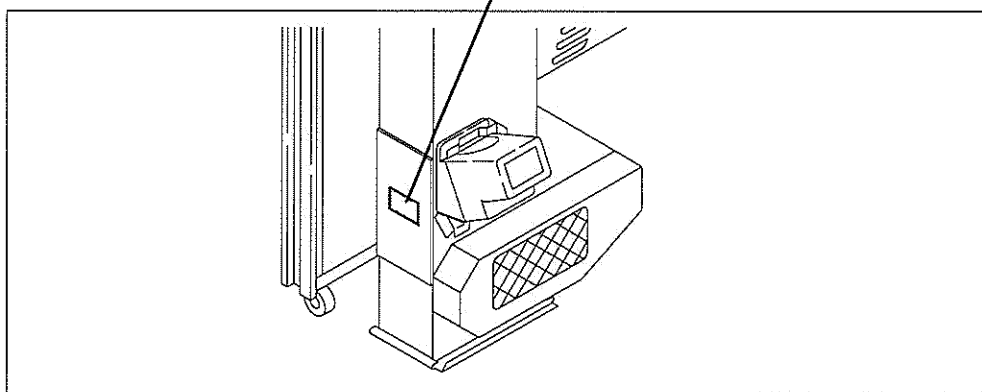
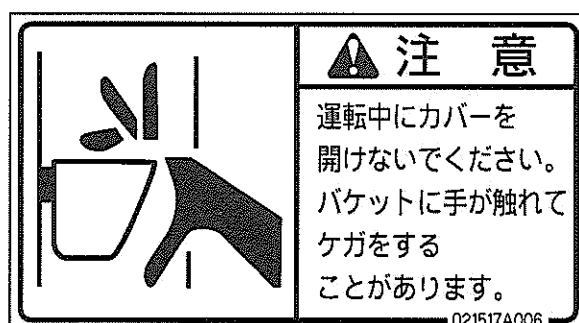
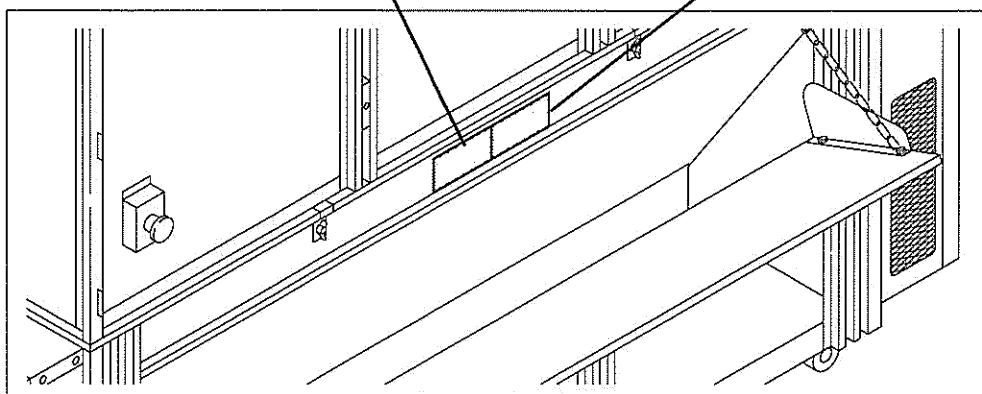
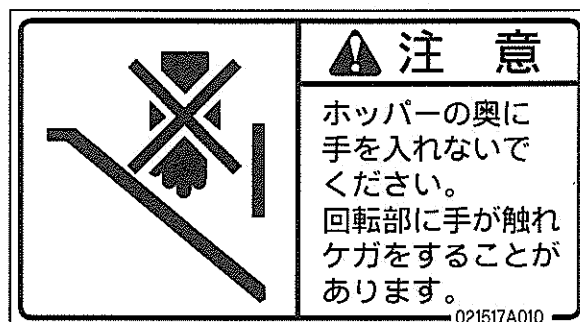
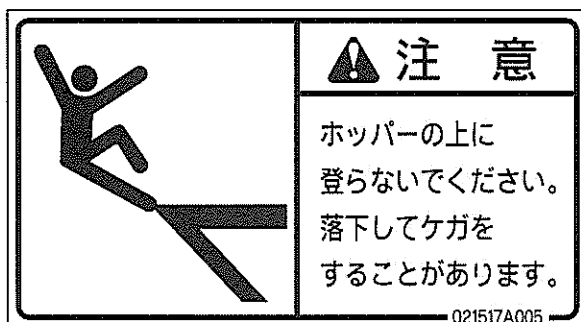
	注意！ 乾燥機の運転操作をする前に各部分の取扱説明を十分に納得してください。 1. 乾燥機を起動する前に、乾燥機の付近に他の人がいないことを十分に確認してください。 2. 乾燥機を起動する前に、乾燥機各部の安全カバーが正しく取り付けられていることを確認してください。 3. 手、足、衣服などが回転部分に接近しないように十分にご注意をお願いします。 4. 整備・点検は、必ず電源プラグを抜いてからおこなってください。 5. バーナ部の整備・点検は、バーナが冷えてからおこなってください。 6. 運転終了後は、制御盤の電源スイッチを切り、電源プラグを抜いてください。 021517A004
---	---



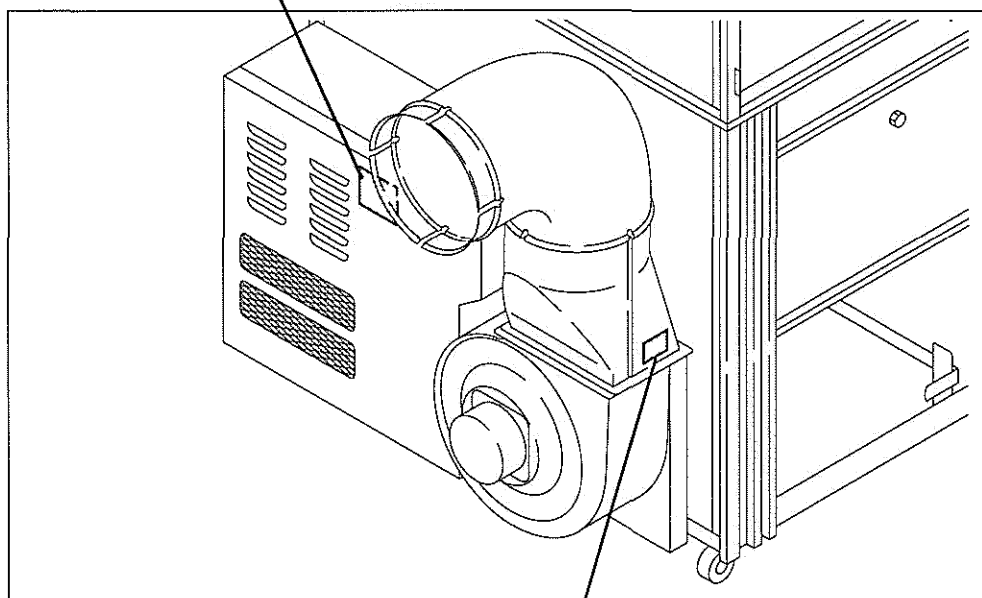
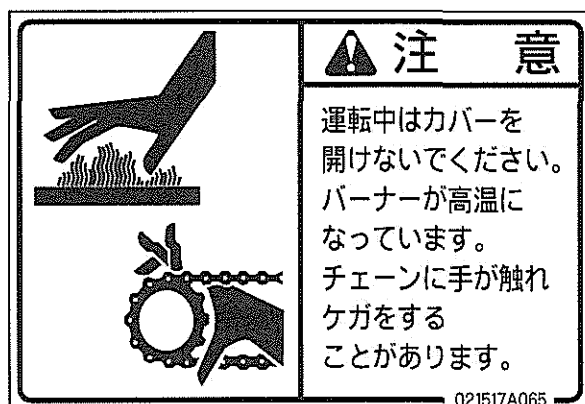


概要説明

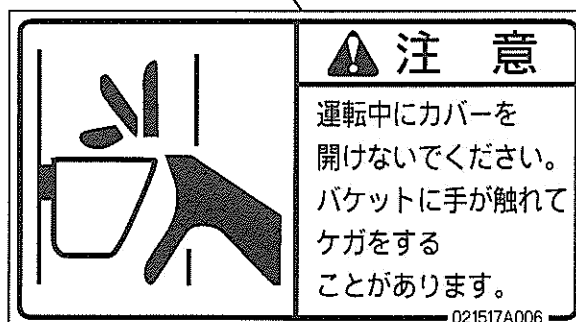
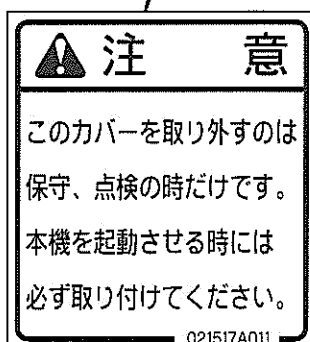
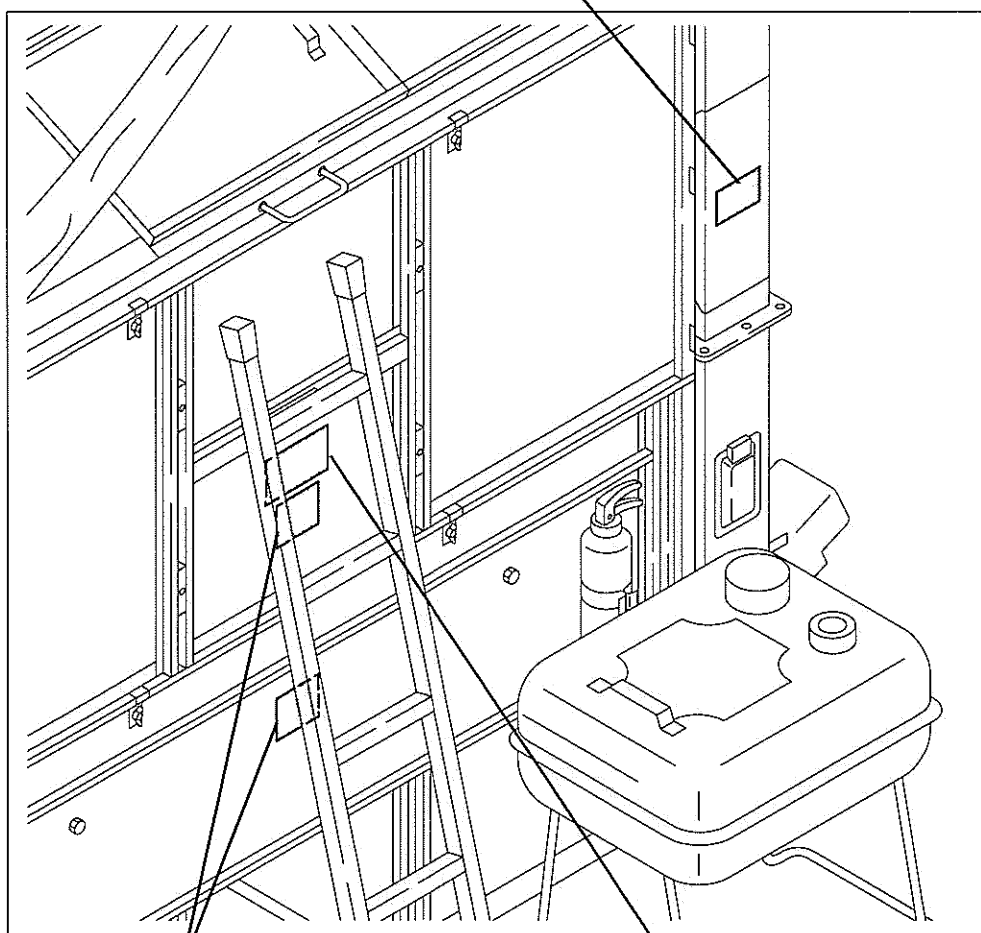
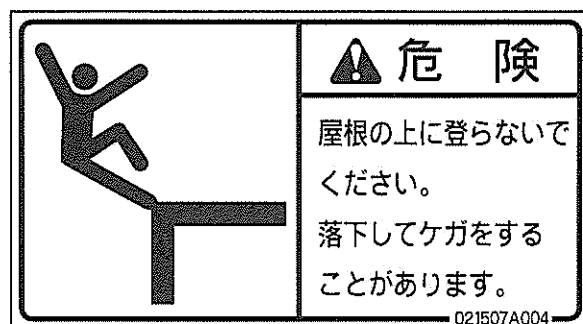


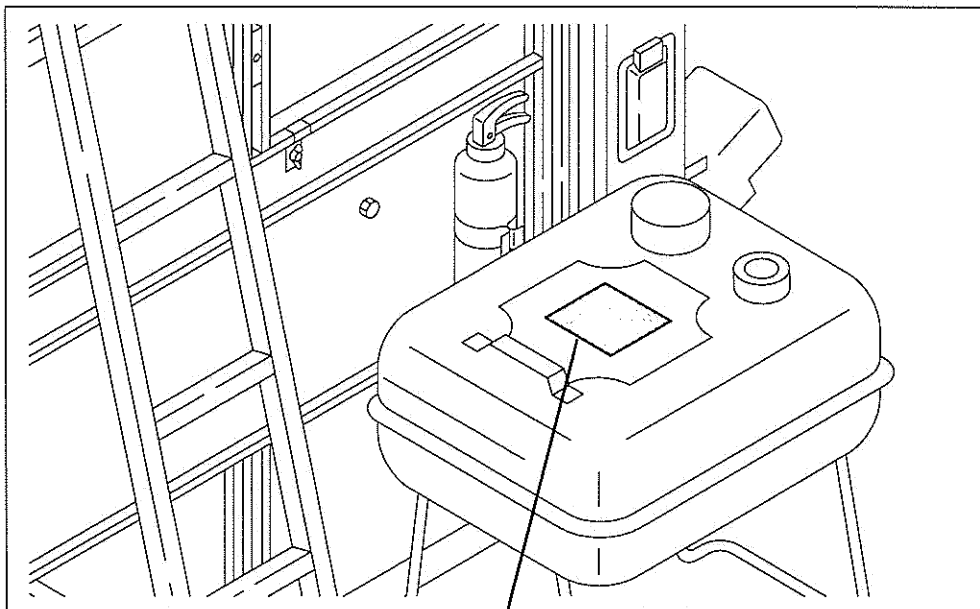


概要説明

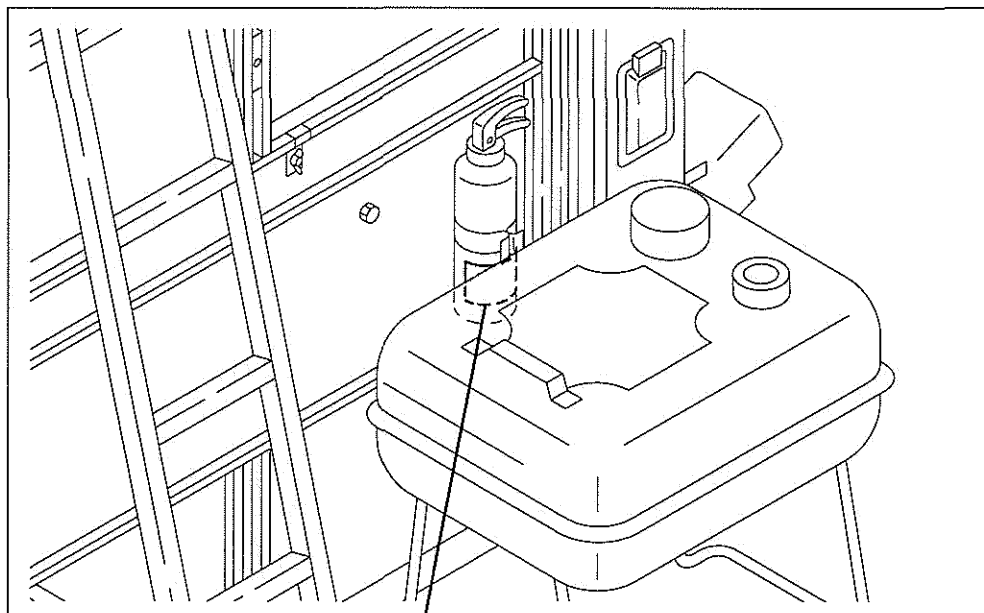


**排風エルボを必ず
使用してください**





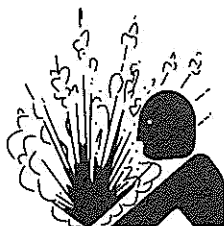
ご使用前に良くお読みになり、理解してください。	
⚠ 危険	ガソリン使用禁止 このタンクは、灯油専用のタンクです。 ガソリンは絶対に使わないでください。 火災となる恐れがあります。 
	火気厳禁 給油中の喫煙、裸火、スパーク等は絶対に行わないでください。引火の恐れがあります。 
⚠ 警告	1. バーナ燃焼中の給油は、絶対に行わないでください。 引火の恐れがあります。
⚠ 注意	1. 灯油は、油量表を見ながら「満」の目盛まで入れてください。 燃料タンクの容量 SST-95L 88 ℓ EBT-92H 83 ℓ 2. 給油中にこぼれた灯油は、必ず拭き取ってください。 3. 燃料タンクの上には絶対に乗らないでください。 4. 給油は、送油バルブのコックを閉め、給油口のフィルターを外さず におこなってください。 5. 送油バルブのカップに水が溜まった場合は、コックを閉じカップを 取り外して灯油で洗浄してください。 6. 燃料タンクは内部を灯油で洗浄し送油バルブを閉じホコリのかから めよう保管してください。



使用上のご注意

消火器は圧力容器です。〔取扱説明書〕をよく読んでご使用ください。

⚠ 危険



サビ・キズ・変形・キャップのゆるみのあるものは絶対に使用しないでください。
容器の破裂等により重大な人身事故発生の恐れがあります。

⚠ 警告

- 人に向かって絶対に放射しないでください。
● 呼吸困難や危害発生の恐れがあります。
- 法で定められた点検を定期的に行ってください。
● ご家庭でも5年を目安に点検してください。
● 製造から8年の耐用年数を過ぎたものは使用しないでください。

⚠ 注意

- 設置場所は高温多湿のところは避けてください。
- 消火器は初期消火の器具です。消火範囲に限りがあります。
- 適応火災はプレートに表示マークでご確認ください。
燃焼物によって適・不適があります。
- 火元に近すぎるとヤケドの恐れがあります。
距離を置いて消火活動をしてください。
- 消火器を廃棄する場合は必ず販売店か製造元にご相談ください。

第 2 章

主要諸元・外觀寸法

●主要諸元.....	2-02
●外觀寸法.....	2-03

主要諸元・外観寸法

●主要諸元

型 式 名		NSA85	NSA105	NSA135	NSA165	
区 分		BS・BS1				
穀と物処の理種類	粳 (kg) (容積重560kg/m ³)	400~800	400~1000	400~1300	400~1600	
	麦 (kg) (容積重680kg/m ³)	480~960	480~1200	480~1560	480~1920	
機 体 質 量 (重 量) (kg)		425	435	455	470	
送風機	型 式	PFK134・60S				
	形 式	遠心式				
	吐 出 口 径 (mm)	φ270				
	常 用 回 転 数 (r.p.m)	1900				
火 炉	型 式	KBR・22SS				
	形 式	ロータリー噴霧式				
	点 火 方 法	自動点火 (セラミックヒータ)				
	燃 焼 量 (l/時)	0.6~2.2				
使 用 燃 料		JIS 1号灯油				
燃 料 タ ン ク 容 量 (l)		30				
所 要 動 力	定 格 電 圧 (V)	単相100・200/三相200				
	定 格 出 力	搬 送 (Kw)	0.4			
		送 風 機 (Kw)	0.4			
		繰 出 し (Kw)	0.017			
		排 塵 機 (Kw)	0.06			
		ハ ー ナ (Kw)	0.02			
		水 分 計 (Kw)	0.008			
		制 御 盤 (Kw)	0.06			
	別 売 ス ロ ヲ (Kw)	0.4				
最大同時使用電力 (Kw)		0.965 (別売スロワ使用時=0.937)				
性 能	張 込 時 間	粳 (分)	12~14	15~18	20~24	24~28
		小麦 (分)	12~14	15~18	20~24	24~28
	排 出 時 間	粳 (分)	16~19	20~24	26~31	32~38
		小麦 (分)	15~18	18~22	23~28	29~35
	毎 時 乾 減 率	粳 (%/時)	0.5~0.9			
		小麦 (%/時)	0.7~1.0			
諸 装 備	安 全 装 置	満量センサ・風圧センサ・熱風温センサ・外気温センサ フレームアイ・サーマルリレー・ヒューズ、緊急停止装置 インバータ				
	標 準 装 備	排塵機・燃料タンク・消火器・ハシゴ (85型無し) 排風エルボ、昇圧トランス (BS1)				
安全鑑定適合番号		—	—	—	—	

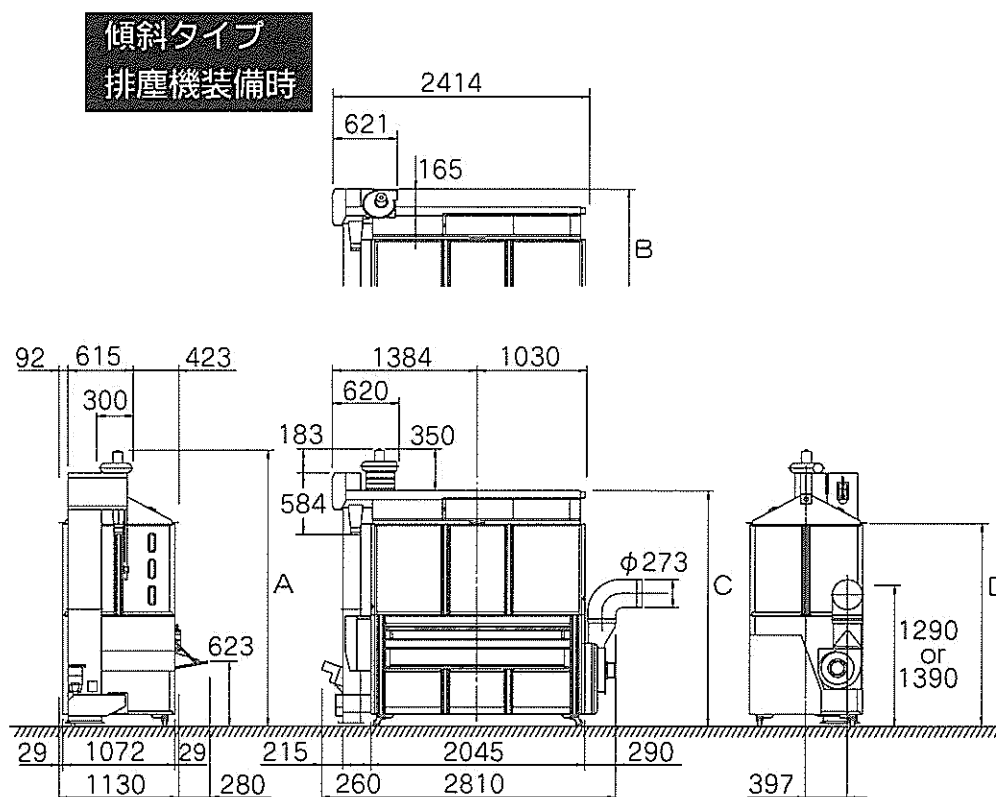
補 足

- 1) 張込・排出時間は、穀物の性状によって変動します。
- 2) 排出スロワなどの外部搬送機を使用すると排出時間が増加します。
- 3) 区分 BS…単相・三相仕様、BS1…単相100V仕様になります。

主要諸元・外観寸法

●外観寸法

(単位：mm)



	A	B	C	D
NSA85	2183	2000	1835	1540
NSA105	2358	2175	2010	1715
NSA135	2623	2440	2275	1980
NSA165	2888	2705	2540	2245

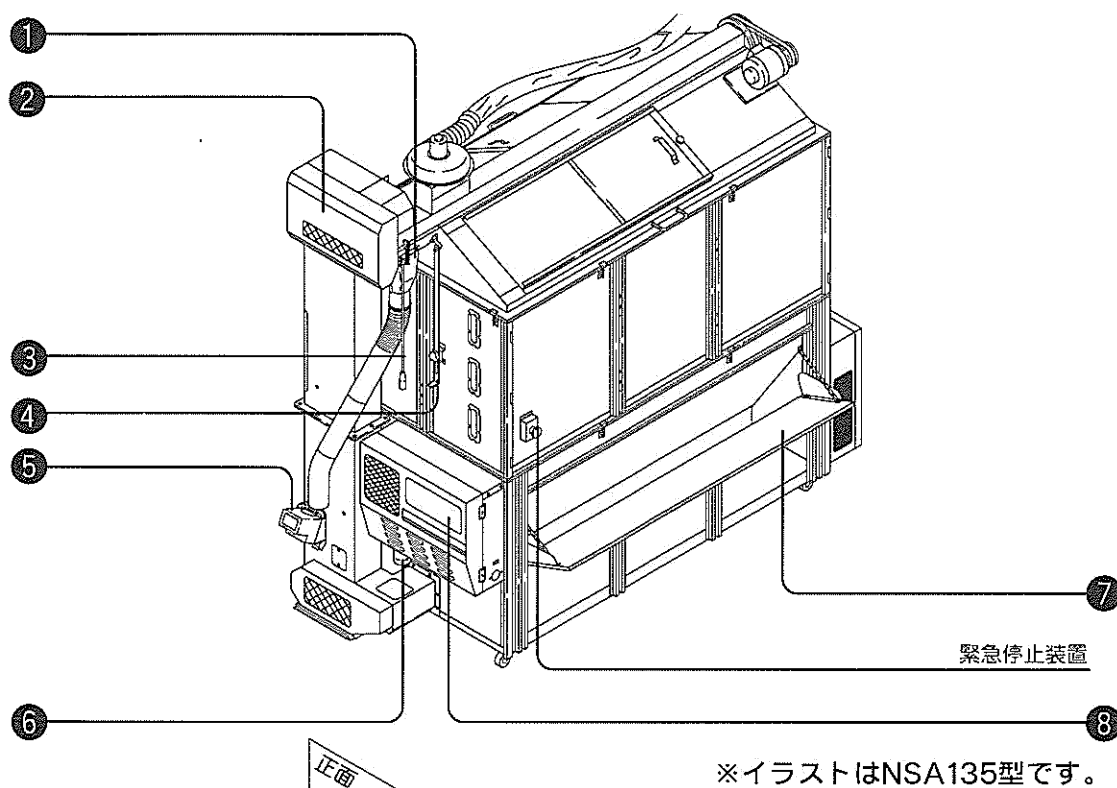
第 3 章

各部の名称と働き

●本機の名称と働き.....	3-02
●制御盤の名称と働き.....	3-04
●安全装置とセンサー類の名称と働き.....	3-05
●操作パネルの名称と働き.....	3-06
●バーナ部の名称と働き.....	3-07
●内部構造と穀物の流れについて.....	3-08

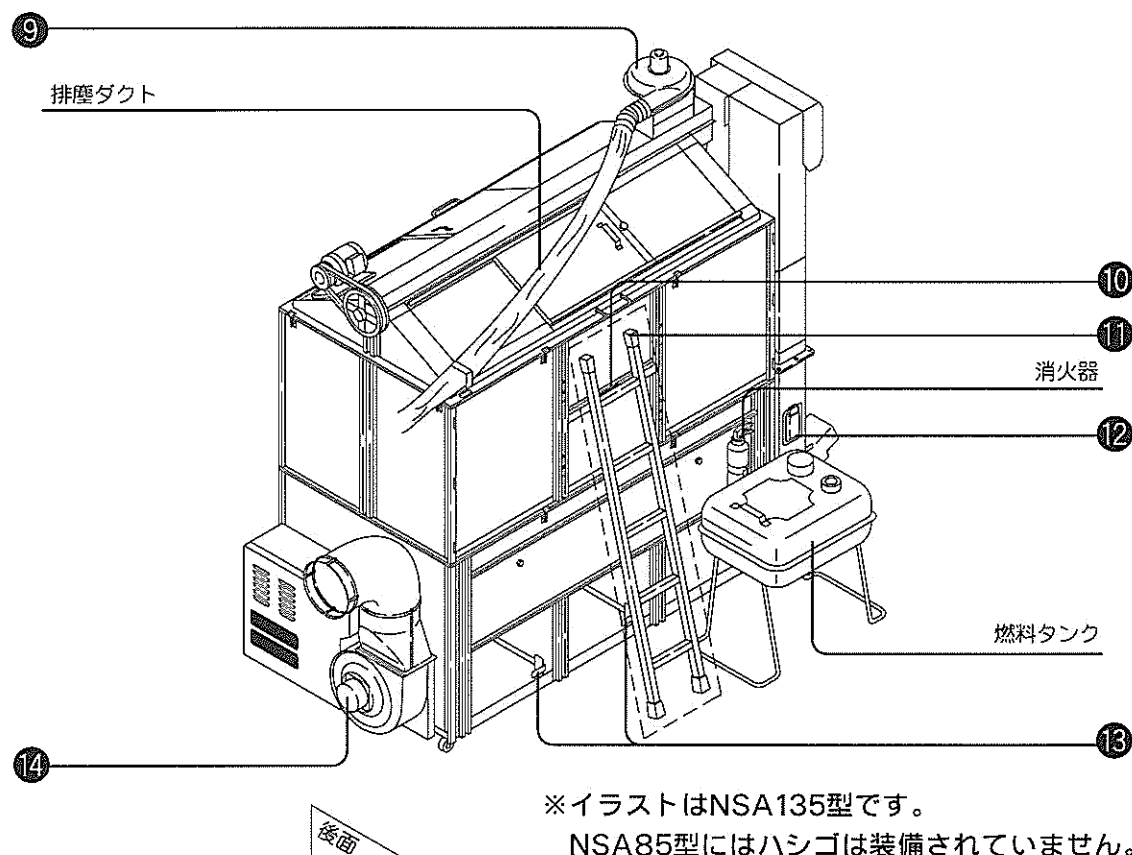
各部の名称と働き

●本機の名称と働き



No.	名 称	働 き
①	元 樋	排出時に内部のシャッター板が開いて粉・麦がここから排出されます。
②	昇 降 機	内蔵されているバケットで粉・麦を下から上に搬送します。
③	排出シャッターレバー	粉・麦を排出する時に操作します。
④	上部コンベア残米処理レバー	上部コンベア樋内部の残留物を取り除くことができます。
⑤	検 出 器	粉・麦の水分を測定します。
⑥	油受け容器	バーナからオーバーフローした灯油を受ける容器です。
⑦	側面張込ホッパー	ここから粉・麦を張り込みます。 補 足 左側に付け替えることもできます。
⑧	制 御 盤	ボタン操作で本機の起動、停止することができます。（詳細はP3-06を参照ください。）

各部の名称と働き



No.	名 称	働 き
⑨	排塵機	粉・麦の内部に混入しているコミ・ホコリを取り除きます。
⑩	ハシゴ掛け金具	ハシゴを本機に固定する場所となります。
⑪	ハ シ ゴ	販売業者の方が点検・整備するときに使います。
⑫	サンプル容器	乾燥中の粉・麦の取り出しができます。
⑬	下部コンベア残米処理レバー	下部コンベア樋内部の残留物を取り除くことができます。 補 足 右側に付け替えることもできます。
⑭	送風機	粉・麦に当たっている熱風を吸引すると共にゴミ・ホコリを取り除きます。

付属品

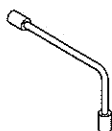
付属品には次のものがありますので、確認してください。

①電源プラグ…1

②L型ボックス…1

③取扱説明書…1

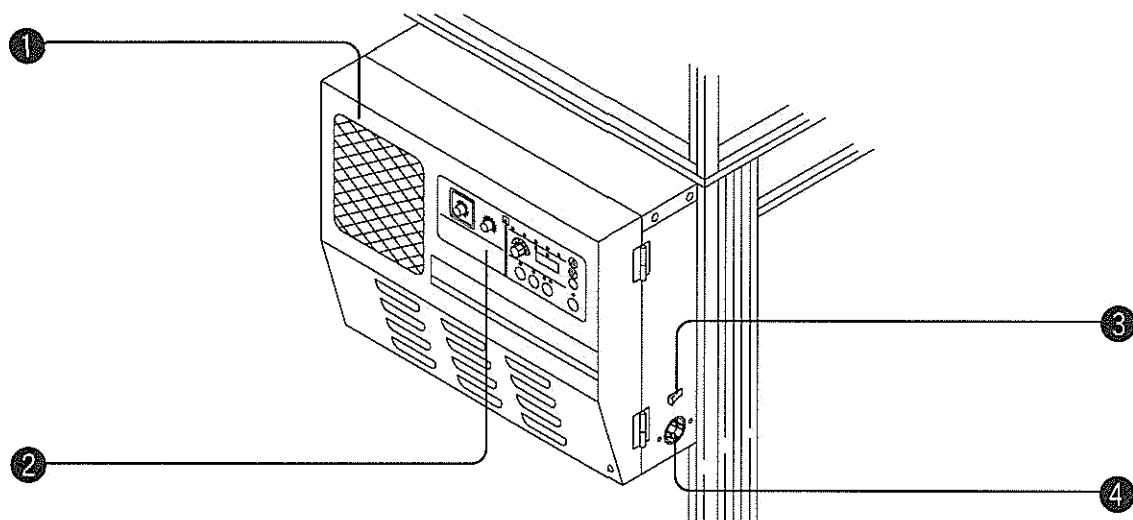
④取説収納ケース…1



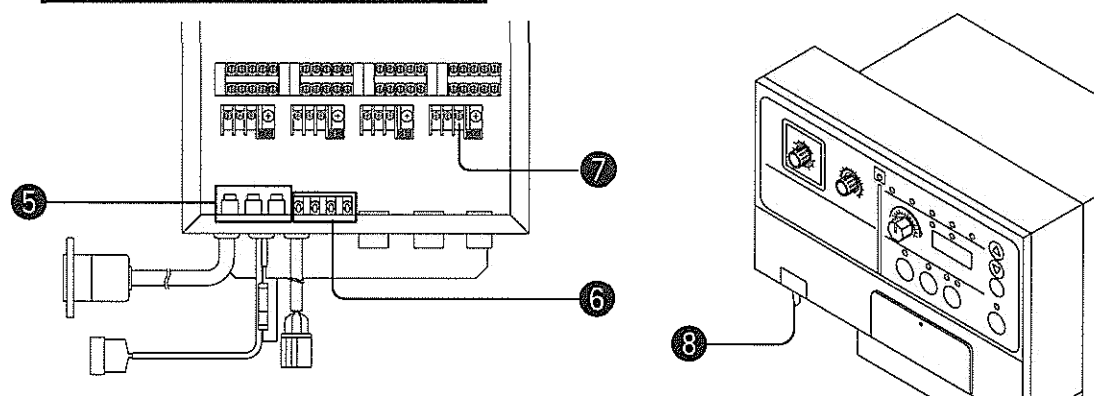
各部の名称と働き

●制御盤の名称と働き

外観図



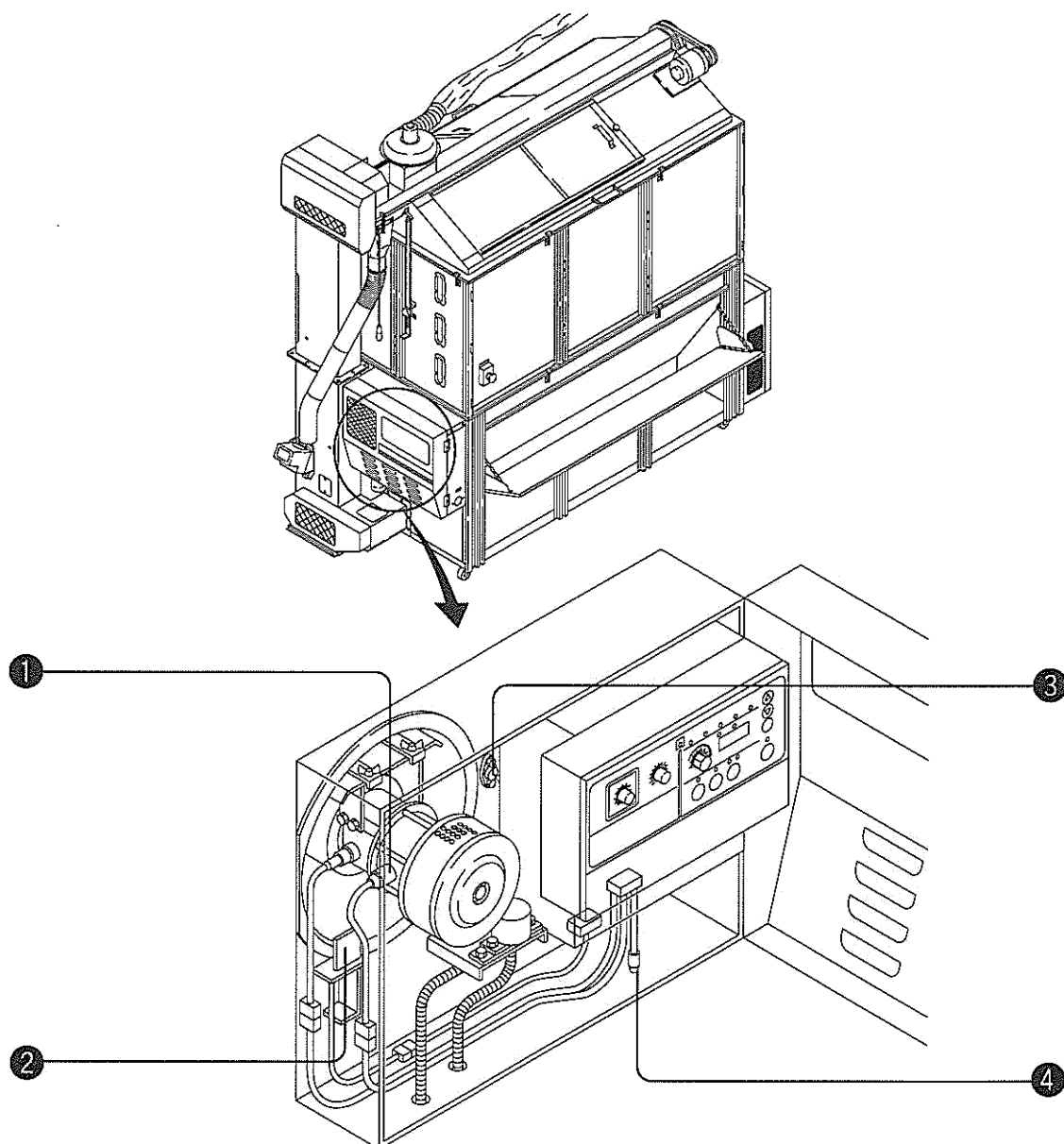
正面カバーを取り外した図



No.	名 称	働 き
①	正面カバー	制御盤内へのゴミ・ホコリやネズミの侵入を防ぎます。
②	操作パネル	乾燥条件を設定することができます。
③	電源スイッチ	制御盤の電源を 'ON' 'OFF' できます。また、搬送モータ過負荷・送風モータ過負荷およびスロワモータ過負荷時の解除ができます。
④	電源入力コネクター	電源コードをここに差し込みます。
⑤	保護用ヒューズ	電源用保護ヒューズと排塵機モータ用保護ヒューズの2本があります。
⑥	手動用スイッチ	手動スイッチ操作によって張込・通風循環・排出の応急運転ができます。
⑦	繰出しモータサーマルリレー	繰出しモータが過負荷になると作動し、本機を停止させモータを保護する装置です。
⑧	ブザースイッチ	ブザー音のON/OFF切替えができます。

各部の名称と働き

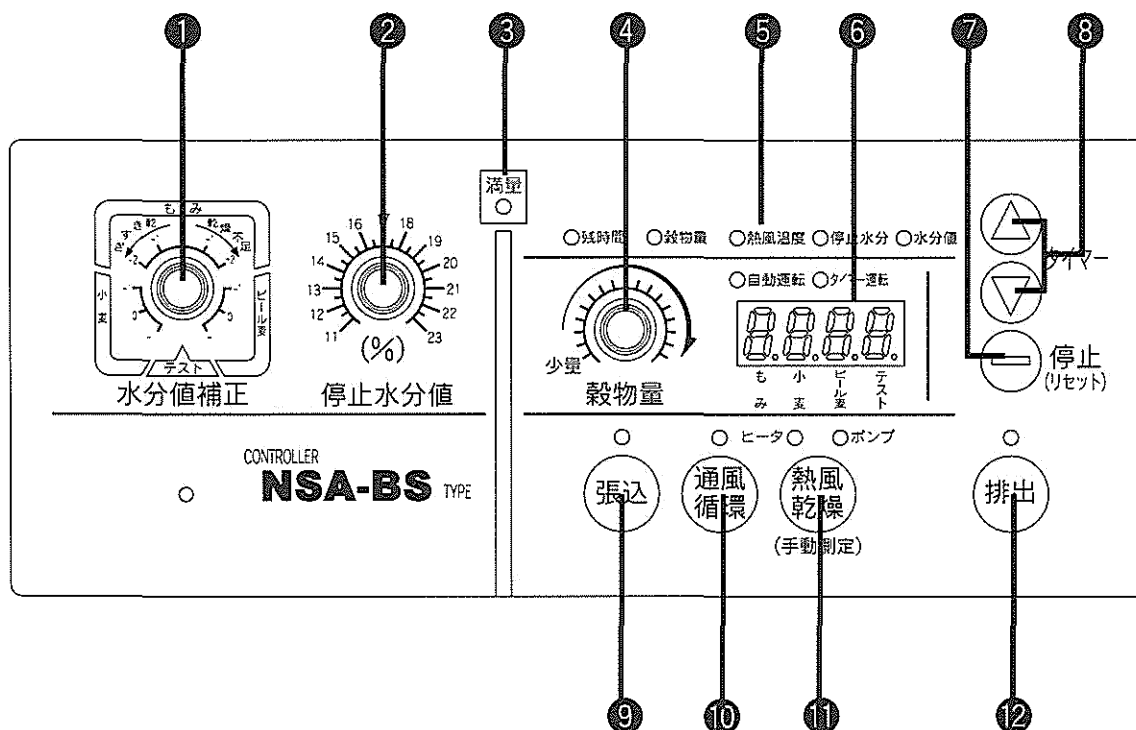
●安全装置とセンサー類の名称と働き



No.	名 称	働 き
①	フレイムアイ	常時、バーナの燃焼状態を検知し、なんらかの原因でバーナの火が消えた場合にポンプを停止し、灯油の流出を防ぎます。
②	風圧センサー	なんらかの原因で風量が減少した場合に、ポンプを停止しバーナの火を消します。
③	熱風温センサー	常時、熱風温度を検知し、熱風温度が80℃以上になるとポンプを停止し、バーナの火を消します。
④	外気温センサー	常時、外気温度を検知し、バーナの燃焼コントロールをしています。

各部の名称と働き

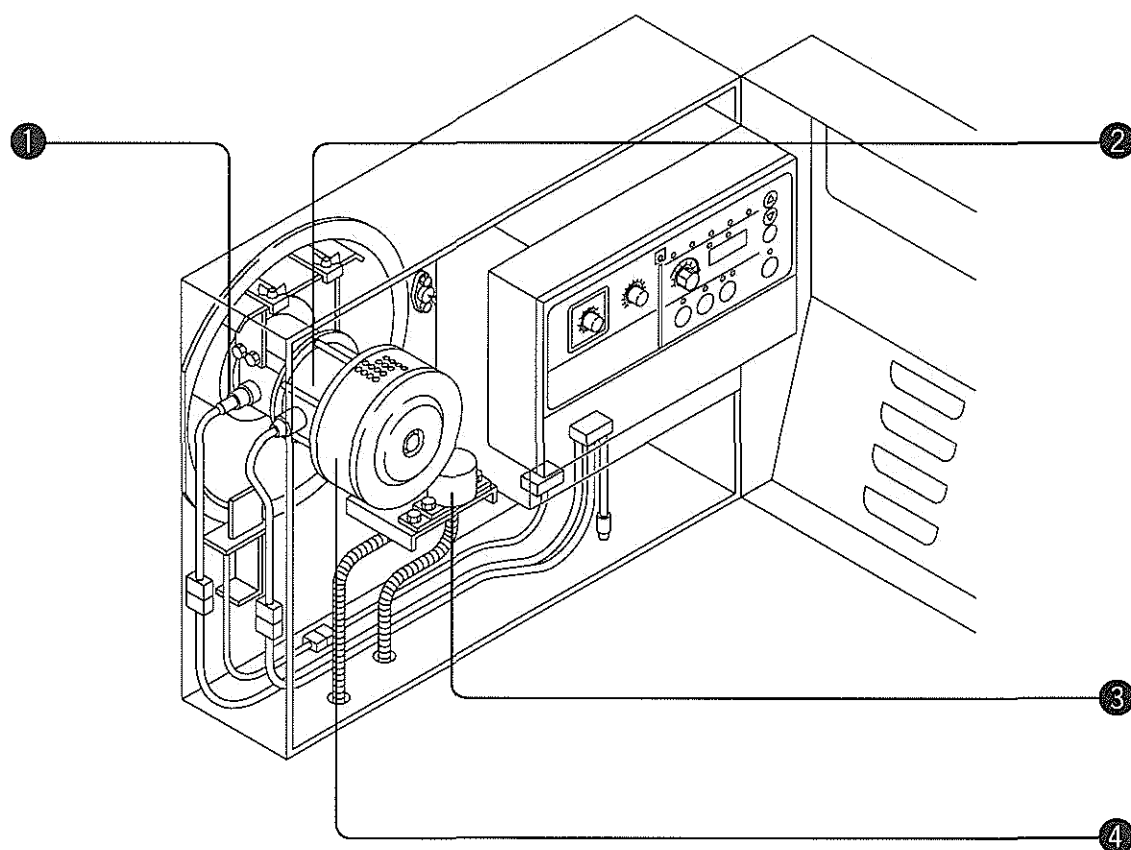
●操作パネルの名称と働き



No.	名 称	働 き
①	穀物補正 ダイヤル	乾燥する穀物の種類を選択することができます。 水分値の補正ができます。
②	停止水分設定 ダイヤル	希望の停止水分値を設定することができます。
③	満量 ランプ	最大張込量に達するとランプが点灯します。
④	穀物量設定 ダイヤル	張り込んだ粉・麦の穀物量を設定することができます。
⑤	表示 ランプ	ランプが点灯し、表示部に各データを表示します。 補 足 熱風乾燥中は、自動的にランプ点灯位置が移動しそのつど表示部に各データを表示します。
⑥	表示部	残時間・穀物量・熱風温度・停止水分・水分値のデータを表示します。
⑦	停止 (リセット) ボタン	各動作を停止することができます。異常時のリセットができます。
⑧	タイマー設定 ボタン	希望の稼働時間を設定することができます。
⑨	張込 ボタン	粉・麦を張り込むことができます。
⑩	通風循環 ボタン	粉・麦に風を送りながら循環することができます。 通風循環中に、現在の水分値を確認することができます。
⑪	熱風乾燥 ボタン (水分手動測定)	バーナが着火し、粉・麦に熱風を送りながら、乾燥することができます。 熱風乾燥中に現在の水分値を確認することができます。
⑫	排出 ボタン	粉・麦を排出することができます。

各部の名称と働き

●バーナ部の名称と働き



No.	名 称	働 き
①	点火ヒーター	着火時、赤熱しバーナ回転部から噴霧された灯油に引火します。
②	バーナ回転部	乾燥中、回転しながらポンプから吐出された灯油を噴霧し続けます。
③	電磁ポンプ	燃料タンクから灯油をくみあげ、バーナ回転部側に吐出します。
④	エアフィルター	バーナ回転部に取り込まれる大気中のゴミ・ホコリを取り除きます。

各部の名称と働き

内部構造と穀物の流れについて

上部コンベア

昇降機で下搬送された穀物を横に送り、本機内に落します。

昇降機バケット

下部コンベアで昇降機に送られた穀物をすくい上げ、下から上に運びます。

駆動チェーン

繰出しモータ
駆動チェーンを
回転させて繰出
しロールを回し
ます。

主モータ

昇降機、上部・下部
コンベアを起動させ
ます。

繰出しロール

乾燥部内の穀物を回転して定量を
下部コンベアに落とします。

インバーターユニット

主モータ、送風機および排出スロワの
回転制御をしています。

下部コンベア

繰出しロールから落ちた穀物を昇降機に
送ります。

← 穀物の流れ

第4章

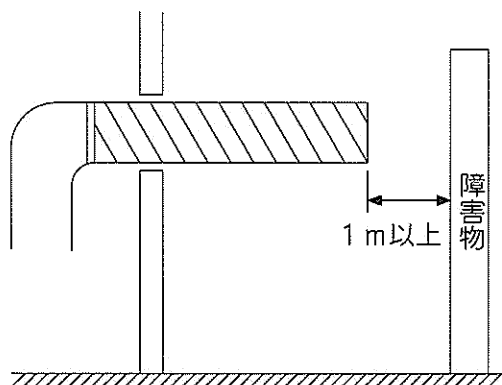
据 付 け

●据付け上の注意事項.....	4-02
-----------------	------

●据付け上の注意事項

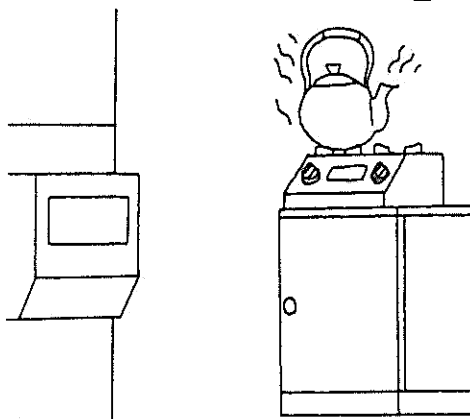
⚠危険

排風ダクトを使用する場合は、まっすぐに張ってください。また、先端から1 m以内に障害物を置かないでください。



風量が低下し、バーナにカーボンが付着しやすくなり、火災の原因になります。

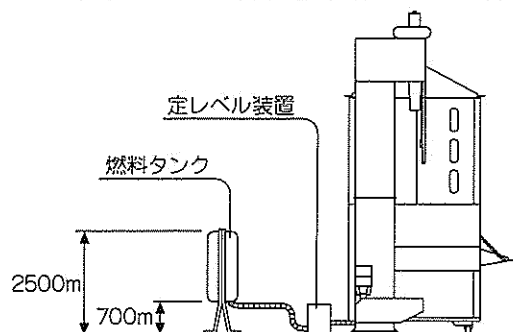
可燃性ガスを使用している機器を、製品の据付けてある作業所には設置しないでください。



万一、ガスが漏れて製品の周囲に溜まると、引火して火災の原因になります。

付属の燃料タンク以外の灯油用燃料タンクを据付ける場合には、次の項目を守ってください。

- ①注油時の油面の高さが、本機据付面から2500mm（下限）～700mm（上限）の範囲内にある燃料タンクを据付けてください。
- ②同一の燃料タンクから2台以上の乾燥機に燃料を供給する場合には、鉄管で配管してください。尚、鉄管の配管については、お買い上げの販売店あるいは弊社営業所にお問い合わせください。
- ③燃料タンクの油面の高さが700mmを超える場合は、定レベル装置が必要となる場合がありますので、据付ける前に弊社営業所あるいは最寄りの販売店にご相談ください。

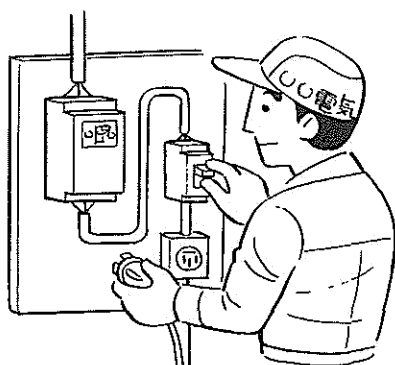


火災の原因になります。



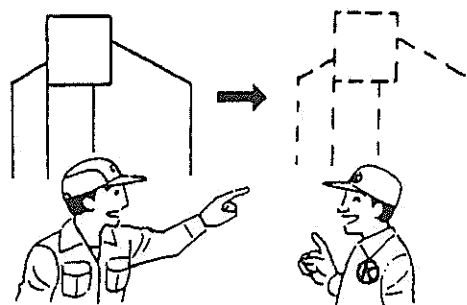
警告

据付け後、元電源の契約電力の確認および屋内の配線の点検を、必ず、電気工事店にお願いしてください。



電気回路容量不足や施工不備があると、感電・火災の原因になります。

移設するときには、お買い上げの販売店あるいは弊社営業所にご相談ください。



据付けに不備があると、感電・火災の原因になります。

付属のアース線を必ず取り付けてください。

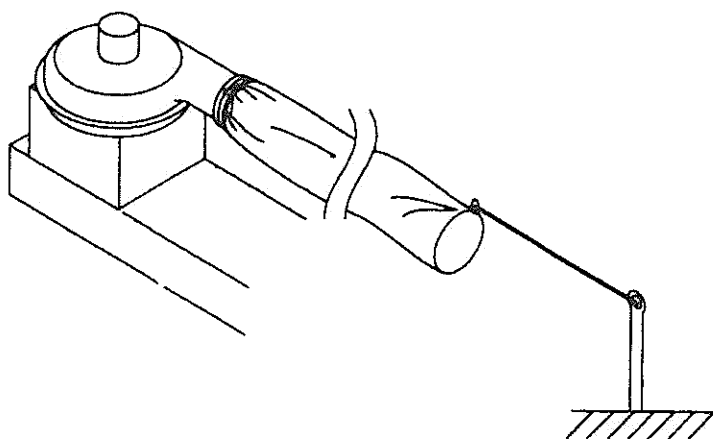
アース線はガス管・水道管・避雷針・電話のアース線に接続しないでください。



アース線を取り付けないと感電の原因になります。

⚠注意

排塵ダクトは、ねじったり、曲げたり、先端を絞ったりしないでまっすぐに張ってください。



ゴミ・ホコリの抜けが悪くなったり、排塵機モータが焼損する原因になります。

第5章

操作説明

●運転の種類と動作	5-02
1. 自動運転	5-02
2. タイマー運転	5-03
●電源の入れ方と切り方	5-05
電源の入れ方	5-05
電源の切り方	5-06
●本機の停止とバーナの消火	5-06
●乾燥条件について	5-10
乾燥条件の変更のしかた	5-10
●付属機能	5-12
1. 温度調整機能	5-12
2. 水分微調整機能	5-14
●シーズン前に	5-16
●始動の前に	5-18
●自動運転	5-19
1. 粳・麦を張り込む	5-19
2. 粳・麦を通風循環する	5-21
3. 粳・麦を熱風乾燥する	5-24
4. 粳・麦を排出する前に	5-29
5. 粳・麦を排出する	5-34
●タイマー運転	5-35
1. 粳・麦を張り込む	5-35
2. 粳・麦を通風循環する	5-36
3. 粳・麦を熱風乾燥する	5-36
4. 粳・麦を排出する	5-37

● 運転の種類と動作

運転の種類には、‘自動運転’ ‘タイマー運転’ の2つがあり、各運転における動作は次のようになります。

自動運転とは

- ① 穀物種類、穀物の水分値に応じて定期的に水分測定がおこなわれ、停止水分以下の水分値を2回連続測定すると自動的にバーナが消火しその後、本機が停止します。
- ② 熱風乾燥中の熱風温度を外気温度と設定した穀物量によって制御し、品質の低下を防止します。

タイマー運転とは

- ① 設定した稼働時間が経過すると本機が停止します。また熱風乾燥時にはバーナが消火し、その後本機が停止します。

補 足 タイマー運転時は、水分計が作動しません。

1. 自動運転

- ① **張込** ボタンを押す。
 - (1) 昇降機、上部・下部コンベア、送風機、排塵機が稼働し、粉・麦をホッパーから投入することができます。
 - (2) 投入量が最大張込量に達すると‘満量’ランプが点灯し、ブザー音でお知らせします。
 - (3) **停止** ボタンを押すまで稼働し続けます。

補 足 張込時に送風機を停止することもできますので、お買い上げの販売店あるいは弊社営業所にお問い合わせください。

- ② **通風循環** ボタンを押す。
 - (1) 昇降機、上部・下部コンベア、送風機、繰出しロール、排塵機が稼働し、粉・麦の循環が開始されます。
 - (2) 検出器内部のロールが回転し、水分測定がおこなわれます。
 - (3) **停止** ボタンを押すまで稼働し続けます。

補 足 繰出しロールは、水分測定中には連続回転になりますが、通常時は間欠的に回転します。

- ③ **熱風乾燥** ボタンを押す。
- (1) 昇降機、上部・下部コンベア、送風機、繰出しロール、排塵機が稼働します。また、点火ヒーターが赤熱し、約15秒後にポンプが作動すると同時にバーナモーターが回転しバーナが着火します。
 - (2) 検出器内部のロールが回転し、水分測定がおこなわれます。
水分測定は、穀物の水分値に応じて決められた間隔（P 5 - 24参照）で自動的におこなわれます。
 - (3) 設定した停止水分値以下の水分値を連続2回検出するとバーナが消火し、約10分後に本機が停止します。

補足 繰出しロールは、水分測定中には連続回転になりますが、通常時は間欠的に回転します。

- ④ **排出** ボタンを押す。
- (1) 昇降機、上部・下部コンベア、繰出しロール、送風機、排塵機が稼働します。
排出シャッターレバーを‘排出’側にすると粉・麦が機外に排出されます。
 - (2) **停止** ボタンを押すまで稼働し続けます。
排出スロワを使用している場合には、本機が停止してから約30秒後に排出スロワが自動停止します。

補足 排出時に送風機を停止することもできますので、お買い上げの販売店あるいは弊社営業所にお問い合わせください。但し、排出スロワを使用している場合には、送風機を稼働させることはできません。

2. タイマー運転

- ① **張込** ボタンを押す。
- (1) 昇降機、上部・下部コンベア、送風機、排塵機が稼働し、粉・麦をホッパーから投入することができます。
 - (2) 投入量が最大張込量に達すると‘満量’ランプが点灯し、ブザー音でお知らせします。
 - (3) 設定した稼働時間が経過すると **EEEE** が表示され本機が停止します。

補足 張込時に送風機を停止することもできますので、お買い上げの販売店あるいは弊社営業所にお問い合わせください。

操作説明

② **通風循環** ボタンを押す。

- (1) 昇降機、上部・下部コンベア、送風機、繰出しロール、排塵機が稼働し、粉・麦の循環が開始されます。
- (2) 設定した稼働時間が経過すると **EEEE** が表示され本機が停止します。

補足 繰出しロールは、間欠的に回転します。

③ **熱風乾燥** ボタンを押す。

- (1) 昇降機、上部・下部コンベア、送風機、繰出しロール、排塵機が稼働します。また、点火ヒーターが赤熱し、約15秒後にポンプが作動すると同時にバーナモータが回転しバーナが着火します。
- (2) 設定した稼働時間の残時間が **500** (5分) になるとバーナが消火し、約5分後に **EEEE** が表示され、本機が停止します。

補足 繰出しロールは、間欠的に回転します。

④ **排出** ボタンを押す。

- (1) 昇降機、上部・下部コンベア、送風機、繰出しロール、排塵機が稼働します。
排出シャッター切替ロッドを‘排出’側にすると粉・麦が機外に排出されます。
- (2) 設定した稼働時間が経過すると本機が停止します。
スロワを使用している場合には本機が停止してから約30秒後に排出スロワが自動停止します。

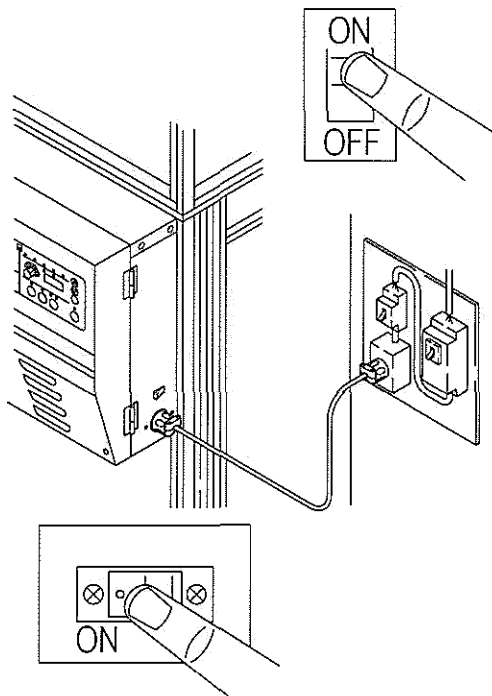
補足 排出時に送風機を停止することもできますので、お買い上げの販売店あるいは弊社営業所にお問い合わせください。但し、排出スロワを使用している場合には送風機を稼働させることはできません。

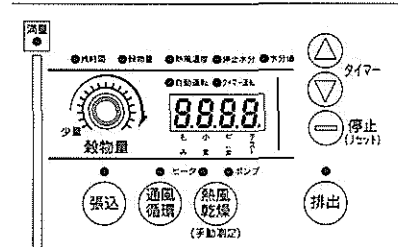
電源の入れ方と切り方

電源の入れ方

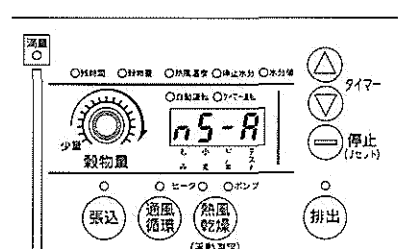
本機を始動するときに、電源を入れます。そして電源を入れてから制御装置の自己診断が終了すると、本機を始動することができます。

- ①電源プラグを制御盤に差し込んでください。
- ②アンペアブレーカを 'ON' または '入' にしてください。
- ③制御盤の [電源] スイッチを押して 'ON' の状態にしてください。
- 電源を入れると操作パネルのランプ点灯表示が下図のように変わり、表示部に  が表示されると本機を始動することができます。
(この状態を待ち状態といいます。)

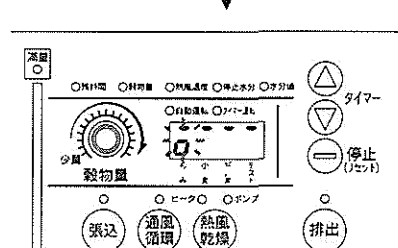




▼ 全ランプ消灯



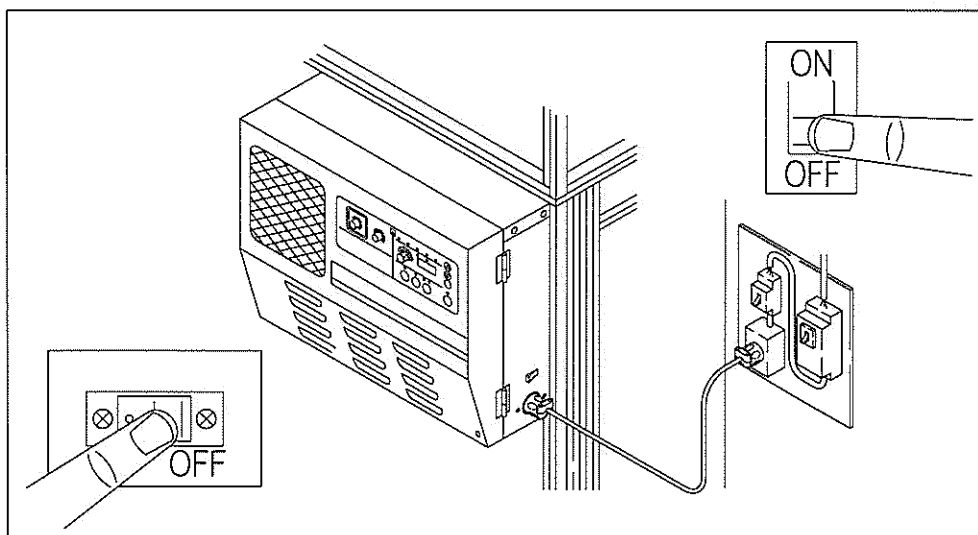
▼



補足  の点滅位置は選択されている穀物種類によって異なります。

電源の切り方

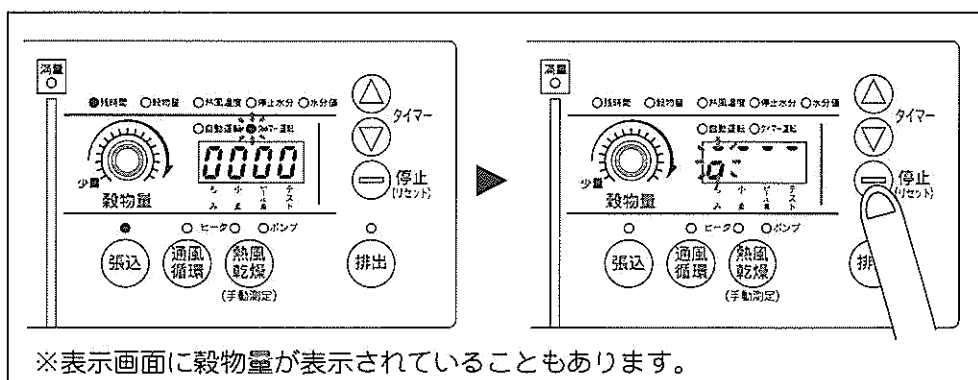
- ①制御盤の **電源** スイッチを押し、'OFF' の状態にしてください。
- ②アンペアブレーカを 'OFF' または '切' にしてください。
- ③電源プラグを制御盤から抜いてください。



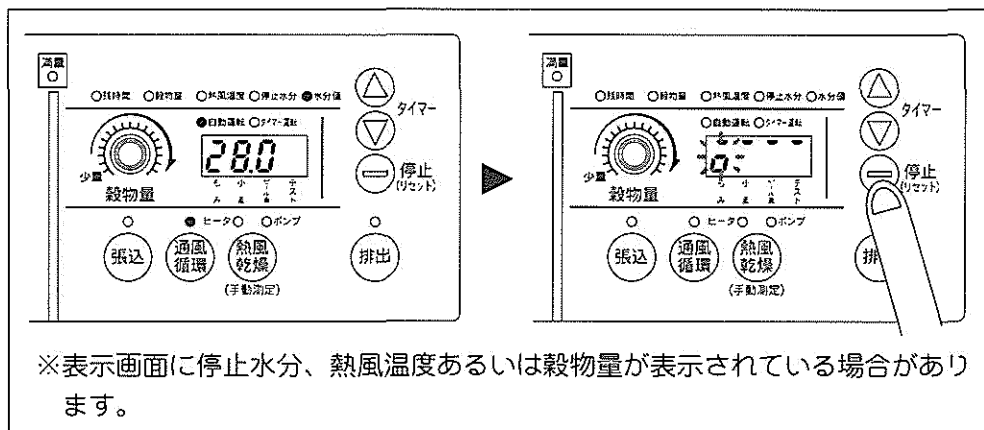
●本機の停止とバーナの消火

「本機を停止する」あるいは「バーナを消火する」には、次の運転操作をおこなってください。

- ①張込中に本機を停止するときには **停止** ボタンを押してください。

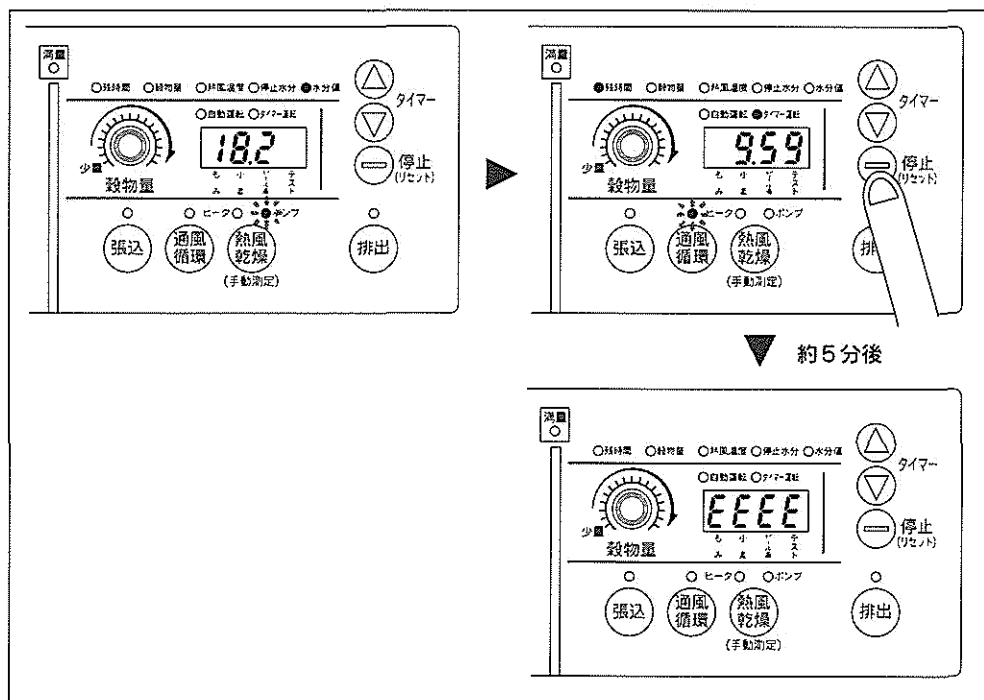


- ②通風循環中に本機を停止するときには、**停止** ボタンを押してください。



- ③熱風乾燥中に本機を停止するときには、**停止** ボタンを押してください。バーナが消火し、約5分後に本機が自動停止します。また、バーナ消火後、すぐに本機を停止する場合には、再び **停止** ボタンを押してください。

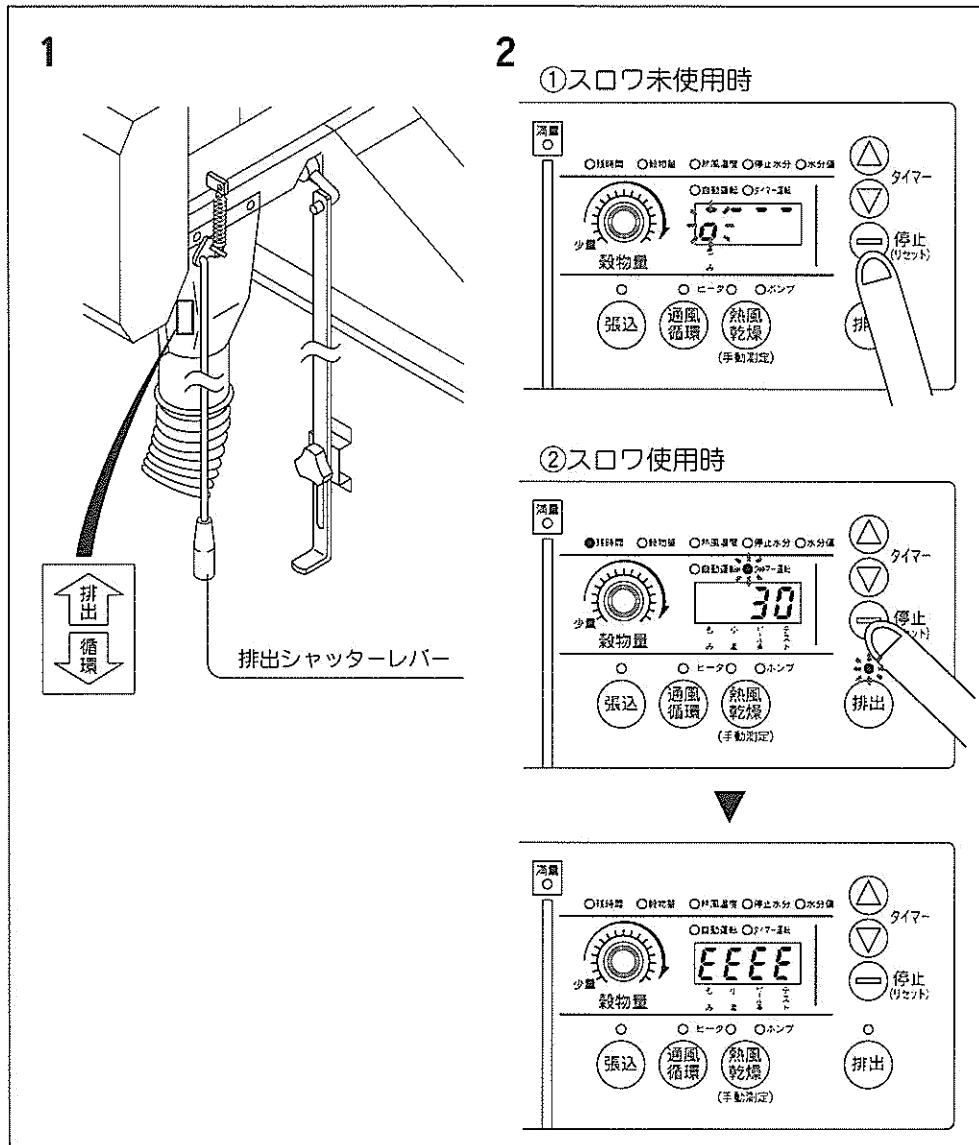
補足 バーナモータはバーナ消火後、約5分間回転し続けますので、本機が停止していても回転していることがあります。



操作説明

- ④排出中に本機を停止するときには、排出シャッターレバーを下に引いて
‘循環’状態にしてから **停止** ボタンを押してください。

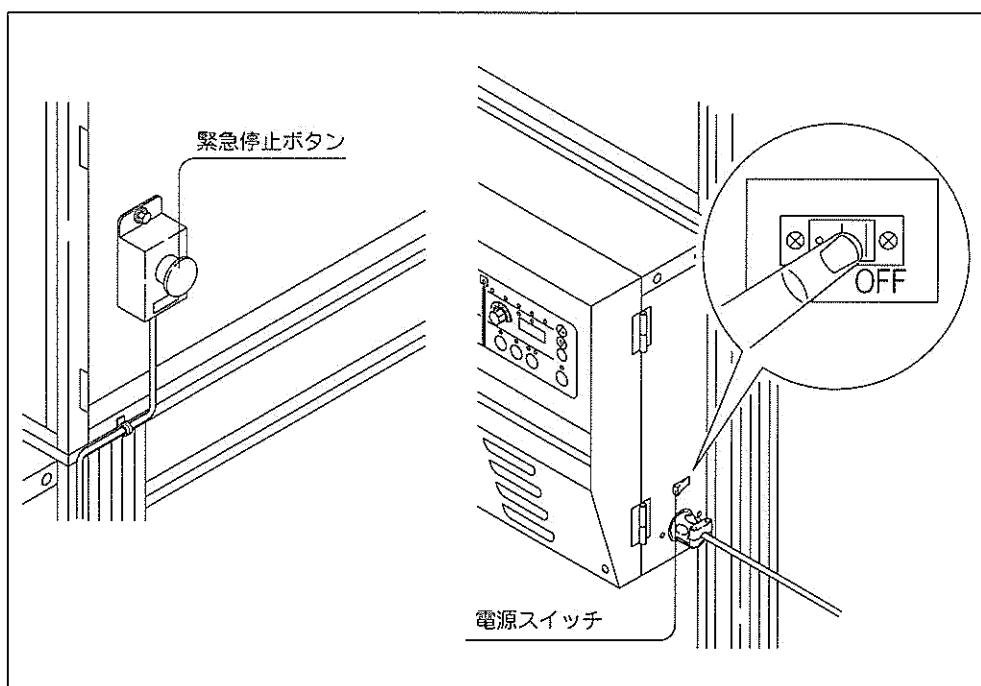
また、排出スロワを使用している場合には、粉詰まり防止のため本機停止
後、約30秒間空運転してから自動停止となります。



- ⑤緊急停止する場合には、緊急停止ボタンを押すかまたは **電源** スイッチを‘OFF’の状態にしてください。

大切

緊急停止以外に緊急停止ボタンまたは **電源** スイッチを使って本機の停止あるいは、バーナの消火をおこなわないでください。粉詰まりやバーナ構成部品の損傷につながる可能性があります。



乾燥条件について

操作パネル上のダイヤルあるいは、ボタン操作によって設定可能範囲内で変更することができます。

乾燥条件	設定可能範囲	変化幅
穀物量	4.0石～16.0石	1石ずつ変化します。
停止水分	11.0%～23.0%	0.1%ずつ変化します。
タイマー	1分～24時間	1分ずつ変化します。

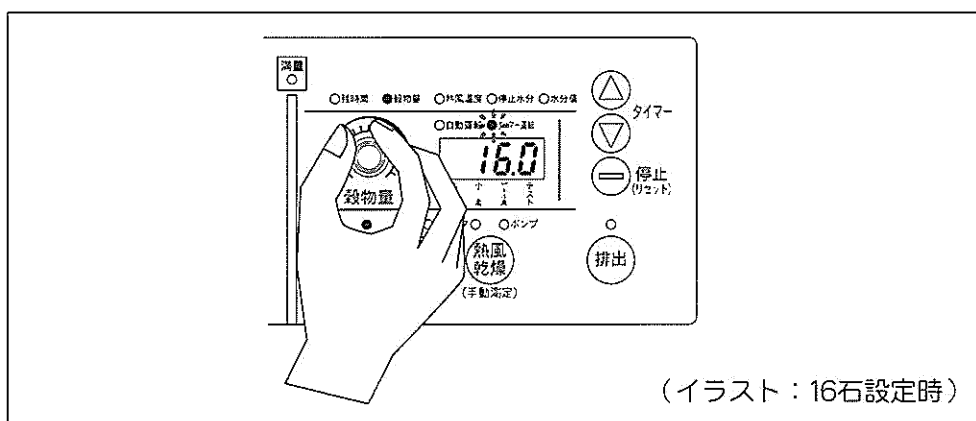
乾燥条件の変更のしかた

1. 穀物量（P5-22参照）

- ① **張込** ・ **通風循環** あるいは **熱風乾燥** ボタンを押してください。
- ② 穀物量ダイヤルを回して、表示部に表示されている値を投入した穀物量にあわせてください。

補足

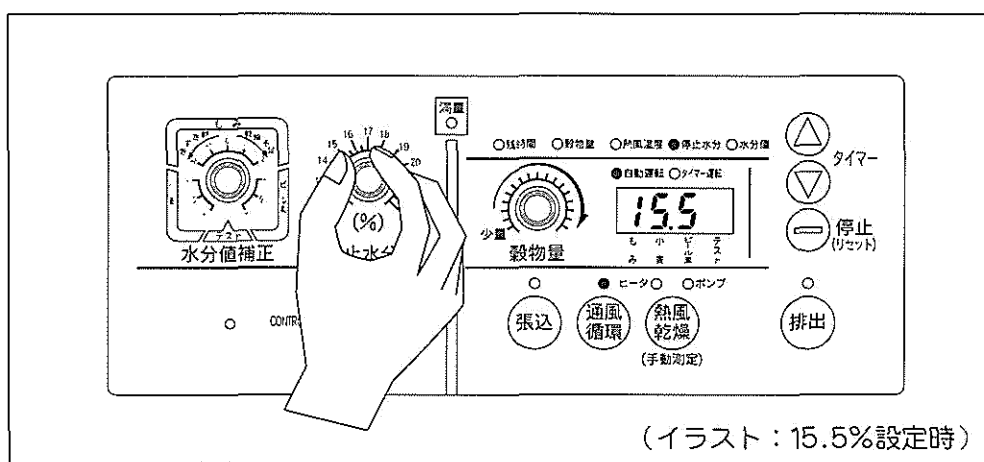
穀物量ダイヤルを回すと、自動的に‘穀物量’ランプが点灯し、表示部に穀物量が表示されます。



2. 停止水分

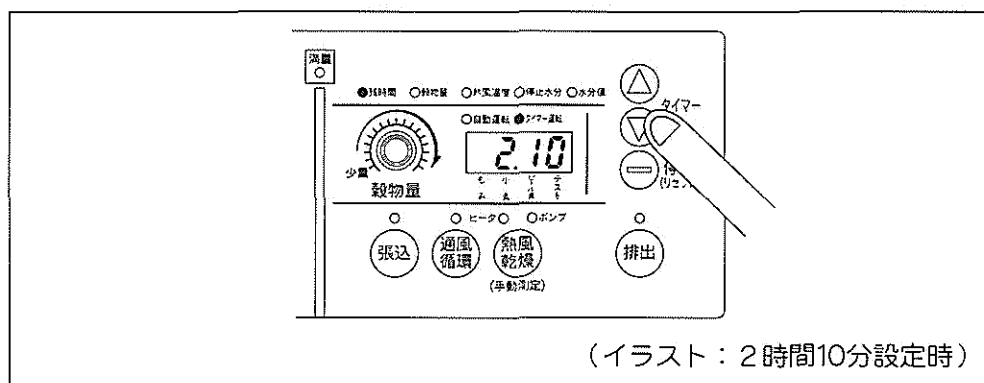
- ① **通風循環** あるいは **熱風乾燥** ボタンを押してください。
- ② **停止水分** ダイアルを回し、表示部に表示される値を希望の停止水分値にあわせてください。

補足 **停止水分** ダイアルを回すと自動的に '停止水分' ランプが点灯し、表示部に停止水分値が表示されます。



3. タイマー

- ① **タイマー** 設定ボタン△・▽を押して、表示部に表示される値を希望の稼働時間にあわせてください。
- ② 希望の運転ボタンを押してください。
- ③ 稼働時間が1カウント(1分)ずつカウントダウンし、**EEEE** の表示で本機が停止します。



● 付属機能

付属機能には‘温度調整’と‘水分微調整’の2つがあります。

大 切

温度調整あるいは水分微調整は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてからおこなってください。

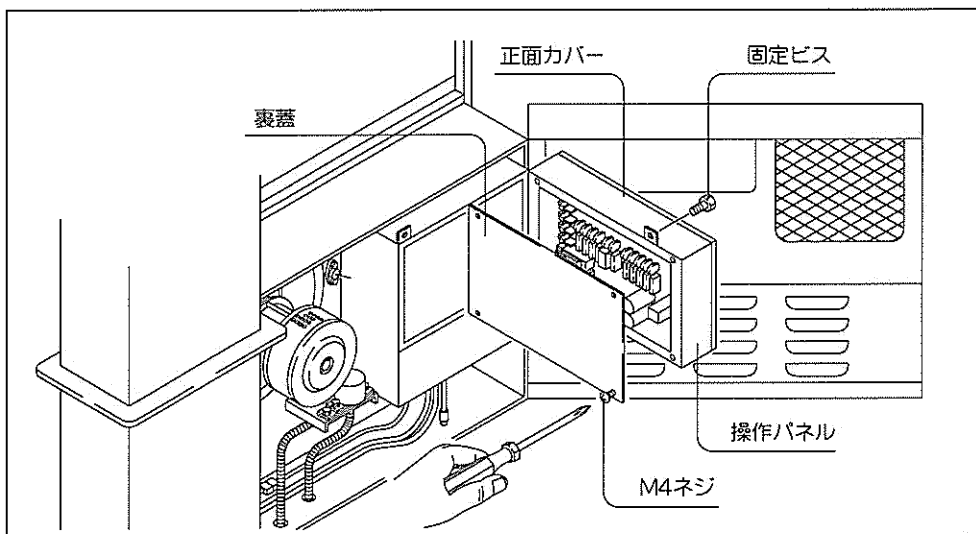
1. 温度調整機能

- 温度調整ボリュームによって、熱風温度を基準熱風温度から‘ $-10^{\circ}\text{C}\sim+10^{\circ}\text{C}$ ’の範囲内で約 1°C ずつ調節することができます。

温度調整ボリュームは、次の手順で調節してください。

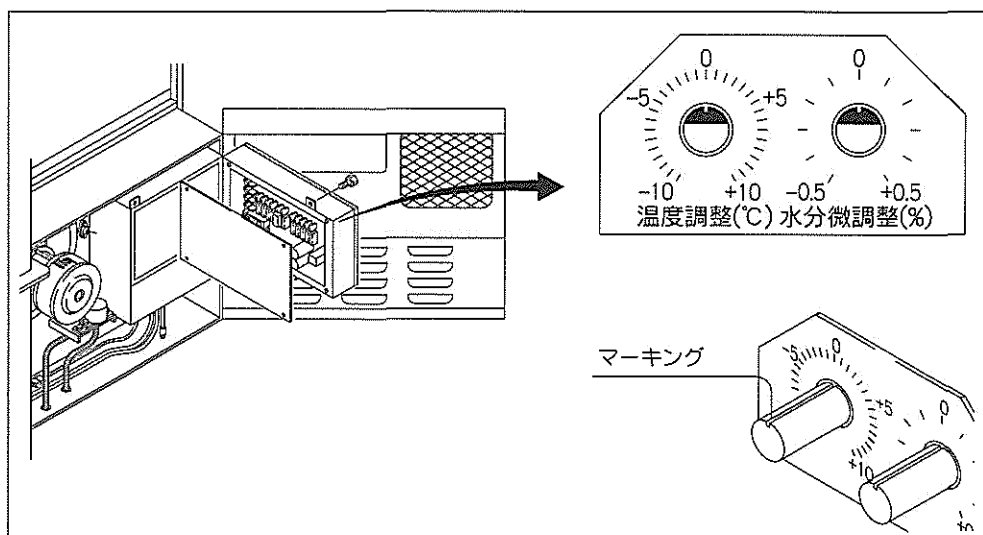
温度調整ボリュームの調節のしかた

- ① 制御盤の正面カバーを手前に引いて開けてください。
- ② 操作パネルの固定ビスを2本取り外し、操作パネル部を開けてください。
- ③ 操作パネルの裏蓋の4隅にあるM4のネジを⊕ドライバーで外し、裏蓋を取り外してください。

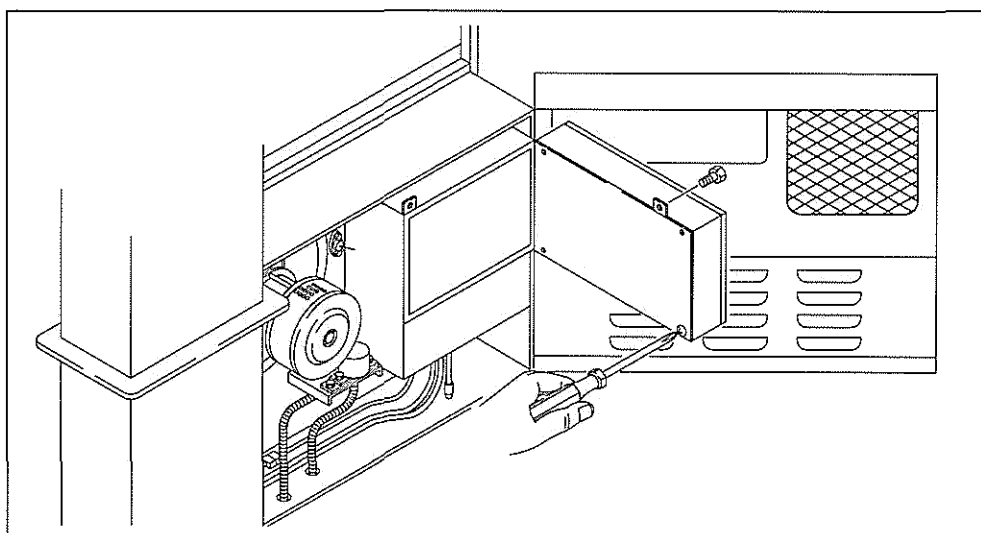


- ④ 操作パネル内部の右上にある‘温度調整ボリューム’を回して、白いマーキング位置を希望の値にあわせてください。

補足 出荷時は‘0’にあわせてあります。



- ⑤ 調整終了後は、裏蓋をM4のネジを⊕ドライバーで締め付けてください。



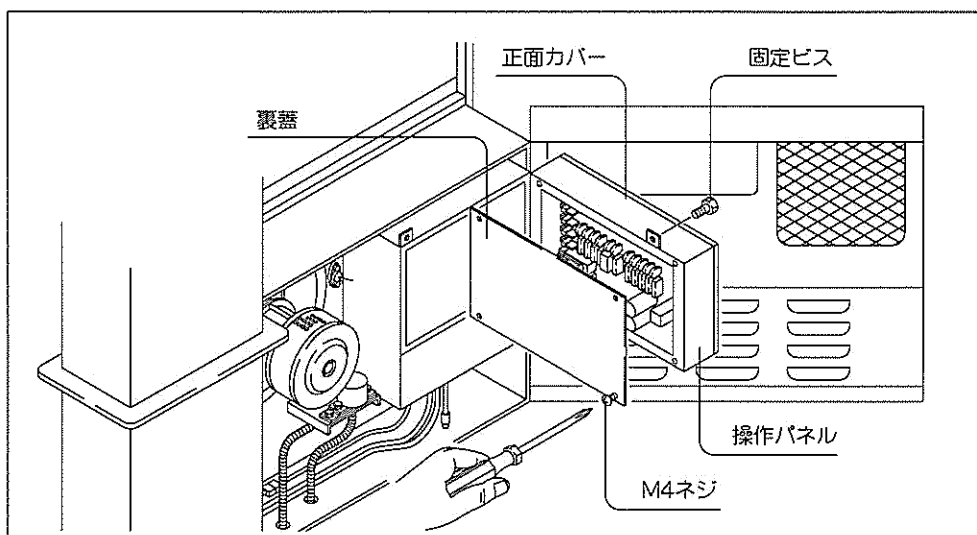
2. 水分微調整機能

- 水分微調整ボリュームによって、水分表示誤差を「 -0.5% ～ $+0.5\%$ 」の範囲内で修正することができます。
水分微調整ボリュームは、次の手順で調節してください。

補足 乾燥機での水分測定値と実水分値の差を穀物補正ダイヤルで修正しきれない時に水分微調整ボリュームで修正することができます。

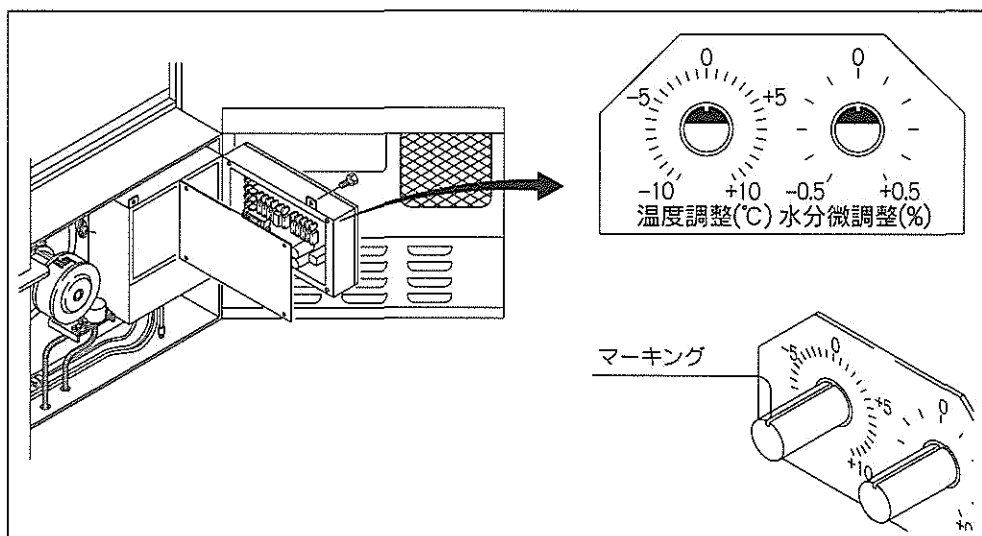
水分微調整ボリュームの調節のしかた

- ①制御盤の正面カバーを手前に開けてください。
- ②操作パネルの固定ビスを2本取り外し、操作パネル部を開けてください。
- ③操作パネルの裏蓋の4隅にあるM4のネジを⊕ドライバーで外し、裏蓋を取り外してください。

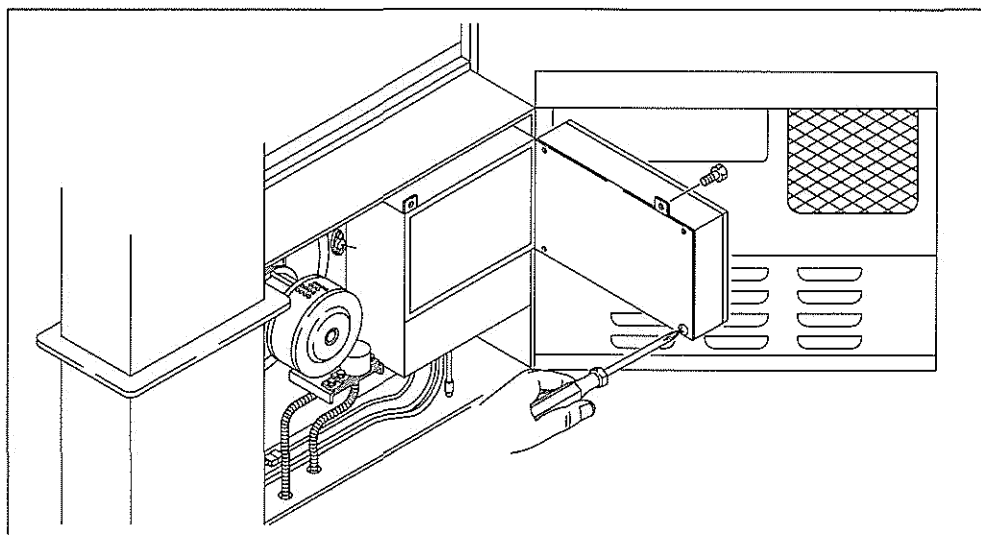


- ④ 操作パネル内部の右上にある‘水分微調整ボリューム’を回し、白いマーキング位置を希望の値にあわせてください。

補足 出荷時は‘0’にあわせてあります。



- ⑤ 調整終了後は、裏蓋をM4のネジを⊕ドライバーで締め付けてください。

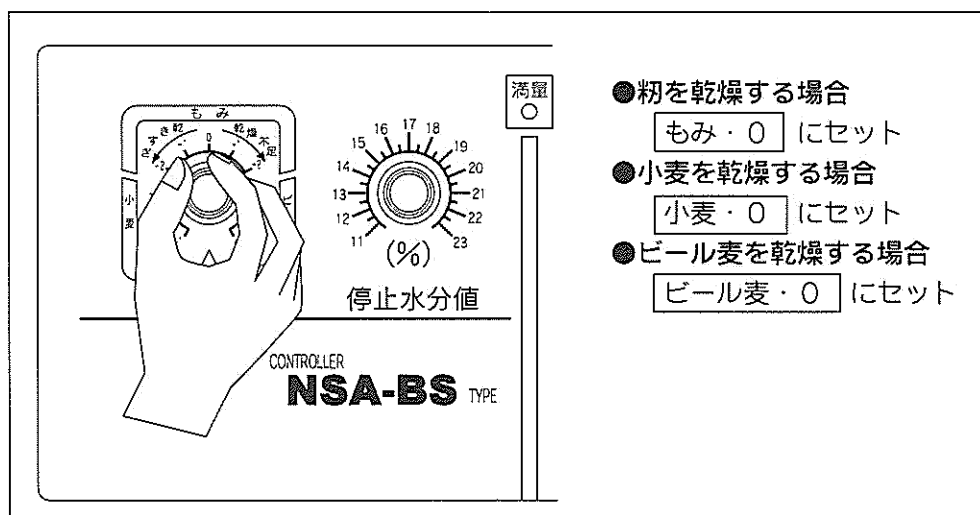


操作説明

●シーズン前に

乾燥機を使用する時期が近づきましたら、次のことをご確認ください。

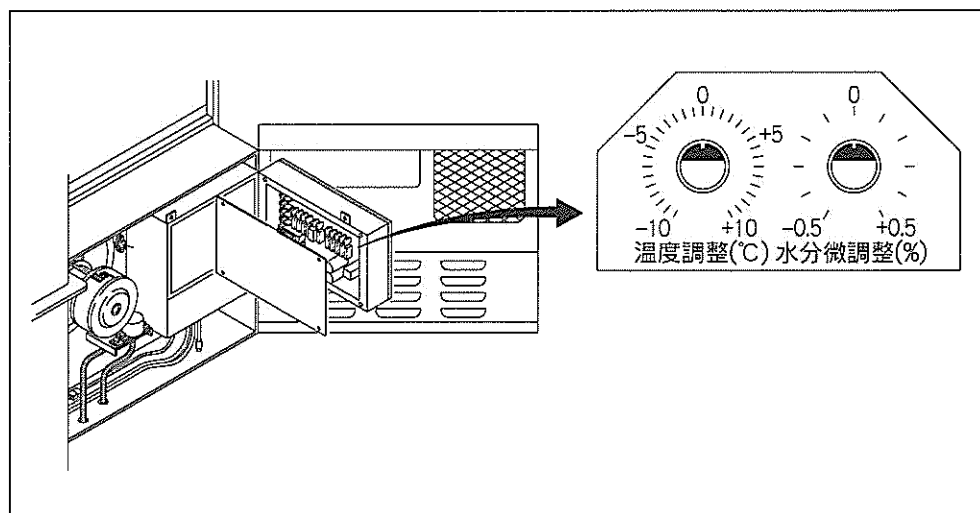
1. P6-02の点検・整備一覧表にもとづき、点検・整備をおこなってください。
2. 燃料タンクに灯油を注油してください。
3. 燃料ホースのエアー抜きをおこない、ポンプに接続してください。
4. **穀物補正** ダイヤルを下図の位置にあわせてください。



5. '温度調整ボリューム' を調節し、'0' にあわせてください。
また '水分微調整ボリューム' を '0' にあわせてください。



ボリュームの調節のしかたは、P5-12～15を参照しておこなってください。

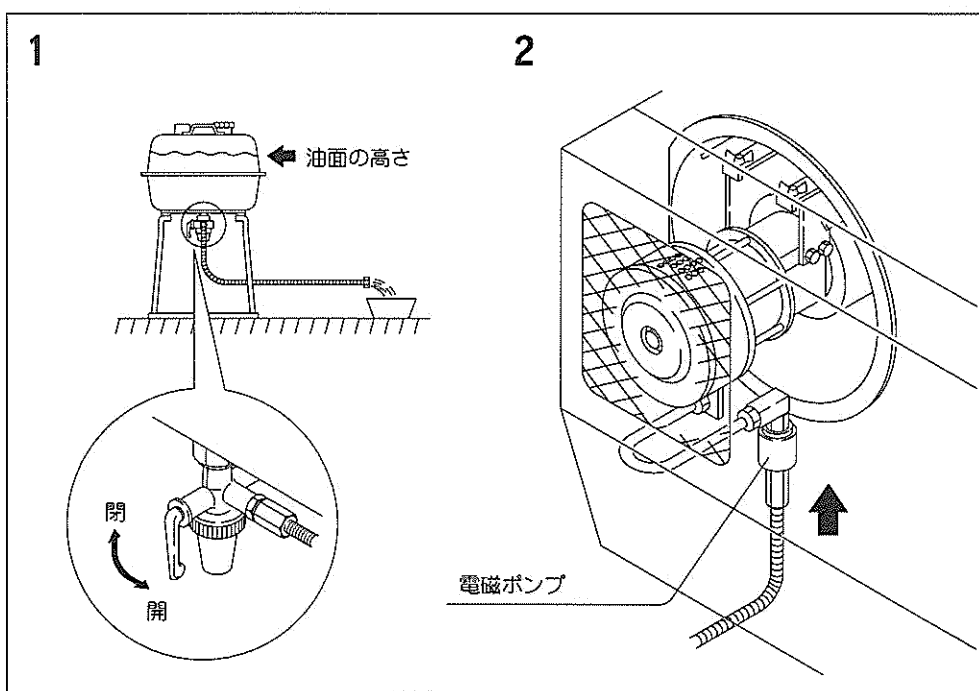


エアー抜きの方



燃料ホースのエアー抜きをおこなうときには、あらかじめ受皿、ウエス等を準備してください。また、エアー抜き時にこぼれた灯油は必ず拭き取ってください。

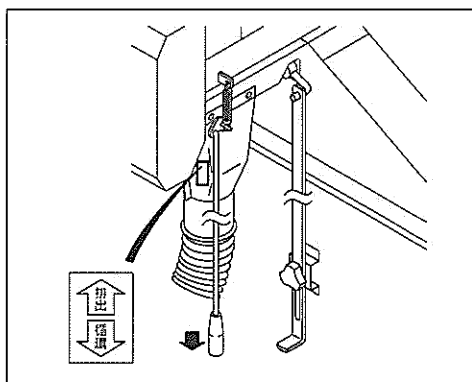
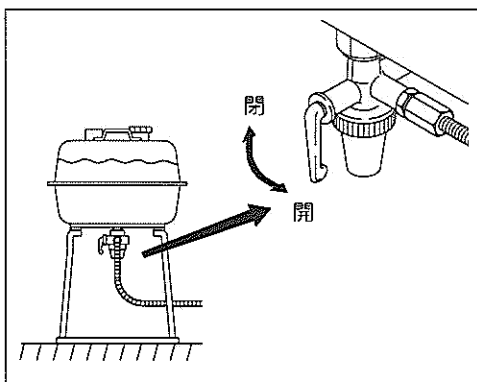
- ① 燃料ホースを燃料タンクの油面より低い位置にし、タンクコックを完全に開いてください。
- ② 燃料ホースから灯油が吐出するのを確かめてから電磁ポンプに接続してください。



● 始動の前に

乾燥毎に、始動に先立ち次のことを確かめてください。

1. 燃料タンクには燃料が十分に入っているか確かめてください。
2. 燃料タンク下のタンクコックが完全に開いているか確かめてください。
3. 排出シャッターレバーが '循環' 側になっているか確かめてください。



4. 昇降機の回転方向を確認してください。

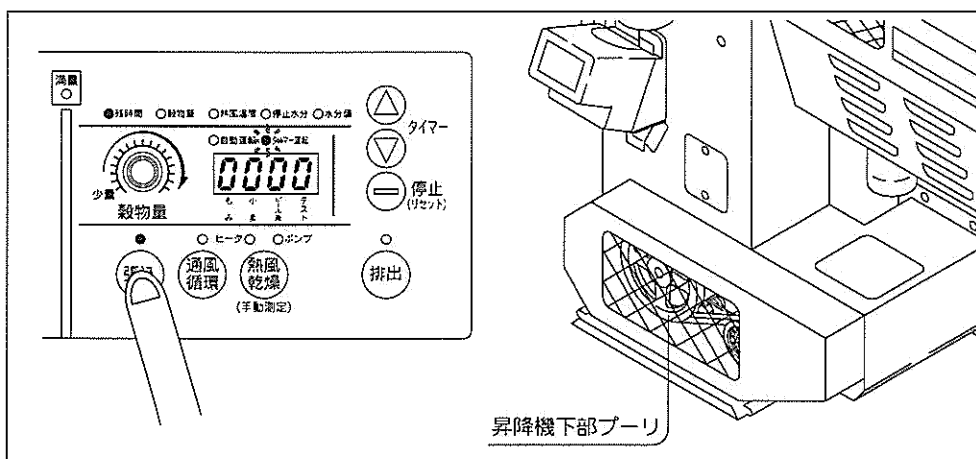


電源コードを新規にした場合や元電源に数個のコンセントがある場合には
 粉・麦を投入する前に昇降機の回転方向を必ず確認してください。

回転方向の確認のしかた

- ① **張込** ボタンを押し、昇降機下部プーリの回転方向を確認してください。

昇降機下部プーリが時計方向に回転していれば正常です。



●自動運転

1. 粉・麦を張り込む

1. 上部コンベア残米処理レバーを‘通常乾燥’側にしてください。
 2. **張込** ボタンを押してください。
 3. 張込ホッパーを開いて、粉・麦を投入してください。
- 粉・麦の張込量の目安は、下表の通りです。

補足

下表のコンバインの袋数は、粉・麦共に1袋が約32kgとして計算してあります。袋に詰められた量や選別の状態によって10%前後の差が出る場合があります。

1

残米処理
通常乾燥

上部コンベア
残米処理レバー

2

●材料量 ○粒物量 ○乾燥温度 ○停止水分 ○水分値

自動運転 24h 連続

少 多 量

● 張込 ● ピーク ● ポンプ

通風循環 熱風乾燥 (手動測定)

△ タイマー
▽ 停止 (リセット)
= 排出

補足 張込中はタイマー運転ランプが点滅しています。

3

レバー

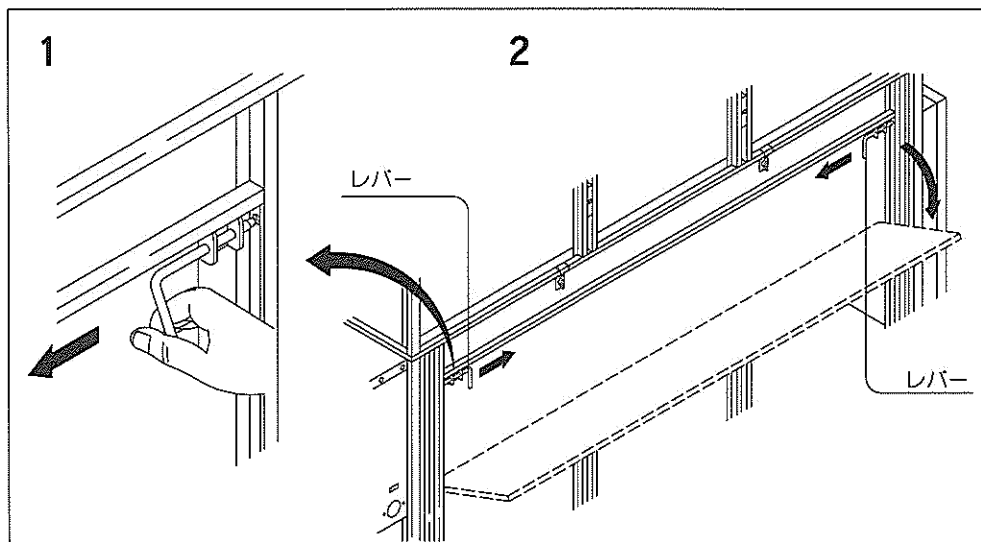
レバー

張込量の目安

型式名	コンバインの袋数	
	粉	麦
NSA 85	13~25	15~30
NSA105	13~31	15~37
NSA135	13~40	15~48
NSA165	13~50	15~60

張込ホッパーの開きかた

- 左右にあるレバー（2ヶ）を内側に引き、ロックを外し、ホッパーを開いてください。

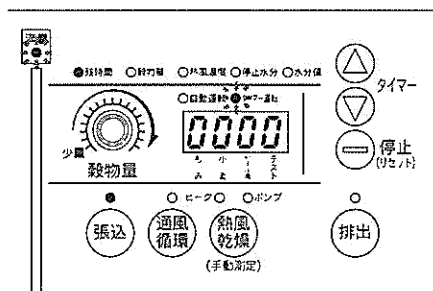


- 最大張込量に達すると‘満量’ランプが点灯すると同時にブザーが鳴りますので、粉・麦の張り込みを中止してください。

大切

‘満量’ランプが点灯したときには、粉・麦の投入を中止してください。
粉・麦の投入を続けると、詰まりの原因になります。

満量時の操作パネル表示



4. 張込終了後、**停止** ボタンを押して本機を停止してください。

2. 粃・麦を通風循環する

1. **通風循環** ボタンを押してください。

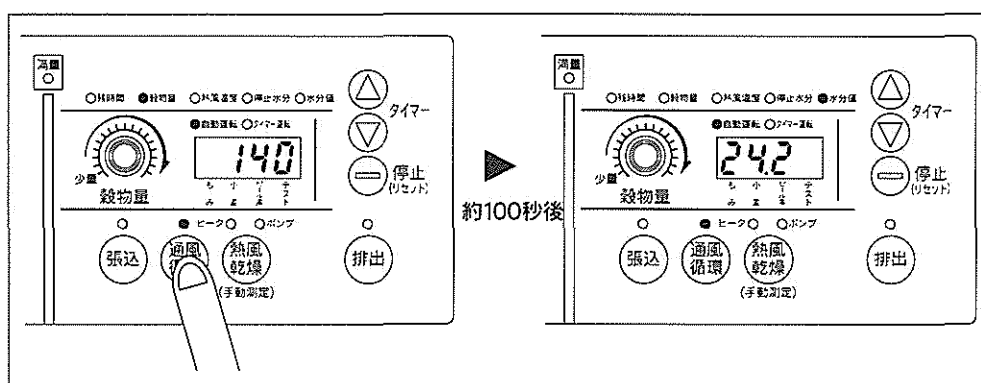
●自動的に‘水分値’ランプが点灯し、約100秒後に現在の水分値が表示されます。

補足

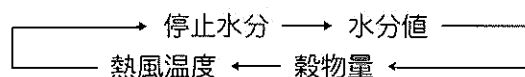
- 1) 水分測定は、自動的に一度だけおこなわれます。従って水分表示は時間が経過しても変わりません。

現在の水分値を確認したい場合には、一度 **張込** ボタンを押し、再び **通風循環** ボタンを押してください。(P 5-23参照)

- 2) 運転中、繰出しロールは間欠運転となりますが、水分測定中は連続運転となります。



●水分値表示後、操作パネル表示ランプの点灯位置が自動的に変わり、そのつどデータを表示します。



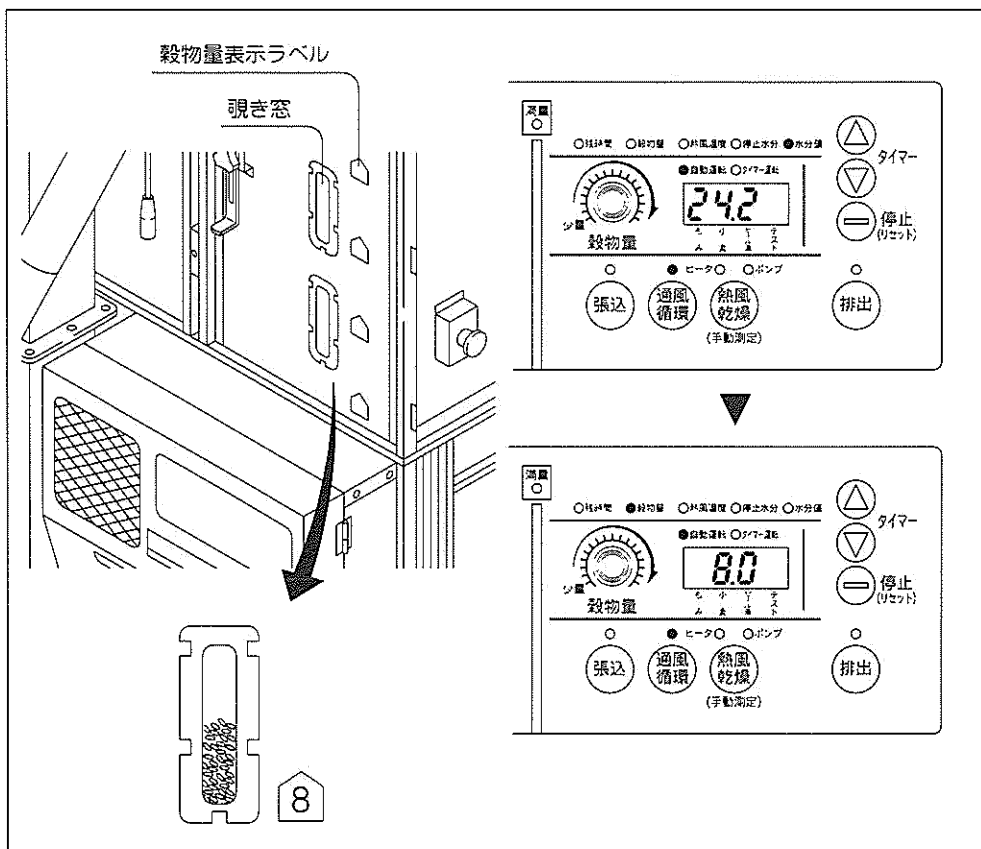
2. **穀物量** ダイヤルを回し、張り込んだ穀物量にあわせてください。

● **穀物量** ダイヤルを回すと、自動的に‘穀物量’ランプが点灯し、表示部に穀物量が表示されます。

操作説明

穀物量のあわせかた

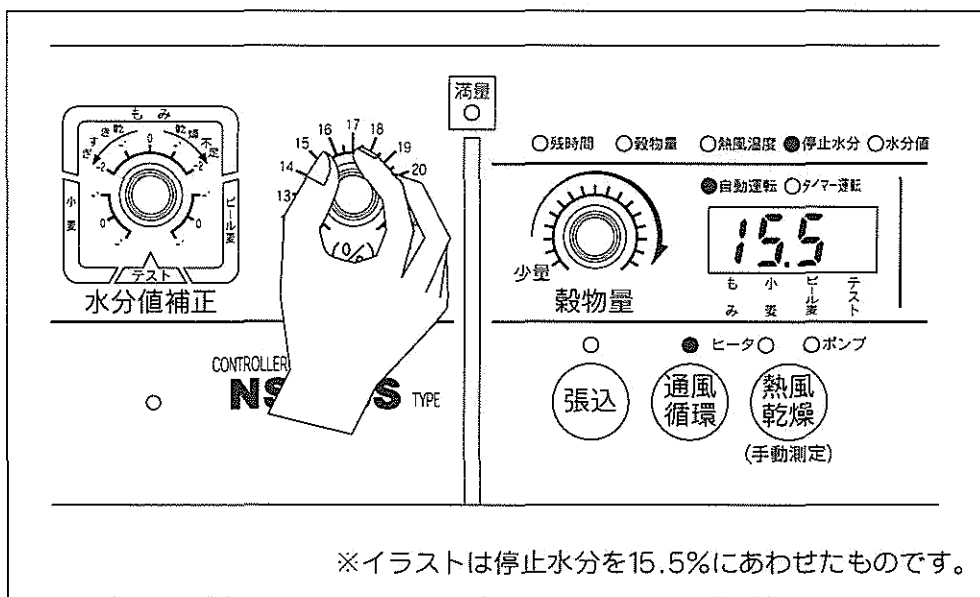
- ① 貯留槽前面にある覗き窓から見える穀物の上限の穀物量表示ラベルの値を確認してください。
- ② **穀物量** ダイヤルを回し、表示部に表示される値を確認した穀物量表示ラベルの値にあわせてください。



3. **停止水分** ダイヤルを回し、希望の停止水分値にあわせてください。
 - **停止水分** ダイヤルを回すと自動的に '停止水分' ランプが点灯し、表示部に停止水分値が表示されます。

大切

毎年、初回の乾燥時には必ず停止水分を希望の値よりも1.0%高い値に合わせて運転をおこなってください。
 籾の性状によっては、過乾燥ぎみになる場合があるからです。

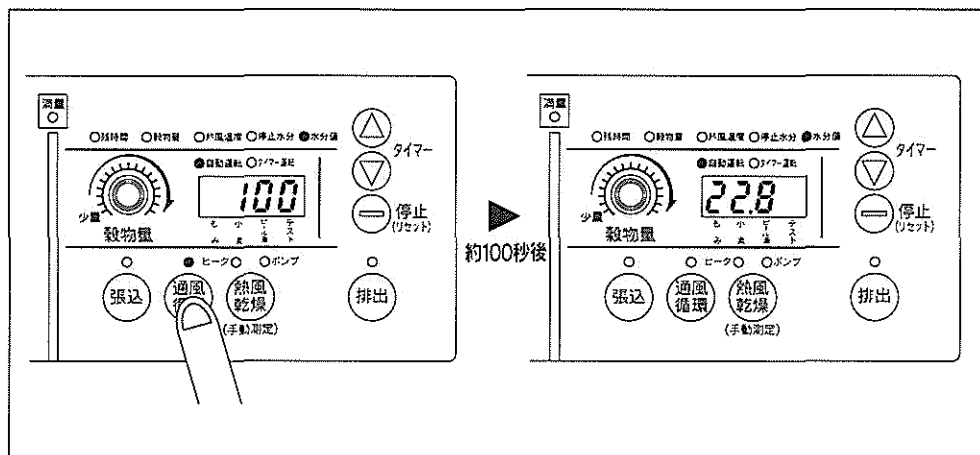


4. 現在の水分値は、次の操作手順で知ることができます。

水分値の確認のしかた

- ①一度 **張込** ボタンを押し、再び **通風循環** ボタンを押してください。
- 自動的に '水分値' ランプが点灯し、約100秒後に現在の水分値が表示されます。

補足 通風循環中、手動による水分測定は、何度でも有効です。



1. **熱風乾燥** ボタンを押してください。

- 補足**

-
- 約100秒後

ヒート● ●ヒート
熱風
(手動測定)

▶ 約15秒後

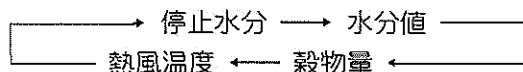
ヒート● ●ヒート
熱風乾燥
(手動測定)

▶ バーナ着火後

ヒート○ ●ヒート
熱風乾燥
(手動測定)

停止水分+X%	測定間隔
+13.0%以上	20分毎
+7.0~12.9%	20分毎
+1.1~6.9%	20分毎
+1.0%以下	10分毎

- 水分値表示後、操作パネル表示ランプの点灯位置が自動的に変わり、そのつとデータを表示します。



2. 張込終了後、通風循環をおこなわずに、直接、熱風乾燥に入る場合には、必ず次の操作をおこなってください。

- ① **穀物量** ダイヤルを回して、張り込んだ穀物量にあわせてください。
- ② **停止水分** ダイヤルを回して、希望の停止水分値にあわせてください。

補 足 操作方法については、P 5 - 20～23を参照してください。

大 切

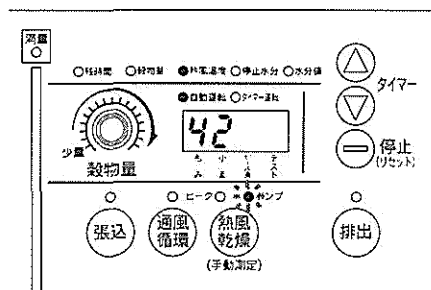
乾燥が進むにつれて、穀物量が目減りしていきませんが、穀物量をそのつと修正する必要はありません。

穀物量を修正すると、乾燥時間が長くなるなどの問題につながります。

3. 乾燥中の熱風温度は、次の操作手順で知ることができます。

熱風温度の確認のしかた

- 熱風乾燥中、自動的に操作パネル表示ランプの点灯位置が変わりますので‘熱風温度’時に表示される値が現在の熱風温度になります。



※イラストは、熱風温度が42℃の場合のものです。

操作説明

●熱風乾燥中の目安となる熱風温度（以下、基準熱風温度とする）は、穀物の種類によって異なります。

穀物の種類別の基準熱風温度は、次の通りです。

（１）初乾燥時の基準熱風温度（下表参照）

基準熱風温度は、‘温度調整ボリューム…0’の時のものです。

補足 乾燥中の熱風温度は‘穀物量’・‘外気温度’および‘温度調整ボリューム’によって変化します。

基準熱風温度

外気温(℃) 穀物量(石)	10	15	20	25	30
4	30	32	34	37	41
6	33	35	38	41	44
8	37	39	41	44	47
10	41	43	45	47	50
12	44	46	48	51	53
14	48	50	52	54	56
16	52	53	55	57	60

（２）小麦・ビール麦乾燥時の基準熱風温度（下表参照）

基準熱風温度は‘温度調整ボリューム…0’の時のものです。

補足 乾燥中の熱風温度は、‘穀物量’、‘温度調整ボリューム’によって変化します。

基準熱風温度（単位：℃）

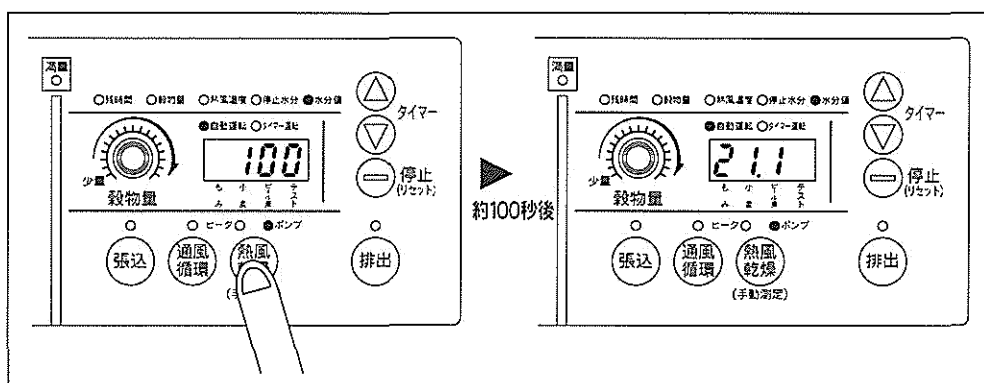
穀物種類 \ 穀物量(石)	4	6	8	10	12	14	16
小麦	44	48	51	55	58	62	65
ビール麦	39	43	46	50	53	53	60

4. 現在の水分値は、次の操作手順で知ることができます。

水分値の確認のしかた

- ①再び **熱風乾燥** ボタンを押してください。
- 自動的に '水分値' ランプが点灯し、約100秒後に現在の水分値が表示されます。

補足 熱風乾燥中、手動による水分測定は何度でも有効です。

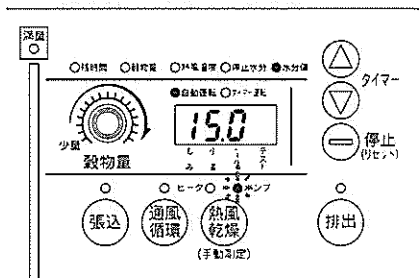


5. 熱風乾燥中に次の条件を満たすと熱風乾燥が終了となります。
- 熱風乾燥終了の条件は、設定した停止水分値以下の水分値を自動的に連続2回検出すると乾燥が終了となります。
- 熱風乾燥が終了すると、バーナが消火し、5分後に本機が停止します。

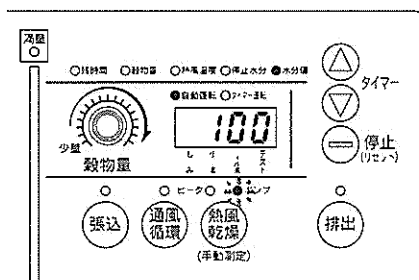
補足 **手動測定** ボタンによる水分測定値は、熱風乾燥終了の条件から除外されます。また、設定した停止水分値以下の水分値が表示されているにもかかわらず、バーナが燃焼している場合には、約10分間お待ちください。10分の間に自動的に水分測定がおこなわれ、停止水分値以下の水分値が検出されると熱風乾燥が終了となります。

操作説明

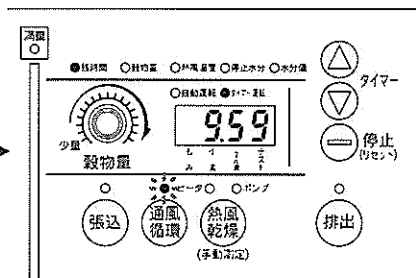
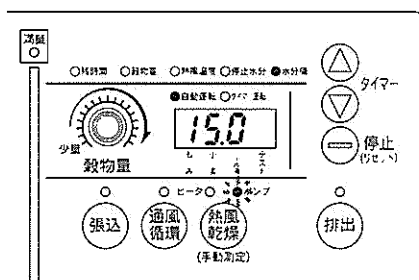
自動乾燥終了時の操作パネル表示
(例：停止水分値が15.0%の場合)



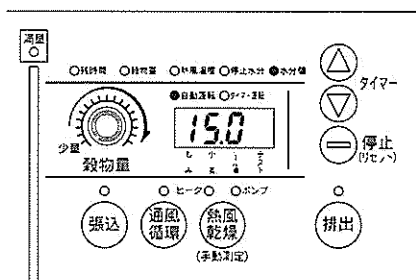
▼ 約10分後



▼ 100秒後



▼ 約5分後



4. 粉・麦を排出する前に



本機内の粉・麦をサンプル容器で取り出し、必ず手動水分計の水分測定値と制御盤に表示される水分値を比較し、必要に応じて水分値補正をおこなってください。

補足

水分値補正とは、乾燥機で測定された水分値を実際の水分値（手動水分計による水分測定値）にあわせることをいいます。

1. サンプル容器を取り出し、「採取時」の状態に入れ直し **通風循環** ボタンを押してください。

約30秒の間隔でサンプル容器を数回取り出し、容器内の粉・麦を受皿にあけてください。

補足

- 1) 採取した粉・麦の量が少ない場合には、再び **通風循環** ボタンを押して、再び粉・麦を採取してください。

- 2) 粉・麦の採取が終了しましたら、サンプル容器を「乾燥中」の状態に戻してください。

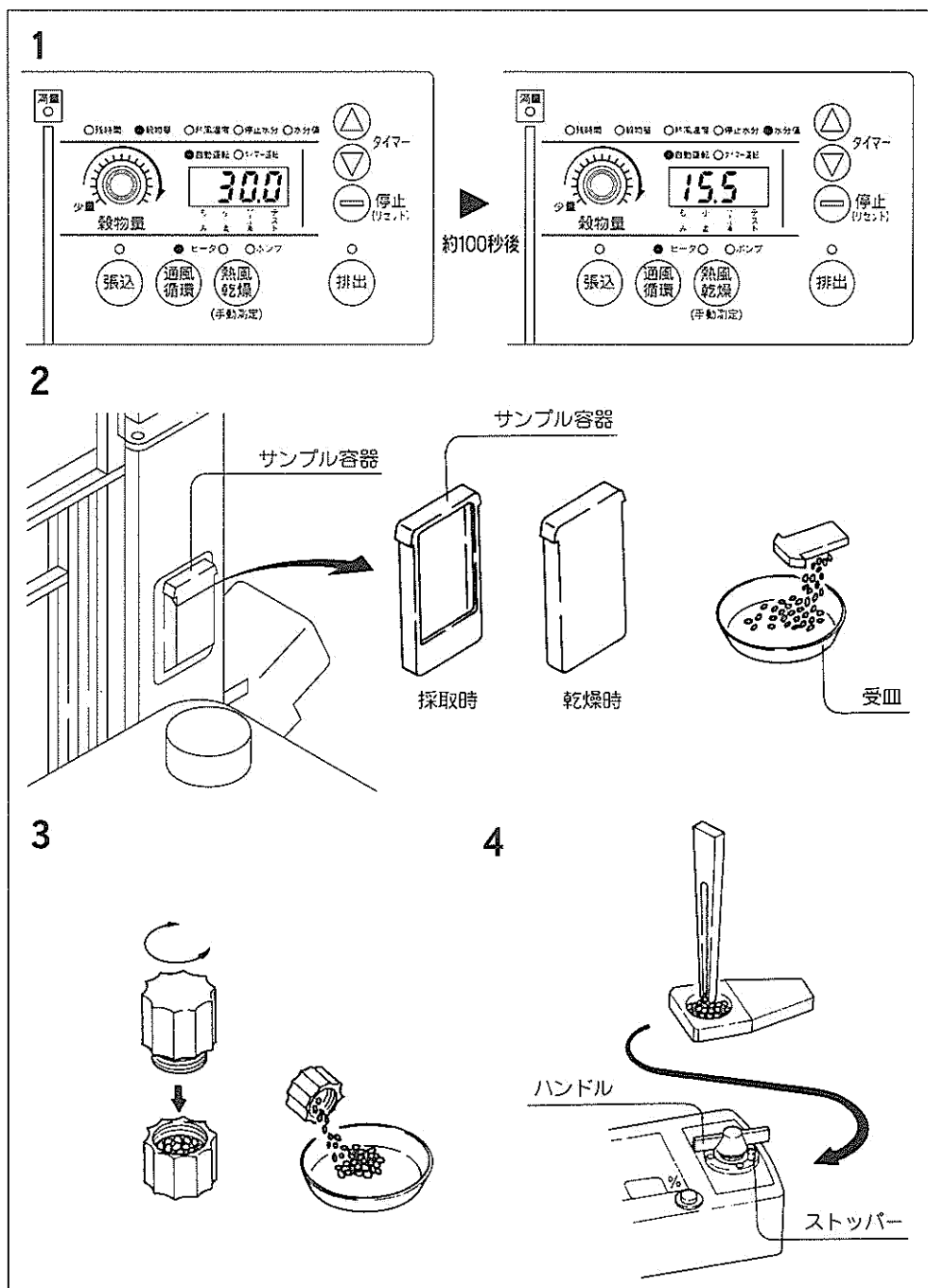
2. 受皿に採取した粉・麦の水分をあなたが持っている手動水分計で測定してください。

大切

手動水分計で水分を測定する場合には、必ず次のことを守ってください。

- ①採取した粉・麦には手を触れないでください。
- ②採取した粉・麦の穀温が常温となってから測定してください。
- ③ハンドルはストッパーまで締め込んでください。
- ④水分を3回以上測定し、その平均値を求めてください。

操作説明



3. 制御盤に表示された水分値と手動水分計の測定値に誤差がある場合には、次の手順で水分値補正をおこなってください。

水分値補正のしかた

1. 水分値補正は、穀物水分値補正ダイヤルのセット位置を変えることによっておこなえます。

穀物水分値補正ダイヤルは、次のように操作してください。

- ①希望の停止水分値まで乾燥されていない場合は「乾燥不足」の方向（右）に回してください。
- ②希望の停止水分値よりも乾燥されている場合は「乾きすぎ」の方向（左）に回してください。

補足

穀物補正ダイヤルを1目盛移動すると1%の水分値補正ができます。その時に表示水分値が自動的に補正された水分値に変わります。また、必要に応じて水分微調整ボリュームを使って水分値を補正してください。（P 5-14・15参照）

粉乾燥時

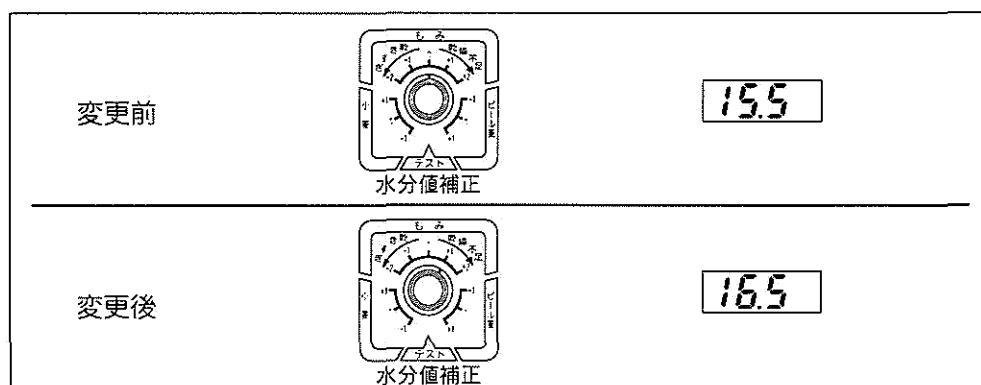
補足

標準セット位置は「粉レンジ・0」です。

- 例えば、表示水分値が15.5%で、手動水分計による測定値の平均が16.5%の場合の水分値補正のしかたは、

⇒「乾燥不足」の方向に回し「+1」にあわせてください。

表示水分値が自動的に **15.5** から **16.5** に変わります。

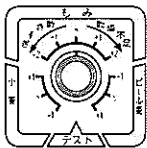
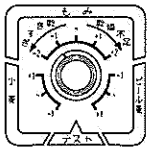


- 例えば、表示水分値が15.5%で、手動水分計による測定値の平均が14.5%の場合の水分値補正のしかたは、

⇒「小さい値」の方向に回し「-1」にあわせてください。

表示水分値が自動的に **15.5** から **14.5** に変わります。

操作説明

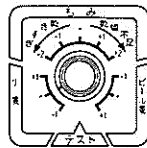
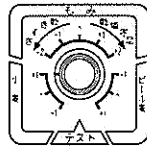
変更前		15.5
変更後		14.5

小麦乾燥時

補足 標準セット位置は「小麦レンジ・0」です。

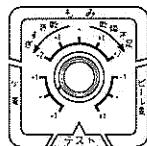
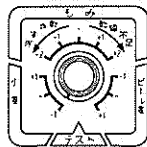
●例えば、表示水分値が12.5%で手動水分計による測定値の平均が13.5%の場合の水分値補正のしかたは

⇒「大きい値」の方向に1目盛回し、「+1」にあわせてください。
表示水分値が自動的に **12.5** から **13.5** に変わります。

変更前		12.5
変更後		13.5

●例えば、表示水分値が12.5%で手動水分計による測定値の平均が11.5%の場合の水分値補正のしかたは、

⇒「小さい値」の方向に1目盛回し、「-1」にあわせてください。
表示水分値が自動的に **12.5** から **11.5** に変わります。

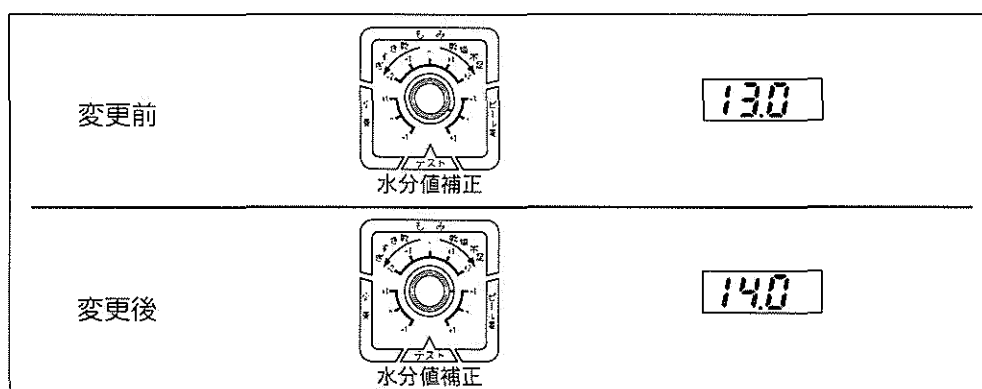
変更前		12.5
変更後		11.5

ビール麦乾燥時

補足 標準セット位置は「ビール麦レンジ・0」です。

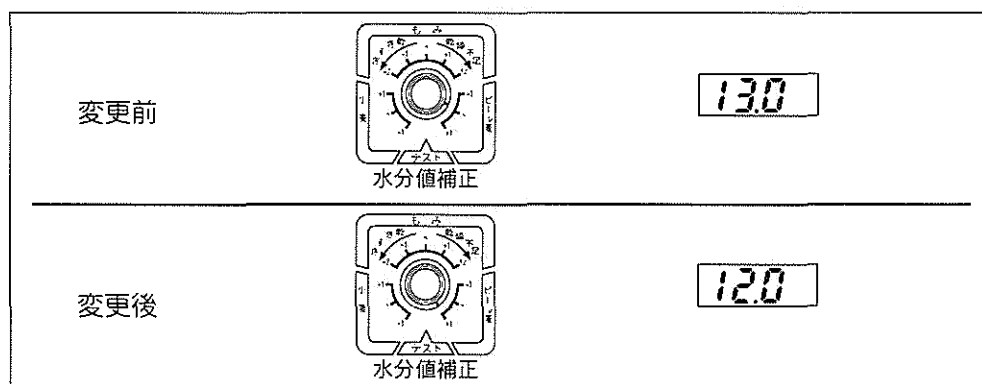
●例えば、表示水分値が13.0%で手動水分計による測定値の平均が14.0%の場合の水分値補正のしかたは

⇒「大きい値」の方向に1目盛回し、「+1」にあわせてください。
表示水分値が自動的に **13.0** から **14.0** に変わります。



●例えば、表示水分値が13.0%で手動水分計による測定値の平均が12.0%の場合の水分値補正のしかた、

⇒「小さい値」の方向に1目盛回し、「-1」にあわせてください。
表示水分値が自動的に **13.0** から **12.0** に変わります。



2. 水分値補正終了後は、次のような対応をとってください。

①あわせた水分値が元の水分値よりも大きくなった場合

●穀物が設定した停止水分値まで乾燥されていません。再び **熱風乾燥** ボタンを押し、再乾燥をしてください。水分値が設定停止水分値以下になると、乾燥が終了となります。

②あわせた水分値が、元の水分値よりも小さくなった場合

●穀物が設定停止水分値よりも乾燥されています。お買い上げの販売店あるいは弊社営業所にご相談ください。

操作説明

5. 粳・麦を排出する

1. **排出** ボタンを押してください。

●外部搬送機（排出スロフ等）を使用しているときには、本機と同時に稼働します。

補足

排出 ボタンを押しても送風機は停止しません。排出時に送風機を停止したい場合には、お買い上げの販売店あるいは弊社営業所にお問い合わせください。但し、排出スロフを使用している場合には、送風機を稼働することができません。

2. 排出シャッターレバーを持ち上げ '排出' にしてください。

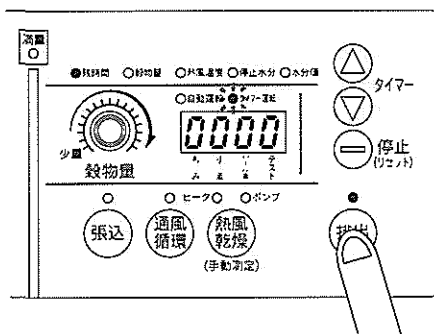
●穀物が機外に排出されます。

大切

外部搬送機を使用している場合には、必ず本機を稼働させてから排出シャッターレバーを '排出' にしてください。

操作手順を誤ると外部搬送機が詰まり、モータ過負荷になってしまいます。

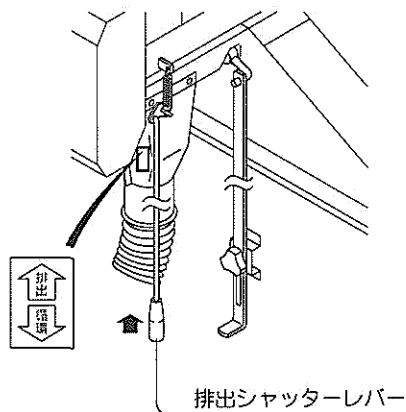
1



補足

排出中はタイマー運転ランプが点滅しています。

2



●タイマー運転

補足 タイマー運転中は、水分計は作動しませんので、特に熱風乾燥をおこなう場合には、過乾燥にならないように頻繁に手持ちの水分計で穀物の水分を測定してください。

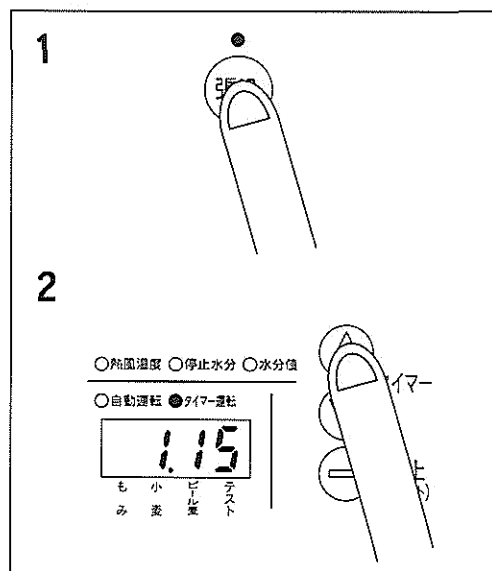
タイマー運転の解除のしかた

- ① 本機が停止すると自動解除となります。
- ② **停止** ボタンを押して、本機が自動停止すると解除となります。

1. 粳・麦を張り込む

●例えば、張込時間を1時間15分に設定するには、

1. **張込** ボタンを押してください。
●タイマー運転ランプが点滅します。
2. **タイマー設定** ボタンを押して時間（1時間15分）をあわせてください。
●タイマー運転ランプが点灯します。
3. 張込ホッパーを開いて、粳・麦を投入してください。
○残時間表示が1分ずつカウントダウンしていきます。

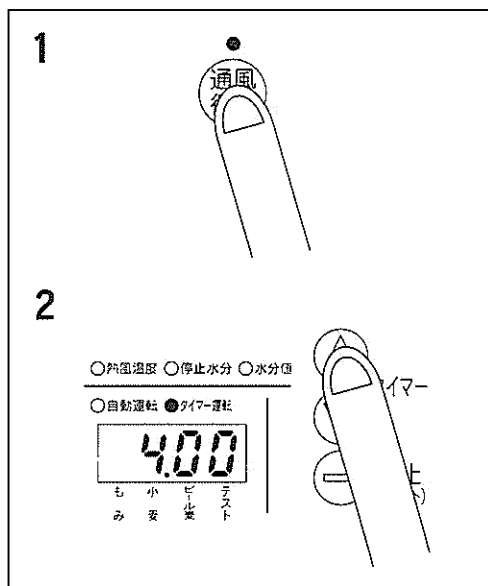


操作説明

2. 粳・麦を通風循環する

●例えば、通風循環時間を4時間00分に設定するには、

1. **通風循環** ボタンを押してください。
●自動運転ランプが点灯します。
2. **タイマー設定** ボタンを押して時間(4時間00分)をあわせてください。
●タイマー運転ランプが点灯します。
○残時間表示が1分ずつカウントダウンしていきます。



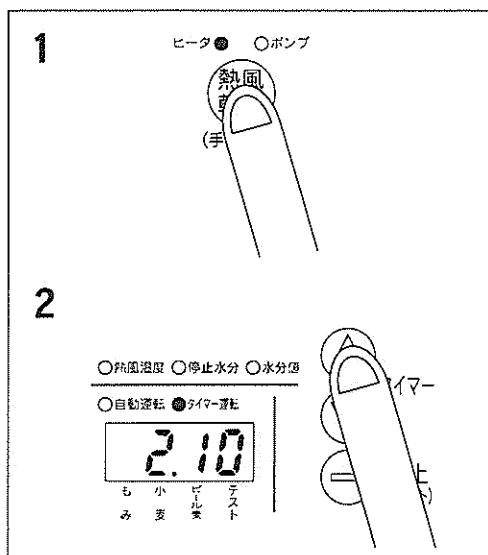
3. 粳・麦を熱風乾燥する

大切

タイマー運転中は、水分測定がおこなわれません。したがって、熱風乾燥時には過乾燥にならないように十分注意してください。

●例えば、熱風乾燥時間を2時間10分に設定するには、

1. **熱風乾燥** ボタンを押してください。
●自動運転ランプが点灯します。
2. **タイマー設定** ボタンを押して時間(2時間10分)をあわせてください。
●タイマー運転ランプが点灯します。

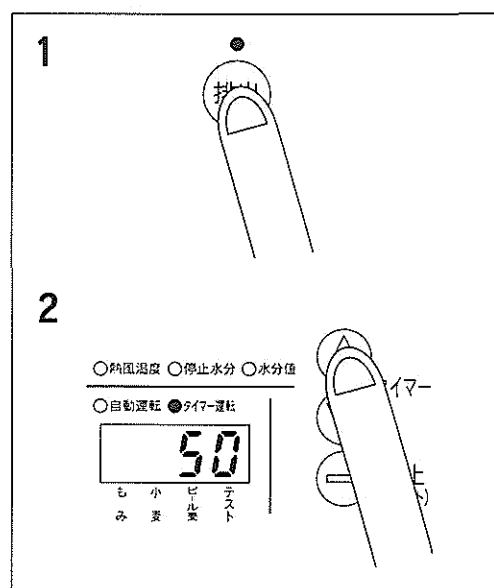


○残時間表示が1分ずつカウントダウンし、残時間が10分になるとバーナが消火します。その後、約10分経過すると本機が停止します。

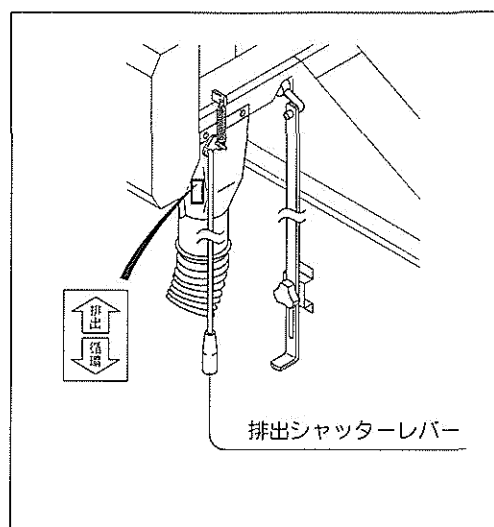
4. 粉・麦を排出する

●例えば、排出時間を0時間50分に設定するには、

1. **排出** ボタンを押してください。
●タイマーランプが点灯します。
2. **タイマー設定** ボタンを押して時間(0時間50分)にあわせてください。
●タイマー運転ランプが点灯します。
●残時間表示が1分ずつカウントダウンしていきます。



3. 排出シャッターレバーを持ち上げて '排出' にしてください。



第 6 章

点検・整備

●点検・整備一覧表	6-02
●点検・整備	6-03
随時点検・整備	6-03
●グリス塗布箇所	6-04
1. 駆動チェーンへのグリス塗布	6-04
●エアーフィルター	6-04
1. エアーフィルターの掃除・交換	6-04
●燃料系統	6-05
1. 油受け容器の残油処理	6-05
2. 送油バルブ内の濾し網の掃除	6-06
●燃焼系統	6-06
1. バーナの分解掃除	6-06
2. フレームアイの掃除	6-08
●検出器	6-08
1. ロール上の掃除とブラシの掃除	6-08
●駆動部	6-10
1. 下部コンベアベルトの張り点検	6-10
2. 下部コンベアベルトの張りかた	6-11
●消火器	6-11
1. 使用有効期限の確認	6-11
●保護用ヒューズの交換	6-12
1. ヒューズの交換のしかた	6-12
●テスト運転のしかた	6-13

6-02

点検・整備

点検・整備一覧表		点 検 ・ 調 整 の 時 期			
	実 施 項 目	参照ページ	シーズン 前	シーズン 中	シーズン 終了後
グリス塗布箇所	駆動チェーンへのグリス塗布	6-04			○
エアフィルター	エアフィルターの掃除	6-04	○	○ 4～5乾燥毎	
	エアフィルターの交換	6-04	4年毎		
燃 料 系 統	油受け容器の残油処理	6-05		○ 随時	
	燃料タンクコック内濾し網の掃除	6-06			○
燃 焼 系 統	バーナの分解掃除	6-06			○
	フレームアイの掃除	6-08	○		
検 出 器	ロール上の掃除	6-08			○
	ブラシの掃除	6-09			○
駆 動 部	下部コンベアベルトの張り点検	6-10	○	○	
消 火 器	使用有効期限の確認	6-10	1年毎		
テ ス ト 運 転	異常音の有無確認	6-13	○		
	水分表示値の確認	6-13	○		
	バーナ燃焼状態の確認	6-13	○		
	異常表示の確認	6-13	○		

大切

点検・整備期間は個々の使用状態によって変わります。従って使用状態に合わせて点検・整備の時期を随時設定してください。

点検・整備

この章では、乾燥機の性能を最高に保つために必要な点検・整備上の手順を詳述します。

最良の効率を上げるには、乾燥機の定期的な点検・整備が大切です。

特に、バーナ掃除は火災予防のためにも重要ですので、必ずおこなってください。

注意

以下各項目で示す期間に点検・整備をおこなってください。点検・整備は必ず制御盤から電源コードを抜いておこなってください。

随時点検・整備

本書で言う“随時点検・整備”とは、定期以外のサービス期間を示しています。

随時点検・整備期間は個々の使用状態に合わせて随時のサービス期間を決めてください。平均的な点検時間は、毎乾燥終了後です。

警告

点検・整備をおこなう場合、次に述べる衛生上のルールを守ることが大切です。

1. 点検・整備をおこなう前に、適当なハンドクリームを手に塗ってください。
2. 保護衣、つなぎ、ゴム手袋などを着用してください。また、バーナの分解掃除をするときには、必ずマスクを着用してください。
3. 点検・整備が終わりましたら、直ちに付着した灯油、カーボンを石鹸で洗い流してください。
4. 汚れた衣服は必ず脱いで、洗濯してください。
5. 点検・整備をおこなうときには作業所を明るくし、換気も十分におこなってください。

● グリス塗布箇所

1. 駆動チェーンへのグリス塗布

シーズン終了後に駆動チェーンにグリスを塗布してください。

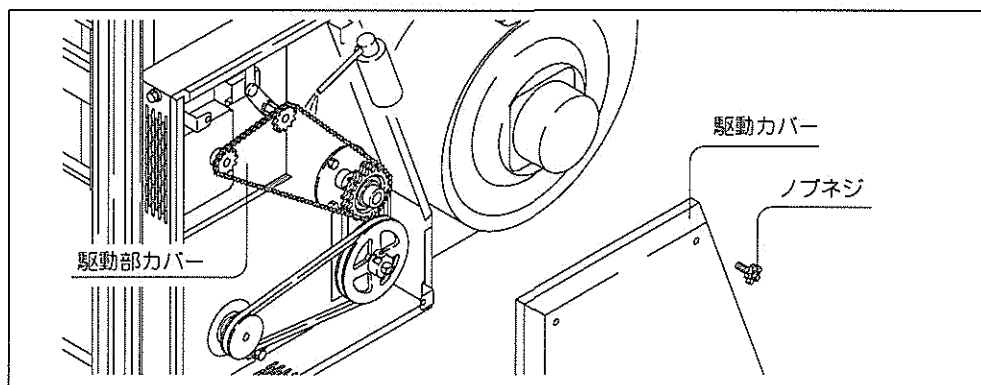
⚠ 注意

本機が起動しているときには、駆動チェーンにグリスを塗布してはいけません。
手がチェーンに触れケガをすることがあります。



グリスを塗布したときに下に落ちたグリスは、必ずウエス等で拭きとってください。

- ① 駆動部カバーを固定しているノブネジ（4ヶ）を回して外してください。
その後、駆動部カバーを取り外してください。
- ② グリススプレーなどで駆動チェーンにグリスを適量塗布してください。
その後、駆動カバーを閉めてノブネジ（4ヶ）で固定してください。



● エアーフィルター

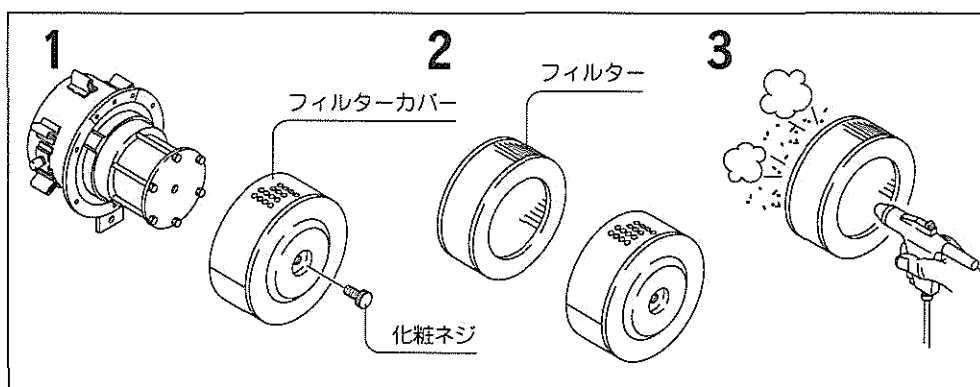
1. エアーフィルターの掃除・交換

シーズン前とシーズン中、4～5乾燥毎に掃除をしてください。また、4年毎に交換してください。



エアーフィルターを掃除するときに、エアーフィルターの外側からエアーブローで吹くと、ホコリが除去できず使えなくなってしまうです。

- ①バーナカバーを開けてください。
- ②フィルターカバーの外側をきれいにしてください。
- ③化粧ネジを外して、フィルターカバーを取り外してください。フィルターカバーと一緒にエアフィルターが外れます。
- ④フィルターカバーからエアフィルターを引き抜いてください。
- ⑤フィルターカバーの内側をきれいにしてください。
- ⑥エアフィルターの内側から、エアブローでほこりを吹き落としてください。または、エアフィルターを廃棄して、新しいエアフィルターと交換してください。

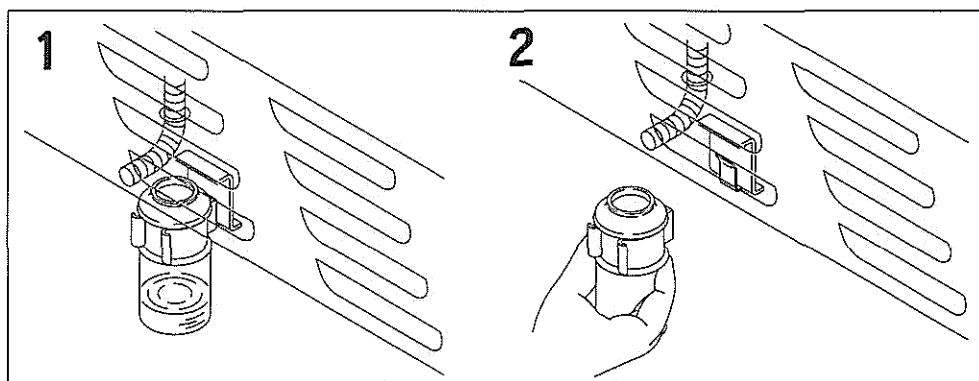


燃料系統

1. 油受け容器の残油処理

随時、油受け容器の残油処理をおこなってください。

- ①油受け容器からドレーンパイプの先端を取り外してください。
- ②油受け容器を上引き抜いてください。
- ③油受け容器内の残油処理をしてから、再び元に戻してください。
- ④ドレーンパイプの先端を油受け容器内に戻してください。



2. 燃料タンクコック内の濾し網の掃除

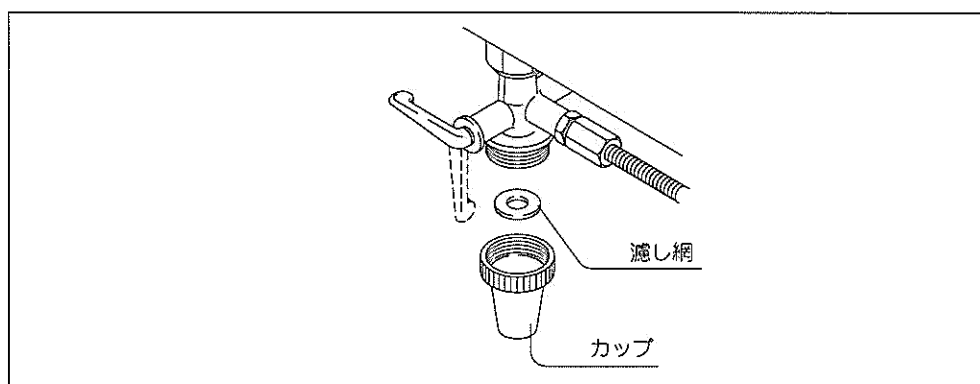
シーズン終了後に燃料タンクコック内の濾し網の掃除をおこなってください。

- ①燃料タンクコックを完全に閉めてください。
- ②カップを回して取り外し、カップ内の残油を処理してください。



カップ内の赤いボールは、燃料内に水が混入すると、浮かぶようになっていきますので、残油を処理するときには紛失しないようにしてください。

- ③濾し網を下に引き抜いて、新しい灯油で洗浄してください。
- ④カップを元のように手でねじ込んでください。締めすぎないでください。



● 燃焼系統

1. バーナの分解掃除

4～5乾燥毎、およびシーズン終了後におこなってください。



警告

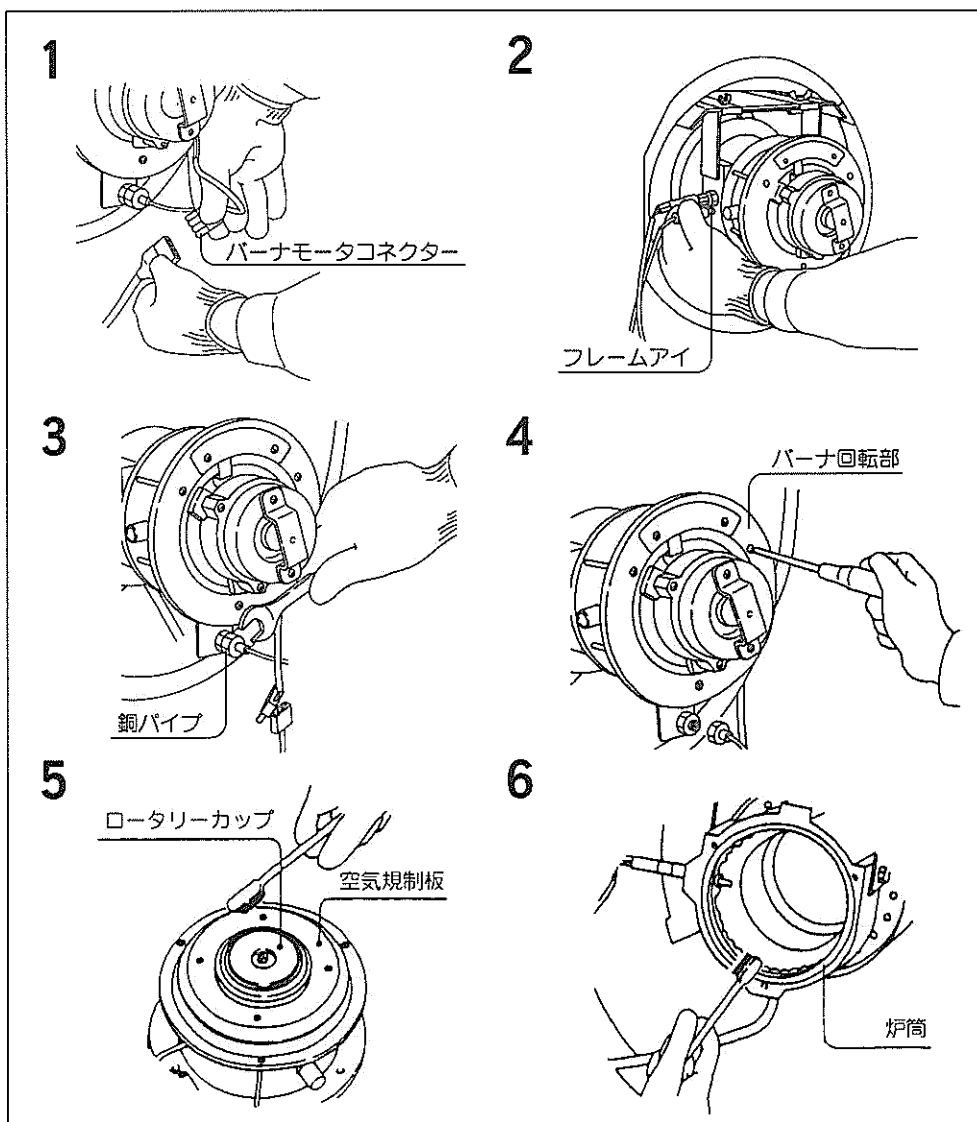
バーナが熱いあいだにバーナの分解掃除をしてはいけません。
ヤケドの原因となります。

- ①バーナカバーを開けてください。
- ②フィルターカバーとエアフィルターを取り外してください。
取り外し方はP6-04を参照してください。
- ③バーナモータコードを抜いてください。
- ④バーナ左側面からフレームアイを引き抜いてください。

- ⑤バーナの下に接続してある銅パイプ送油側の袋ナットをスパナで回し、取り外してください。
- ⑦バーナ回転部を固定している3本の丸小ネジをドライバーで取り外し、炉筒から回転部を分離してください。
- ⑧バーナ回転部のロータリーカップ、空気規制板上にカーボンが付着していればワイヤブラシで取り除いてください。

補足 空気規制板上に付着している薄い膜状のカーボンは、異常ではありません。

- ⑨炉筒内部にカーボンが付着していれば、ワイヤブラシで取り除いてください。



2. フレームアイの掃除

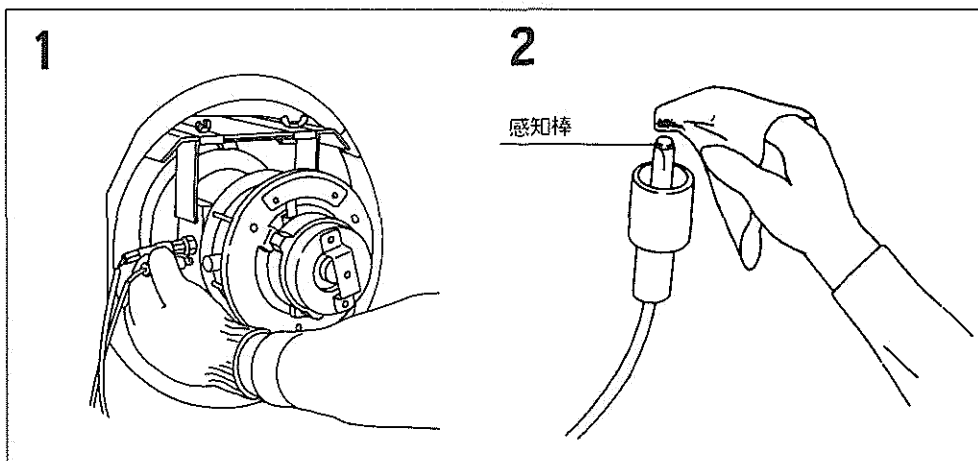
シーズン前におこなってください。

大切

フレームアイの感知棒にキズをつけないように取り扱いってください。感知棒にキズがつくとバーナの炎を感知できず、連続燃焼しません。

- ①バーナカバーを開けてください。
- ②バーナからフレームアイを引き抜いてください。

その後、感知棒の先端とフレームアイパイプ内のホコリをやわらかい布で拭きとってください。



●検出器

1. ロール上の掃除とブラシの掃除



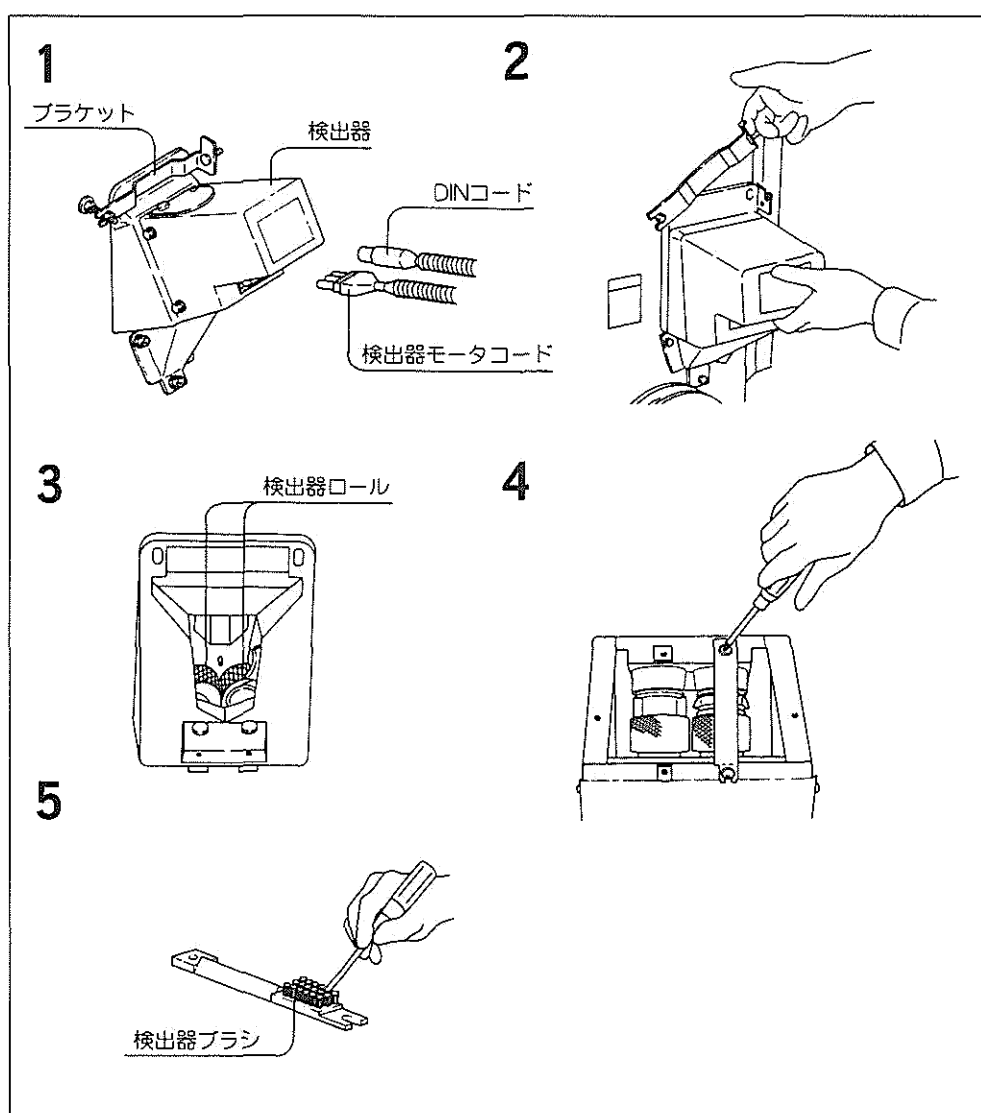
検出器を取り外すときには、落とさないように慎重に取り扱ってください。

- ①検出器に接続されているコード（2本）のコネクター部をつかんで手前に引き、外してください。
- ②片手を検出器に当てがい、もう一方の手でブラケットの右端を上を持ち上げて、ブラケットと検出器を取り外してください。
- ③ロール上にゴミ・異物等がありましたら、取り除いてください。
- ④検出器を裏側にして置き、適当な⊕ドライバーでブラシ固定材（2ヶ）を固定している小ネジを取り外してください。

- ⑤ ブラシ（2ヶ）を取り外し、⊖ドライバー等の先端を利用してブラシ内の粉・麦の粉碎クズを取り除いてください。その後、組付けてください。
- ⑥ 検出器を流し板の上に乗せ、ブラケットの左端のスリットをブラケット固定ボルトに引っ掛け、右端の突起部がブラケット固定材のカット部に入り込むように上から押し込んでください。
- ⑦ 検出器にコード（2本）を再び接続してください。



コードはコネクターの形状にあわせて、しっかりと差し込んでください。

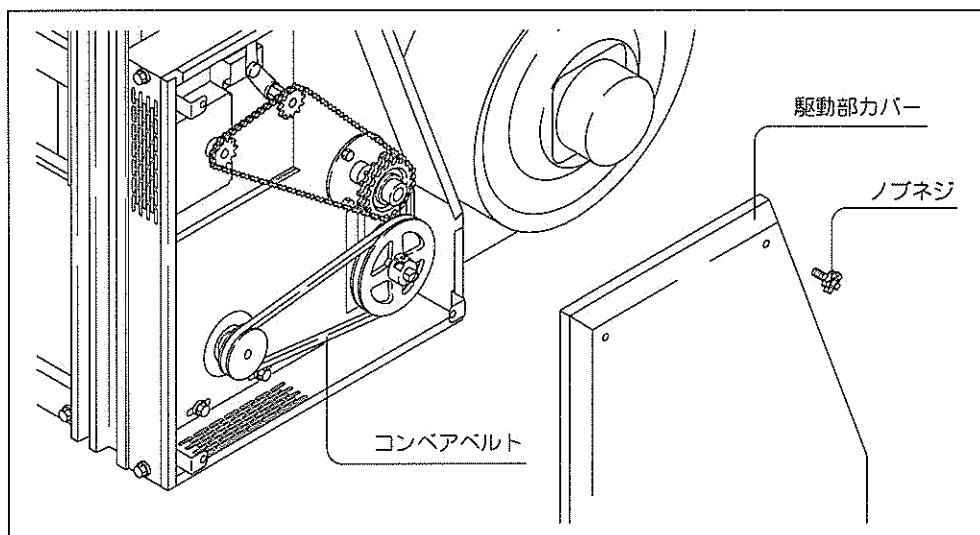


● 駆動部

1. 下部コンベアベルトの張り点検

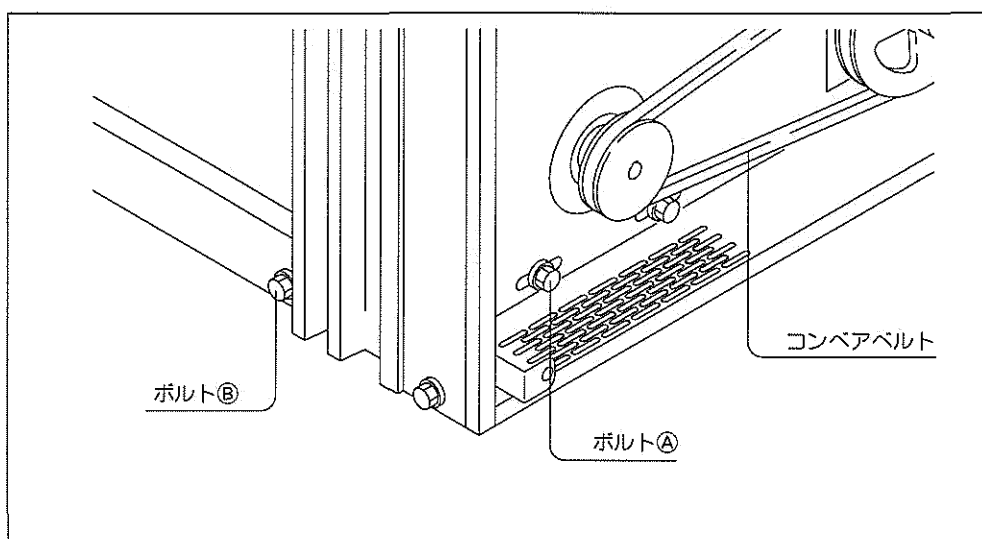
シーズン前とシーズン中に下部コンベアベルトの張りを点検してください。
また、ベルトがゆるんでいるときには、ベルトテンションを張ってください。

- ① 駆動部カバーを固定しているノブネジ（4本）を回して、外してください。
その後、駆動部カバーを取り外してください。
- ② コンベアベルトのセンターを指先で押して、ベルトのたわみ量を確認してください。
たわみ量が15mm以上あるときには、ベルトを張ってください。
- ③ コンベアベルトのたわみ量の確認、あるいはベルトを張ってから再び駆動部カバーを取り付けてください。



2. 下部コンベアベルトの張りかた

- ① ボルト①（2本）をゆるめてください。
- ② コンベアベルトの張りを確認しながらボルト②を締め込んでください。
- ③ コンベアベルトが適切な張りになりましたらボルト①を締め付けてください。

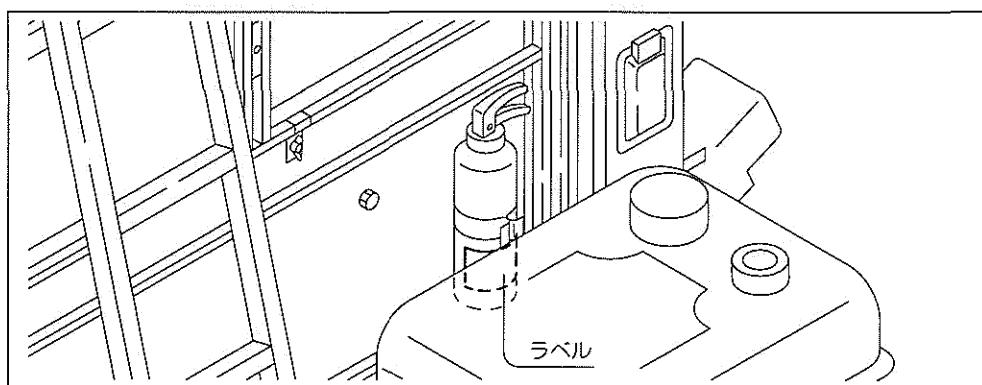


● 消火器

1. 使用有効期限の確認

1年毎に有効期限を確認してください。

消火器に貼られているラベルに有効期限が書いてありますので確かめて、古いものは新しいものと交換してください。



●保護用ヒューズの交換

⚠警告

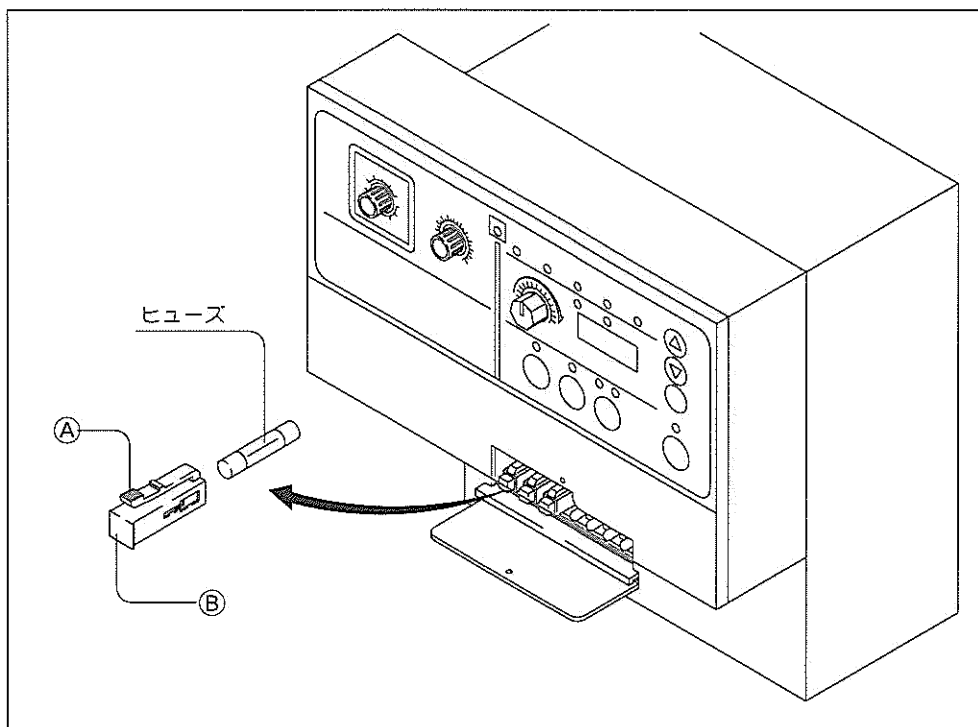
- (1) 保護用ヒューズを交換するときには、必ず制御盤から電源プラグを抜いてください。感電の原因となります。
- (2) 切れたヒューズの代わりにアンペアの大きいヒューズを取り付けるのは絶対にやめてください。漏電したり、火災の原因となります。

1. ヒューズの交換のしかた

- ①制御盤の正面塞ぎ板の化粧ネジを取り外し、蓋を開いてください。
- ②ヒューズホルダー（3ヶ）から不良品を引き出し、新品と交換してください。

ヒューズホルダーの脱着方法

- ④部レバーを押しながら、⑤部をあなたの方に引いてください。
⑤部と引っしょにヒューズが取り外せます。
⑤部内にヒューズを差し込み、⑤部を「カチ」という音がするまで軽く押し込んでください。



補足

保護用ヒューズには全て2Aの管ヒューズを使用しています。

●テスト運転のしかた

シーズンに入る前に必ずテスト運転をおこない、乾燥機の動作チェックをおこなってください。事前に乾燥機の故障箇所の有無をチェックできますので余裕をもってシーズンをむかえることができます。

運 転 順 序		確 認 事 項	チェック欄
1	①電源プラグを接続する ② 電源 スイッチを 'ON' にする	①全ランプ点灯 ②表示部 8888 → n5-A → --- ③モニターランプが点灯しましたか？	
2	①穀物種類に 'テスト' を 選択する		
3	① 張込 ボタンを押す	①昇降機、上部・下部コンベア、送風機、排 塵機（送風機）が稼働しますか？ ②異常音の発生がありますか？	
4	① 通風循環 ボタンを押 す	①駆動チェーンが回転しますか？ ②水分測定値がグラフ上の値が表示されま すか？（例：外気温20℃の場合は14.5%前後 の値が表示されます） 測定値 (%) 外気温度 (℃)	
5	① 熱風乾燥 ボタンを押 す	①バーナが着火しますか？ 約30分間連続燃焼させてください ②バーナ燃焼状態は良好ですか？	
6	① 停止 ボタン を押す	①バーナが消火し、5分後に本機が停止しま す	

運 転 順 序		確 認 事 項	チェック欄
7	① 排出 ボタンを押す	①昇降機、上部・下部コンベア、繰出しモータ、送風機、排塵機が起動します ②排出スロワ使用時の場合は排出スロワも起動します	
8	① 停止 ボタンを押す	①本機が停止します。 排出スロワ使用時の場合には本機停止後、約30秒経過すると排出スロワが停止します。	
9	① 電源 スイッチを 'OFF' にする ②電源プラグを抜く		

補 足 テスト運転時に異常が発生した場合には、お買い上げの販売店あるいは最寄りの弊社営業所にお問い合わせください。

第 7 章

掃除と保管

●掃除と保管	7-02
■掃除のしかた	7-02
■掃除箇所と手順	7-03
1. 昇降機下部	7-03
2. 下部コンベア樋	7-03
3. 張込口	7-04
4. 上部コンベア樋	7-05
5. 掃除終了後の運転操作	7-05
●保 管	7-06
1. 本機の保管のしかた	7-06
2. ハシゴの保管のしかた	7-08
3. 燃料タンクの保管のしかた	7-08
4. 燃料（灯油）の保管のしかた	7-09

●掃除と保管

この章では、シーズン中に異なった品種を乾燥する場合、あるいはシーズン終了後の掃除箇所と方法および乾燥機の保管のしかたについて詳述します。

■掃除のしかた



警告

掃除をおこなう場合、次に述べるルールを守ることが大切です。

1. 保護衣、つなぎ、ゴム袋およびマスクなどを着用してください。
2. 掃除がおわりましたら、そのつど直ちに取り外した蓋、カバー、側板等は元の位置に戻してください。
3. 汚れた衣服は必ず脱いで洗濯してください。
4. 掃除をおこなうときには、作業所を明るくし、換気を十分におこなってください。
5. エアブロワーや掃除機などを使って、残留物を取り除いてください。
6. 掃除をおこなったときに、機外に取り除かれた残留物は、直ちに処理してください。
7. 掃除は制御盤から必ず電源プラグを抜いておこなってください。



注意

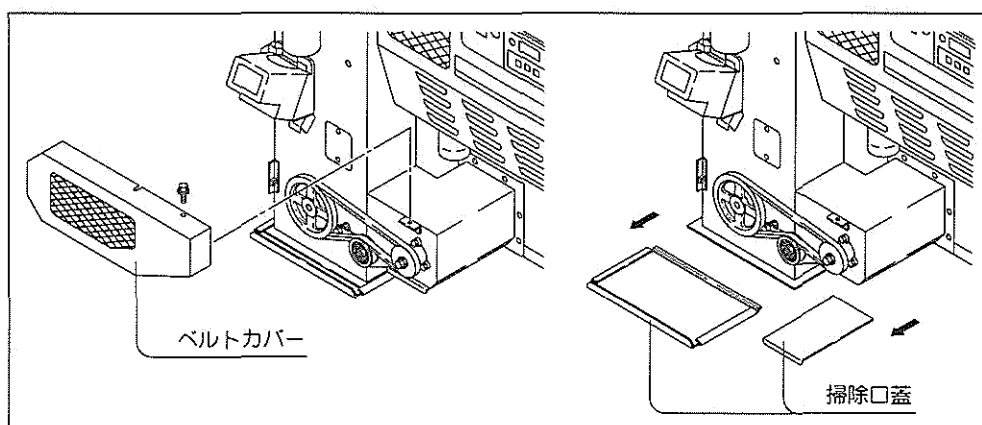
- 掃除をおこなうときは必ず電源コードを抜いてから作業をしてください。
- 掃除が終了しましたら、必ずカバーを取付けてください。

■掃除箇所と手順

次の箇所の掃除をおこない、機内の残留物を取り除いてください。

1. 昇降機下部

- ①ベルトカバーを固定している六角ボルトをスパナ等を使って外してください。
その後、ベルトカバーを取り外してください。
- ②掃除口蓋（2ヶ）を手前に引いて取り外してください。残留物が機外に出ます。
- ③掃除終了後、蓋は元に戻してください。

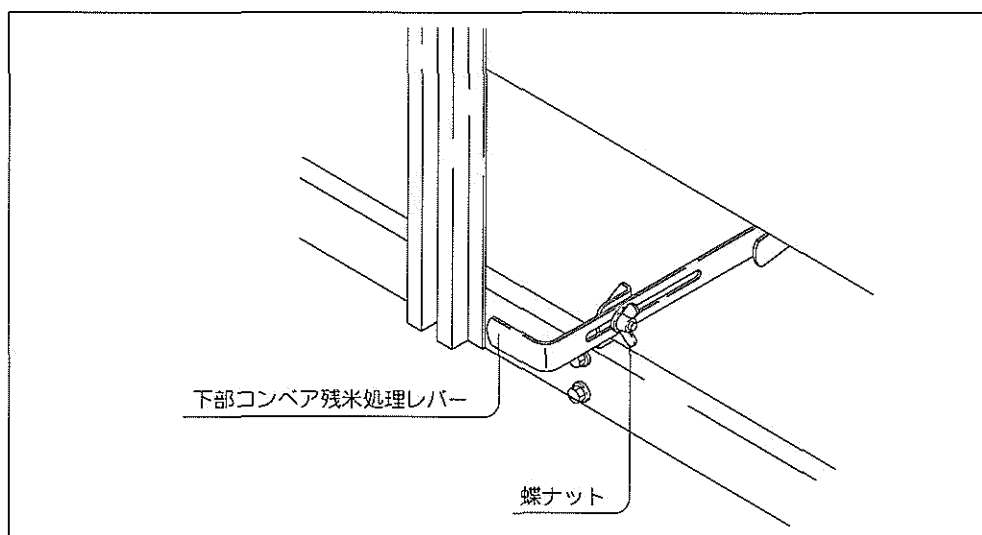


2. 下部コンベア樋

- 下部コンベア残米処理レバーの蝶ナットをゆるめ、前後に数回、開閉操作をおこなってください。



下部コンベア残米処理レバーは、左右同時に操作してください。



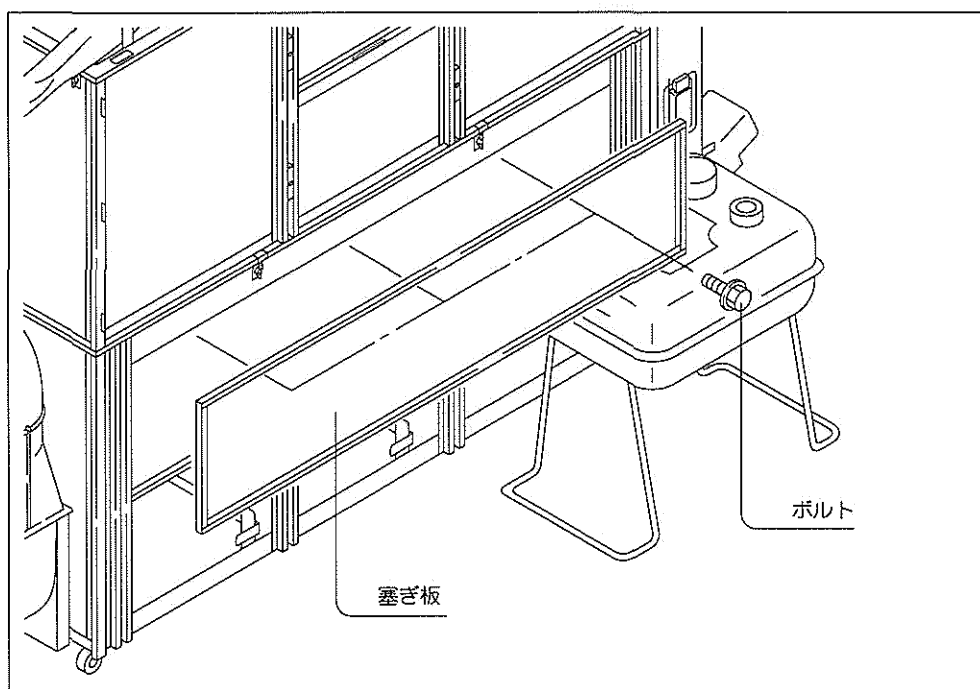
掃除と保管

3. 張込口

- ① 張込口を開き、機内の残留物を取り除いてください。
- ② 反対の側面に組付けられている塞ぎ板を取り外し、機内の残留物を取り除いてください。

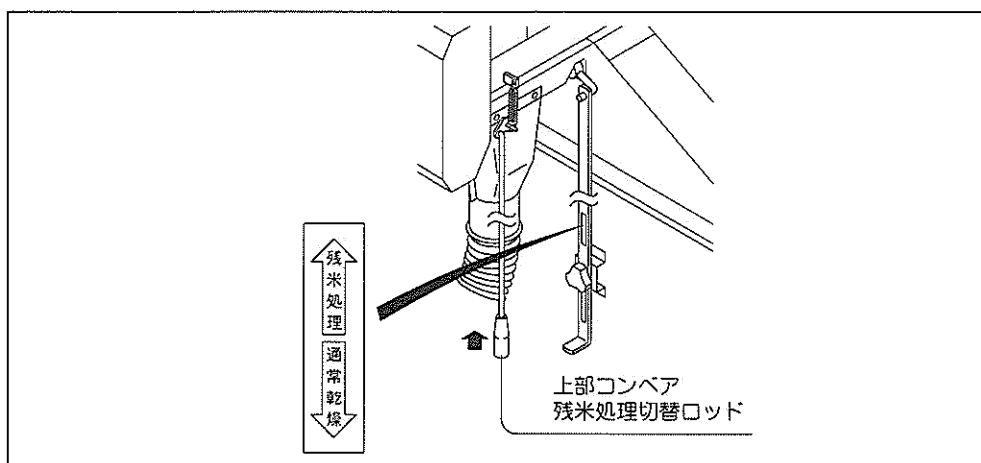
塞ぎ板の取り外しかた

- ① 塞ぎ板を固定しているボルト（3本）を付属のL型ボックスで取り外してください。その後、塞ぎ板を本機から外してください。
- ② 掃除終了後、塞ぎ板を元に戻してください。



4. 上部コンベア樋

- ①上部コンベア残米処理切替ロッドを固定しているノブネジをゆるめてください。
- ②切替ロッドを上下に数回動かしてください。上部コンベア樋内部の残留物が機内に落下します。



5. 掃除終了後の運転操作

- 前記箇所の掃除が終了しましたら次の手順で運転操作をおこなってください。
機内の残留物を取り除くことができます。
- ①掃除のために取り外した蓋やカバーなどは元に戻してください。
- ②制御盤の電源を投入後、**排出** ボタンを押し約10分間運転をおこなってください。
 - 運転中は、残米処理切替ロッドを‘残米処理’側にしてください。
- ③約10分間経過したら **停止** ボタンを押して本機を停止してください。
その後、下記の箇所の掃除をおこなってください。
 - (1) 昇降機下部
 - (2) 下部コンベア樋
- ④排出シャッターレバーを‘排出’にしてください。
 - 排出シャッター内部の残留物が機外に排出されますので、あらかじめ粉袋等を準備し、受けてください。

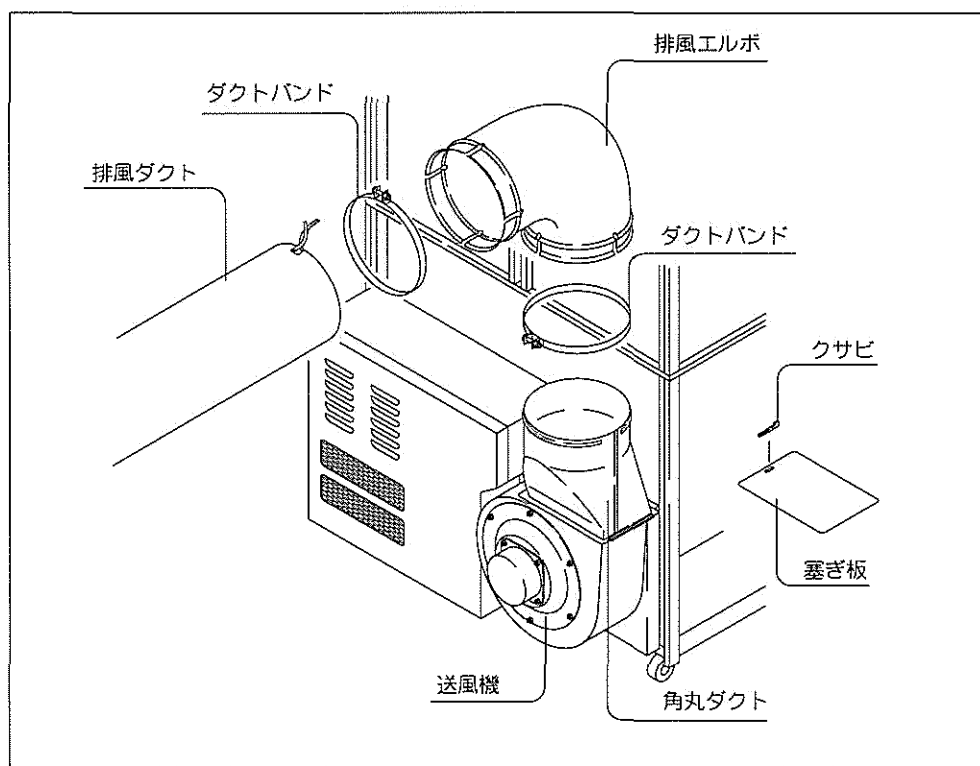
●保 管

乾燥機を長期間保管する場合には、乾燥機を保護するために適切な予防措置を取らなければなりません。方法については次の通りです。

1. 本機の保管のしかた

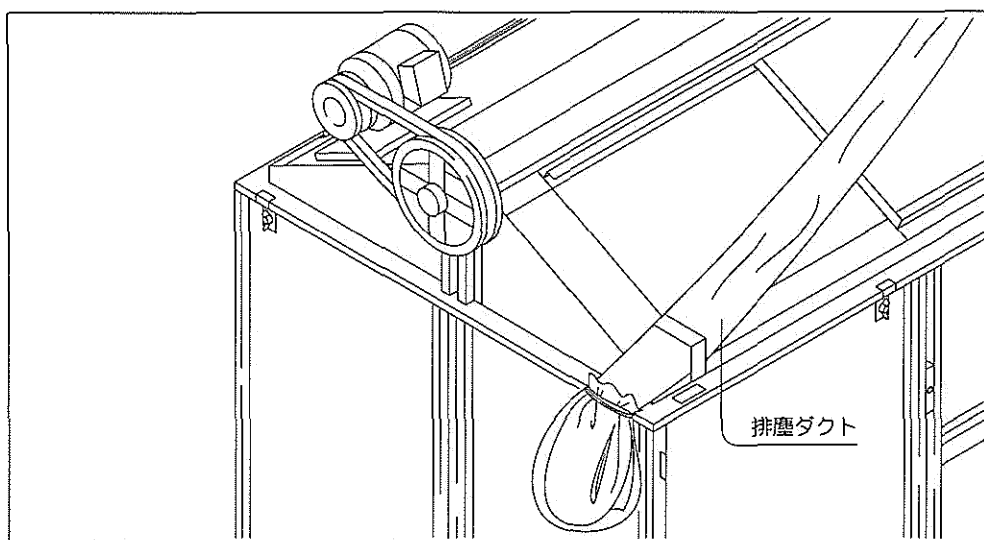
(1) 送風機

- ①ダクトバンドをゆるめ、排風エルボから排風ダクトを取り外してください。
- ②クサビを抜き、角丸ダクトを取り外してください。
- ③送風機排風口に付属の塞ぎ板を組付け、クサビで固定してください。
- ④排風ダクト・排風エルボおよび角丸ダクトに付着しているホコリを払って、段ボールなどに収納してください。



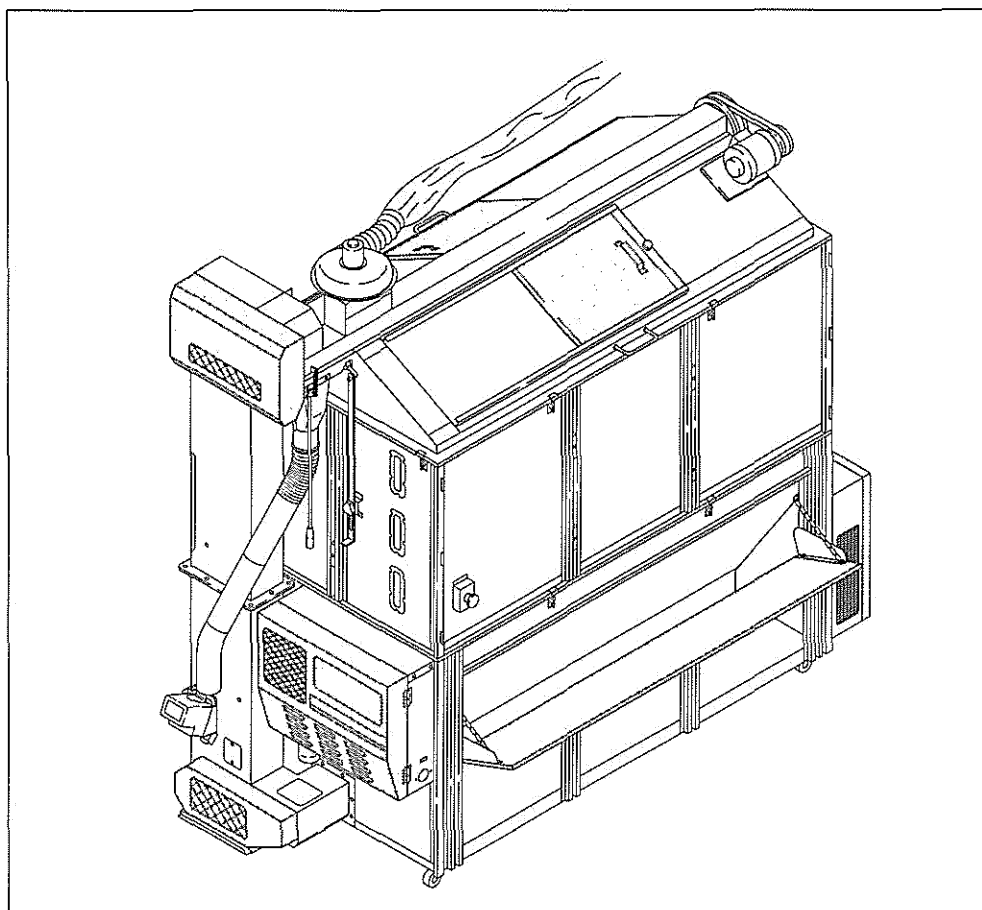
(2) 排塵機

- ① 排塵ダクトの先端部を折りたたんで、ビニール袋などの中に収納してヒモで結わえてください。



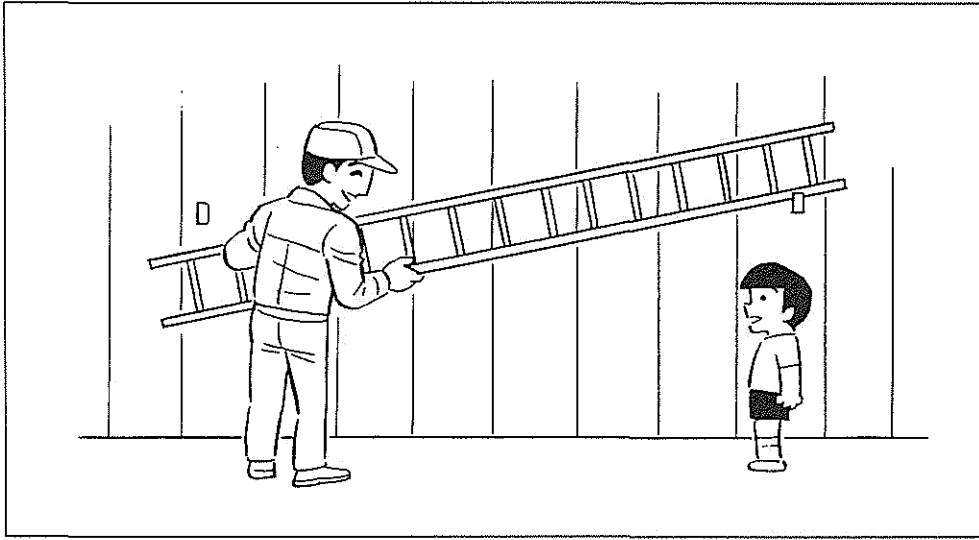
(3) 安全カバー、掃除口蓋および点検蓋

- ① 安全カバー、掃除口蓋および点検蓋は必ず元の位置に戻してください。



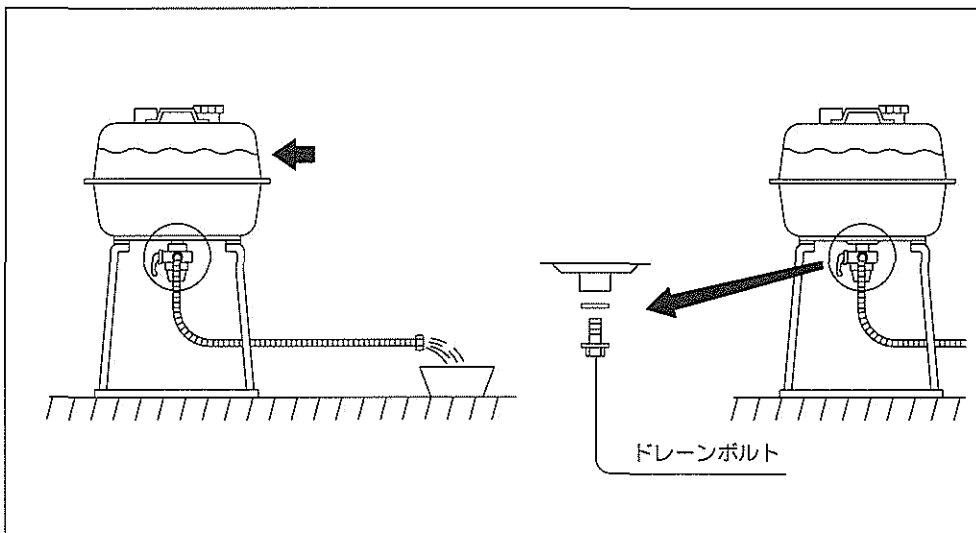
2. ハシゴの保管のしかた

- ハシゴは、ハシゴ掛け材から取り外して、子供の手の届かない場所に保管してください。



3. 燃料タンクの保管のしかた

- ①燃料タンクの下に受け皿を置き、溢れた燃料を受けてください。
- ②燃料タンクの底にあるドレーンボルトをスパナで取り外してください。

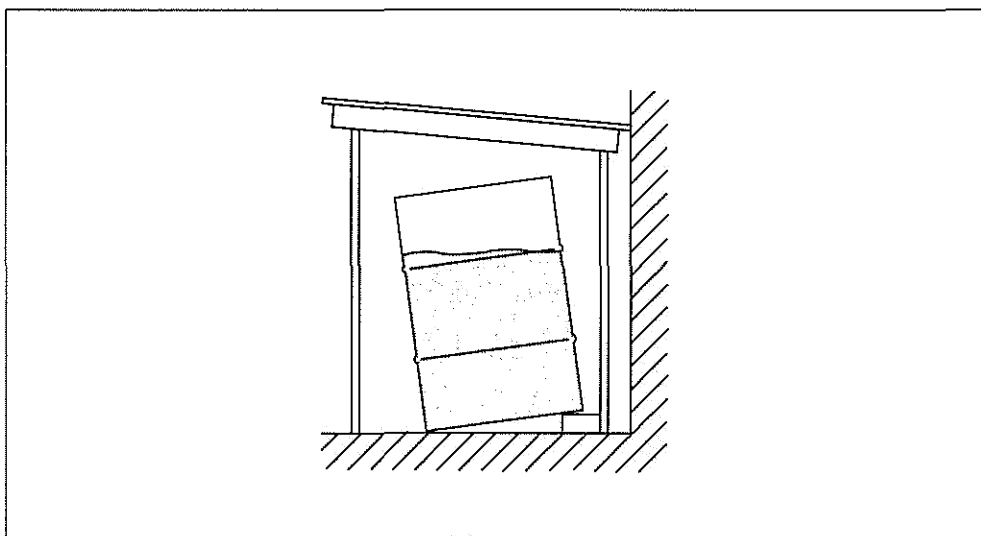


4. 燃料（灯油）の保管のしかた



最も注意すべきことは、燃料をきれいに保管することです。
次の注意事項を守って、燃料の保管に万全を期してください。

1. 保管する容器の内側は、毛ばだった布切れで決して拭いてはいけません。
2. ドラム缶は雨水が入らないように、カバーを掛けてください。また、ドラム缶で保管する場合は、少し傾けて、上部の縁から水が逃げるようにしなければなりません。
3. 屋外で使用するドラム缶はねじ蓋をしっかり締めて、水が入らないようにしなければいけません。



第 8 章

故障診断と処置

●故障診断と処置	8-02
----------------	------

故障診断と処置

下記項目に従って点検されても直らないときには、お買い上げの販売店あるいは最寄りの弊社営業所にお問い合わせください。

	こんなときには	ここをお確かめください	参 照 ペー ジ
電 源	制御盤の電源スイッチを ‘ON’ にしても操作パネ ルに何も表示しない	制御盤から電源プラグが外れている。 ▶ 電源プラグを差し込んでください。	5-05
		元電源のアンペアブレーカが ‘OFF’ または ‘切’ になっている。 ▶ アンペアブレーカを ‘ON’ または ‘入’ にし てください。	5-05
		電源ヒューズが溶断している。 ▶ 電源ヒューズ（2 A）を交換してください。	6-12
	電源スイッチを ‘ON’ す ると同時に本機が起動して	手動スイッチが ‘入’ 側になっている。 ▶ 手動スイッチを ‘切’ 側に切り換えてくださ い。	10-02
張 込	各ボタンを押してもモータ が回転しない	電源プラグ内の端子がゆるんでいる。 ▶ 端子を⊕ドライバーで締め付けてください。 電源コードが断線してる。 ▶ 電源コードを交換してください。	
	排塵ダクトが膨らまずにし ぼんでしまう	排塵機が稼働していない。 ▶ 排塵機ヒューズ（2 A）が溶断しています。 交換してください。	6-12
通 風 循 環	駆動チェーンが動いたり、 止まったりする	異常ではありません。 ▶ 設定した穀物量に応じて、繰出しモータが間欠 運転をおこなっています。但し、水分測定時は 連続回転となります。	5-21
通 風 循 環・ 熱 風 乾 燥	操作パネル上の表示ランプ の点灯位置が自動的に変わ る	異常ではありません。 ▶ 表示ランプの点灯位置は、自動的に移動し、そ のつど表示部にデータが表示されます。	5-21 5-25
熱 風 乾 燥	手動水分計と水分値があわ ない	検出器ロール上にゴミが溜まっている。 ▶ 検出器を掃除してください。	6-08

故障診断と処置

	こんなときには	ここをお確かめください	参 照 ページ
熱 風	手動水分計と水分値があわない	水分補正ダイヤルのセット位置が適切でない。 ▶ 水分補正ダイヤルを適切な位置にセットしてください。	
		18.0%以上の水分を測定、比較している。 ▶ 水分値が18.0%以上のときには、手動水分測定値と制御盤表示値の間にある程度の水分誤差が生じます。乾燥終了後に再度、水分測定をおこなってください。	
		手動水分計の使い方が間違っている。 ▶ もう一度、手動水分計の使い方をお確かめ、水分測定をおこなってください。	5-30
		水分微調整ボリュームのセット位置が適切でない。 ▶ 水分微調整ボリュームを適切な位置にセットしてください。	5-14
乾	水分値表示がいつになっても変わらない	異常ではありません。 ▶ 水分値表示は、自動的に水分測定がおこなわれたときだけに関わり、常時変化するものではありません。 現在の水分値をお確かめるには、 熱風乾燥 ボタンを押してください。	5-24
燥	乾燥時間が長くなりすぎる	送風機の回転数が落ちている ▶ 送風機ベルトを張ってください。	
		排風ダクトの抵抗が大きく風量が低下している。 ▶ 排風ダクトをまっすぐにピンと張ってください。	4-02
		エアフィルターがホコリで目詰まりしている。 ▶ エアフィルターを掃除してください。	6-04
		温度調整ボリュームがマイナス方向にセットしてある。 ▶ 温度調整ボリュームを調節してください。	5-12

故障診断と処置

	こんなときには	ここをお確かめください	参 照 ページ
熱 風 乾 燥	停止水分以下の水分値が表示されていてもバーナが消火しない	異常ではありません。 ▶ 設定した停止水分値以下の水分値を自動的に連続2回検出するとバーナが自動消火し、約5分後に本機が停止します。自動的に水分測定がおこなわれるまでお待ちください。	5-27
排 出	停止 ボタンを押してもすぐに本機が停止しない	異常ではありません。 ▶ 排出中に 停止 ボタンを押してから、30秒後に本機が停止します。	5-34
	排出スロワがすぐに詰まってしまう	排出操作手順が間違っている。 ▶ 排出スロワを稼働してから、排出シャッターレバーを‘排出’側にしてください。	5-34
異 常 ラ ン プ 点 灯	E2が表示される	①電源スイッチをONにするとE2が表示される場合 フレームアイの感度不良 ▶ お買い上げの販売店にご連絡ください。	3-05 6-08
		② 熱風乾燥 ボタンを押してもバーナが着火せずにE2が表示される場合 燃料切れ ▶ 燃料タンクに灯油を給油してください。	
		燃料タンクコック ▶ 燃料タンクコックを開けてください。	5-17
		燃料タンクコック内の濾し網にゴミが詰まっている。 ▶ 燃料タンクコック内の濾し網を掃除してください。	6-06
		燃料に軽油を使用している。 ▶ 燃料タンク内を洗浄し、灯油を給油してください。	
		燃料ホースにエアが噛んでいる。 ▶ 燃料ホースのエア抜きをしてください。	5-17

故障診断と処置

	こんなときには	ここをお確かめください	参 照 ペー ジ
異 常 ラ ン プ 点 灯	E2が表示される	③熱風乾燥中、バーナがいつの間にか消火してE2が表示される場合 燃料タンクコック内の濾し網にゴミが詰まっている。 ▶ 燃料タンクコック内の濾し網を掃除してください。	6-06
		燃料ホースにエアアが噛んでいる。 ▶ 燃料ホースのエアア抜きをしてください。	5-17
		バーナコードが断線している。 ▶ お買い上げの販売店にご連絡ください。	
	E3-1が表示される	熱風温センサーが断線している。 ▶ お買い上げの販売店にご連絡ください。	3-05
	E3-2が表示される	外気温センサーが断線している。 ▶ お買い上げの販売店にご連絡ください。	3-05
	E3-3が表示される	排風ダクトの抵抗が大きく風量が低下している。 ▶ 排風ダクトをまっすぐにピンと張ってください。	4-02
	E4が表示される	風圧センサーの作動不良 ▶ 風圧センサーのゴミを掃除してください。	3-05
		排風ダクトの抵抗が大きく風量が低下している。 ▶ 排風ダクトをまっすぐにピンと張ってください。	4-02
		点検蓋・掃除口が開いている。 ▶ 点検蓋・掃除口を閉めてください。	7-07
	E5が表示される	バーナモータコードが断線している。 ▶ お買い上げの販売店にご連絡ください。	

故障診断と処置

	こんなときには	ここをお確かめください	参 照 ペー ジ
異 常 ラ ン プ 点 灯	E6-1が表示される	駆動ベルトのゆるみ・切損により詰まりとなった。 ▶ベルトを張ってください。 ※解除の仕方 電源スイッチをOFFにして約20秒後、電源をONにする	6-10
	E6-2が表示される	電源電圧が下がっている。 ▶お買い上げの販売店にご連絡ください。 ※解除の仕方 電源スイッチをOFFにして約20秒後、電源をONにする	
	E6-3が表示される	排出操作手順が間違っている。 ▶排出スロウを稼働してから、排出シャッターレバーを‘排出’側にしてください。 ※解除の仕方 電源スイッチをOFFにして約20秒後、電源をONにする	5-34
	E6-4が表示される	繰出しロールに異物が噛み込んでいる。 ▶お買い上げの販売店にご連絡ください。 ※解除の仕方 停止ボタンを1回押すとブザーが止まり、繰出しサーマルを押す	
	E7-Lが表示される	検出器のロールが回っていない ▶検出器モータコードの断線を確認してください。	6-08
		ロール上にゴミが溜まっている。 ▶ロールの上を掃除してください。	6-08
点 灯	E7-Hが表示される	金属片がロールの間にはさまっている。 ▶金属片を取り除いてください。	6-08
	E7-□が表示される	検出器接続コードの断線・ショートしている。 ▶お買い上げの販売店にご連絡ください。	6-08

第9章

オプション品

●オプション品	9-02
1. 排出スロワ	9-02
2. 昇降機側面張込ホッパー	9-02
3. 定レベル装置	9-03
4. 集塵装置	9-03
5. スロワ用除塵機	9-04
6. 搬送装置	9-04

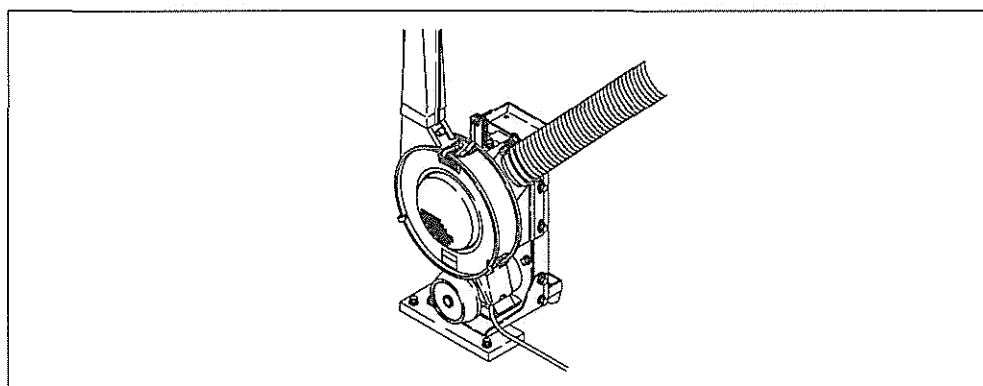
●オプション品

この乾燥機のオプション品には次のものがあります。尚、詳細についてはお買い上げの販売店あるいは弊社営業所にお問い合わせください。

1. 排出スロワ（型式名：RVA-3T60）

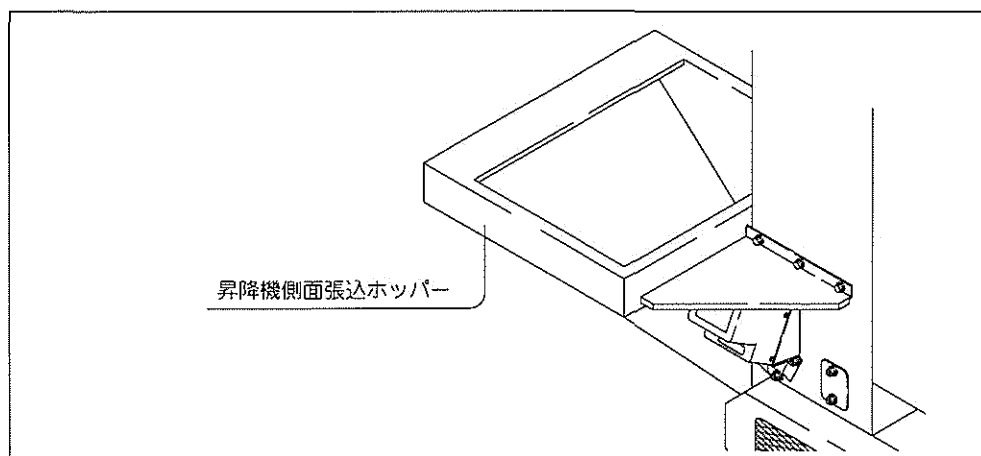
- 乾燥が終了した粉・麦を貯蔵庫に搬送することができます。
排出スロワは、本機に装着あるいは床置きにしてご使用になれます。但し、床置きにしてご使用になる場合には、別途に専用部品（床置き用脚・型式名：SRS-30AA）が必要となります。

補 足 NSA85型には、排出スロワの本機装着はできませんので必ず床置きにしてお使いください。



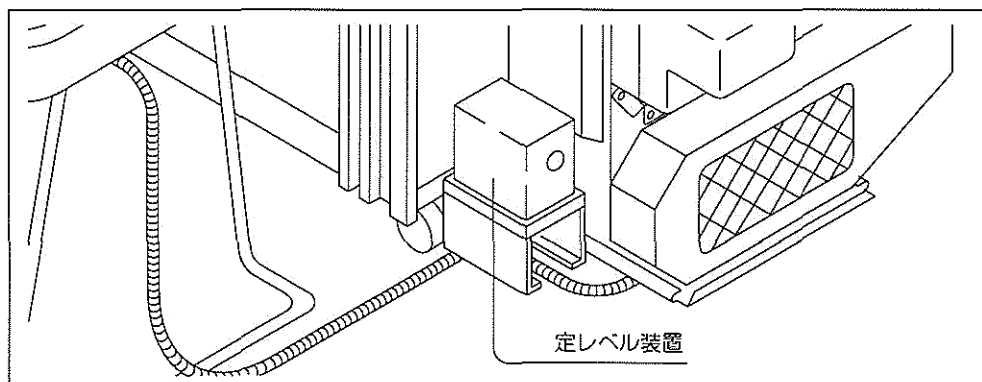
2. 昇降機側面張込ホッパー（型式名：NSA-50M）

- 昇降機の側面から粉・麦を張り込むことができます。



3. 定レベル装置（型式名：SPH-440）

- 付属の燃料タンク以外の灯油用燃料タンク（ホームタンク等）を使用する場合に必ず使用してください。ポンプにかかる油圧を一定に保ち、安定した油量をポンプに供給する装置です。



4. 集塵装置

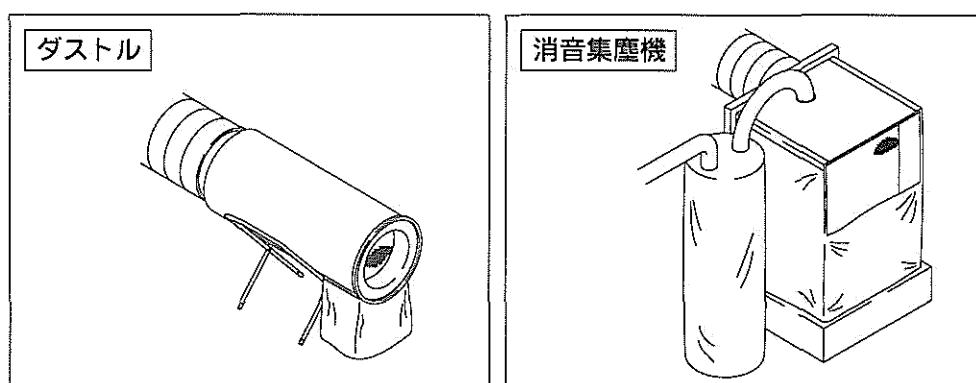
- 送風機あるいは排塵機から出るゴミ・ホコリを含んだ排風からゴミ・ホコリを取り除くことができます。集塵装置には、次の種類があります。

①ダストル〔型式名：A-4027〕

ゴミ・ホコリを含んだ排風を本体内で遠心分離して備え付け集塵袋にゴミ・ホコリを収納することができます。また、集塵袋は簡単に取り外しができます。

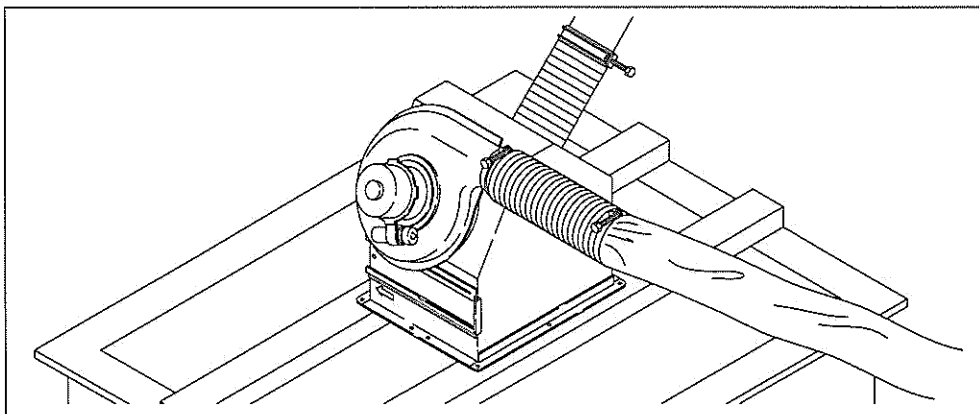
②消音集塵機〔型式名：SC-60〕

ゴミ・ホコリを含んだ排風にポンプで循環している水をシャワー状に噴霧して、ゴミ・ホコリを取り除きます。また、組立分解式ですので収納するにも便利です。



5. スロフ用除塵機〔型式名：DSB-60〕

- 排出スロフ吐出口先端に取り付け、排出時に出るホコリ・ゴミの害を解消することができます。



6. 搬送装置

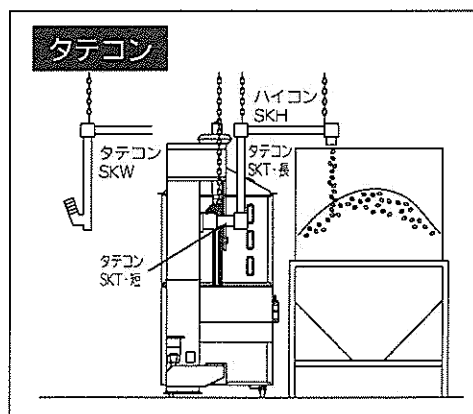
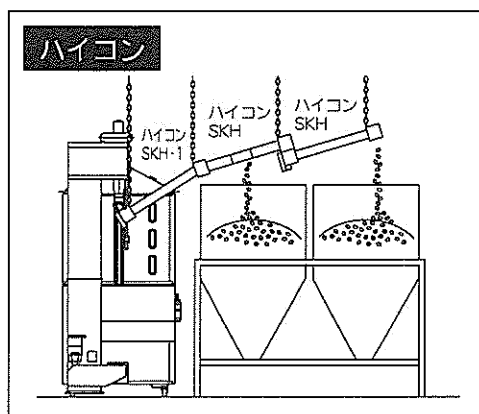
- 乾燥が終了した粃・麦を貯蔵庫に搬送することができます。一般的には、乾燥機と貯蔵庫との位置関係で排出スロフが使用できない場合に使います。

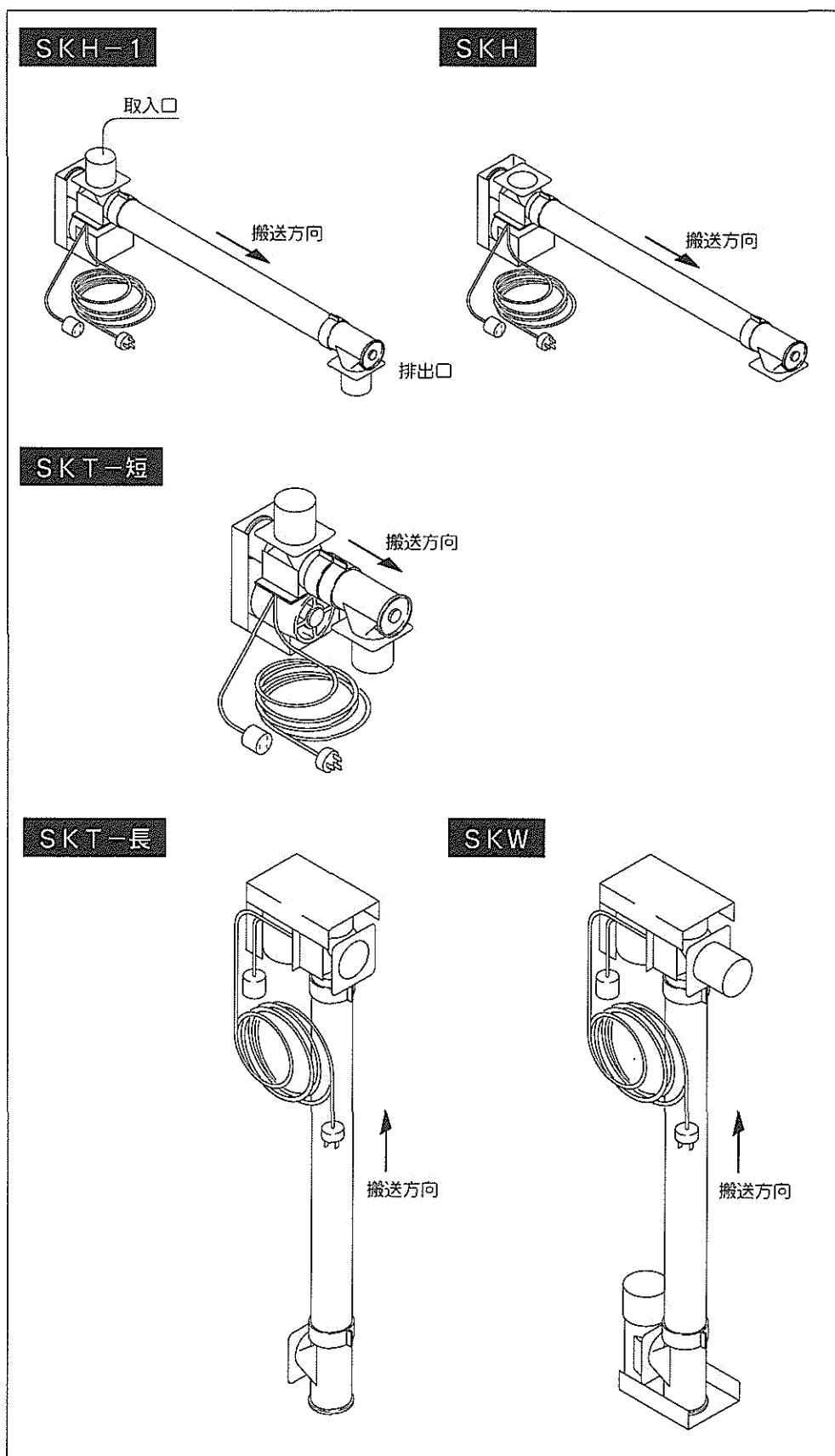
①ハイコン〔型式名：SKH-1・SKH〕

横送り用のコンベアを使用し、ホコリが少なく衛生的でレイアウトにあわせて何本でも接続できます。

②タデコン〔型式名：SKT-短・SKT-長・SKW〕

垂直送り用のコンベアを使用し、ホコリが少なく衛生的でレイアウトにあわせて何本でも接続できます。





第10章

応急運転

●応急運転.....	10-02
1. 応急運転のしかた.....	10-02

● 応急運転

表示部に異常が表示していないにもかかわらず、操作パネル上のボタンを押しても本機が起動しない場合は手動スイッチを使って、張込・通風循環・排出ができます。



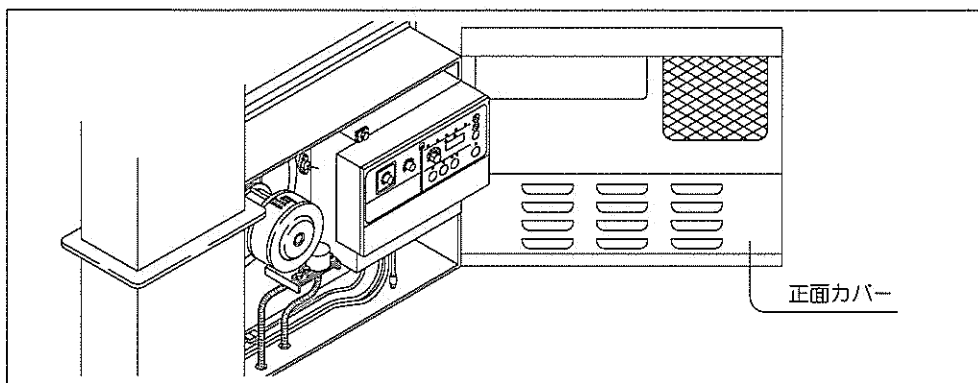
警告

応急運転をおこなうときには、次に述べる事項を守ることが大切です。

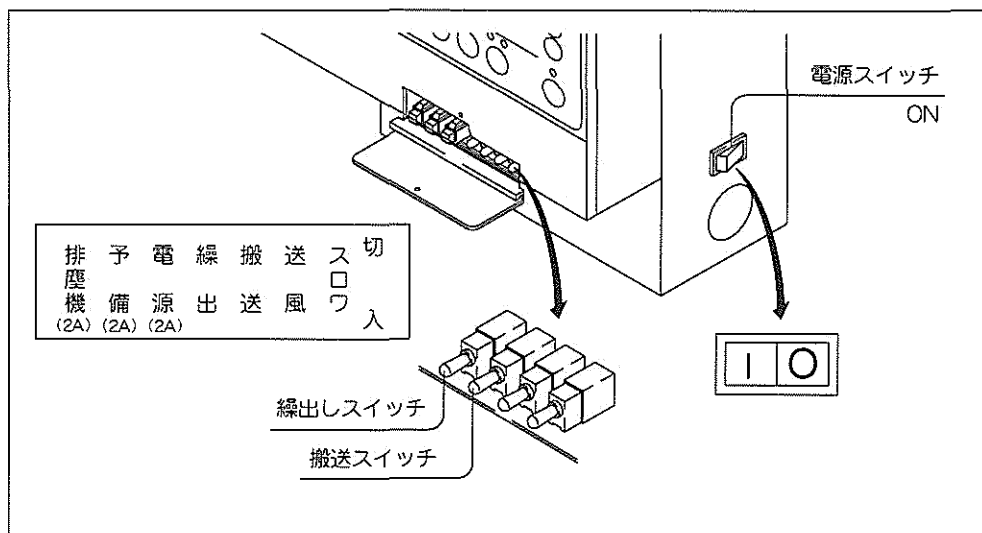
1. **電源** スイッチを 'ON' にすると同時に本機が稼働しますので応急運転をおこなうときには、周りの安全を確かめてからにしてください。
2. 応急運転をおこなうときには、必ず **電源** スイッチを 'OFF' にしてください。
3. 異常表示されているときには、応急運転をおこなってははいけません。故障の原因になります。
4. 運転終了後は、必ず手動スイッチを元の位置 (切) に戻してください。
5. 応急運転中に停電になった場合には、必ず電源をOFFにしてください。停電が復帰すると同時に本機が稼働してしまいますので大変危険です。

1. 応急運転のしかた

- ① 正面カバーを開けてください。



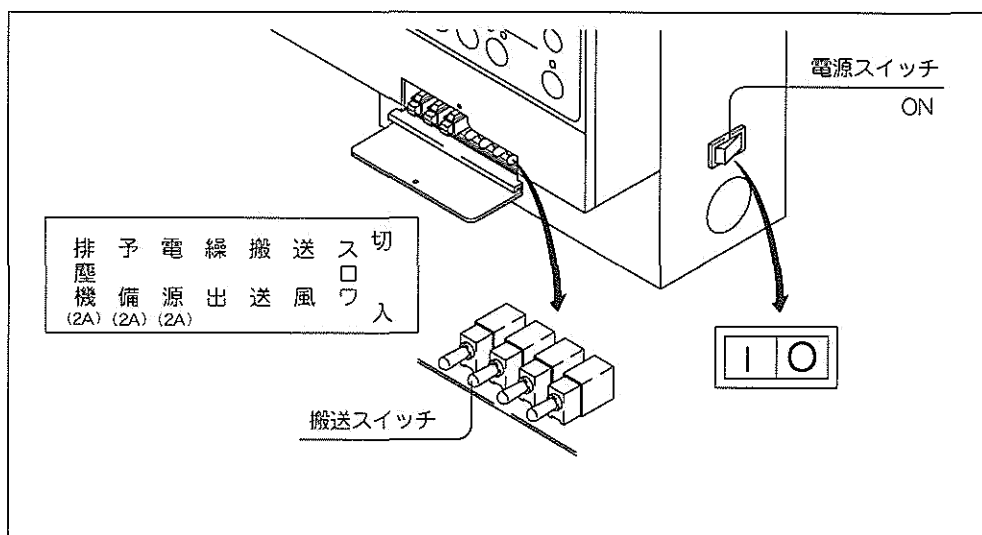
- ② 手動スイッチの‘搬送モータ’ ‘繰出し’ のスイッチが ‘入’ 側になっていることを確認してください。



- ③ 運転操作手順は、次の通りです。

粉・麦を張り込む場合

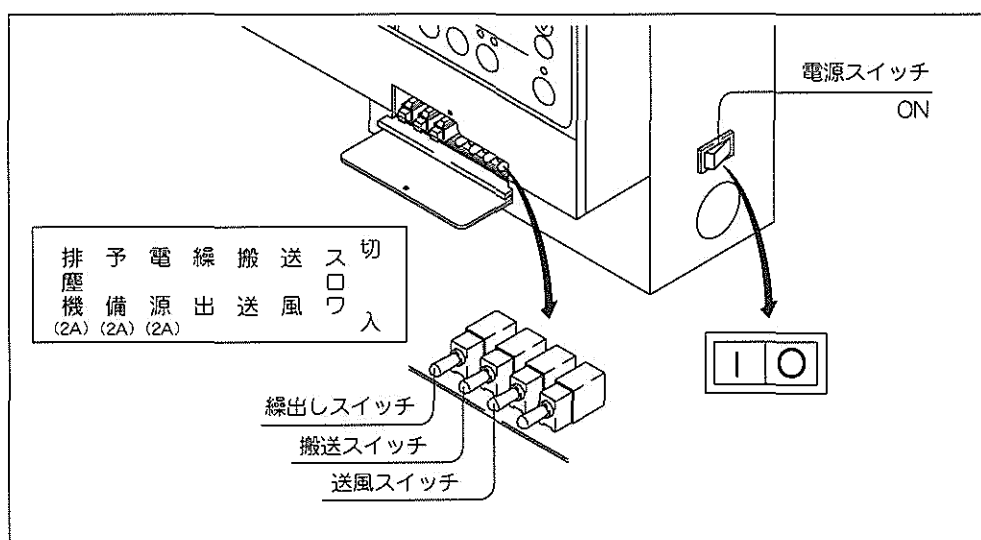
- (1) 搬送モータスイッチを ‘入’ 側にしてください。
- (2) 電源スイッチを ‘ON’ にしてください。
● 昇降機、上部・下部コンベアが起動します。
- (3) 張込ホッパーから粉・麦を張り込んでください。



粉・麦を通風循環する場合

- (1) 搬送モータスイッチを '入' 側にしてください。
- (2) 繰出しスイッチを '入' 側にしてください。
- (3) 送風モータスイッチを '入' 側にしてください。
- (4) 電源スイッチを 'ON' にしてください。

●昇降機、上部・下部コンベア、送風機が起動すると同時に繰出しロールが回転し、粉・麦が循環します。

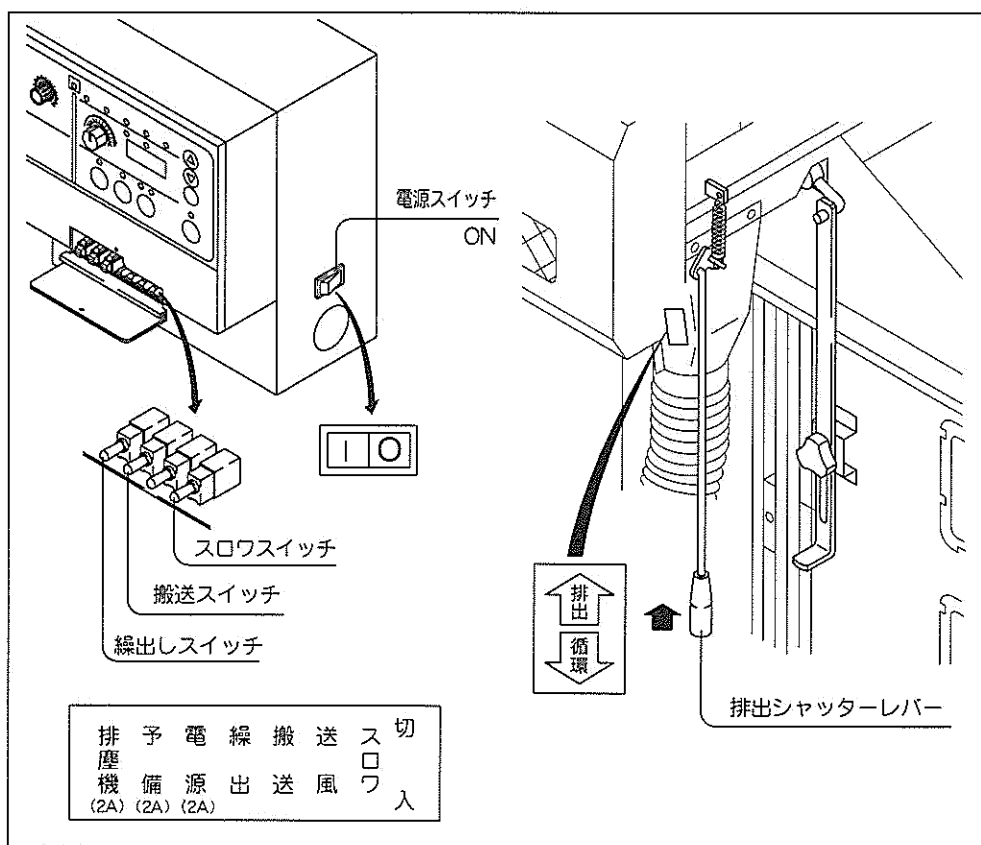


大切

排出スロツを使用している場合には、送風モータスイッチを '入' 側にはしないでください。モータ過負荷となり、全停止してしまいます。

粉・麦を排出する場合

- (1) 搬送モータスイッチを '入' 側にしてください。
- (2) 繰出しスイッチを '入' 側にしてください。
- (3) スロワを使用する方は、スロワスイッチを '入' 側にしてください。
- (4) 電源スイッチを 'ON' にしてください。
 - 昇降機、上部・下部コンベア、スロワが起動すると同時に繰出しロールが回転し、粉・麦が循環します。
- (5) 排出シャッター切替レバーを上を持ち上げ、'排出' 側にしてください。
 - 粉・麦が機外に排出されます。



第11章

緊急時の連絡先

●弊社営業所一覧.....	11-02
---------------	-------

緊急時の連絡先

乾燥機をお使いいただいている間に、原因が不明で適切な処置がおこなえないと判断した場合、あるいは、点検・整備の結果、機械の動作に異常があった場合には、お買い上げの販売店あるいは弊社営業所までご連絡ください。

販売元

本社・工場	☎348-8503	埼玉県羽生市小松台1-516-10	☎048(561)2111
関東支店	☎348-8503	埼玉県羽生市小松台1-516-10	☎048(561)2112
西日本支店	☎533-0005	大阪市東淀川区瑞光2-10-29	☎06(6320)1000
福岡支店	☎839-0809	福岡県久留米市東合川8-1-1	☎0942(45)0600

弊社営業所・事務所一覧

北海道営業所	☎068-2165	北海道三笠市岡山440-18	☎01267(4)2130
秋田事務所	☎010-0943	秋田県秋田市川尻御休町5-30	☎018(863)4288
仙台営業所	☎983-0035	宮城県仙台市宮城野区日之出町2-2-5	☎022(235)9011
販売一課	☎348-8503	埼玉県羽生市小松台1-516-10	☎048(561)2112
販売二課	☎348-8503	埼玉県羽生市小松台1-516-10	☎048(561)2112
新潟営業所	☎940-1146	新潟県長岡市下条町字西荒田686	☎0258(22)2131
金沢事務所	☎921-8062	石川県金沢市新保本1-390	☎076(249)7210
大阪営業所	☎533-0005	大阪市東淀川区瑞光2-10-29	☎06(6320)1000
岡山営業所	☎702-8037	岡山県岡山市千鳥町15-29	☎086(263)5231
高松営業所	☎769-0102	香川県綾歌郡国分寺町国分843-1	☎087(874)6470
福岡営業所	☎839-0809	福岡県久留米市東合川8-1-1	☎0942(45)0600
南九州営業所	☎880-0044	宮崎県宮崎市大字瓜生野垂門3675	☎0985(41)0421

この取扱説明書において、万一、落丁、乱丁の場合は、おとりかえ
いたします。お買い上げの販売店あるいは、弊社営業所までお申し
つけください。



〒348-0054 埼玉県羽生市小松台1-516-10

☎ 048-561-2111